

平成30年度 宮城県検証改善委員会報告書

学力向上に向けた 小中連携を図ろう!



宮城県教育委員会

はじめに

平成30年度全国学力・学習状況調査が、国語と算数・数学そして3年に一度実施される理科を加えた3教科を対象に、昨年の4月17日に実施されました。

この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析の上、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する持続的な検証改善サイクルを確立することにより、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としております。

昨年度から,政令指定都市の学力・学習状況調査結果が公表されることになり,本報告書では,仙台市を除いた結果を用いています。本県は,全ての教科で全国平均正答率を下回る結果となりました。

県教育委員会では、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて、本県の児童 生徒の学力向上に向けての分析と対応策等をとりまとめるため、今年度も宮城 県検証改善委員会を設置し、協議・検討を重ねてきました。

今年度の報告書は、テーマを「小中連携」としました。「小中連携」のベースとなるのは、9年間の児童生徒の学びの連続性を理解し、それぞれの学年で習得させるべき内容をしっかり身に付けさせることと、学習習慣や学習ルールを共有し、児童生徒の戸惑いをなくし、安心して学習に取り組める環境をつくることです。その上で、児童生徒の9年間を見通した学習について、中学校区単位で教員が話し合い、学力向上に向けた手立てを共有し、実践してほしいと思います。

また、教科の指導については、課題が見られた問題の誤答の傾向について分析を行い、指導改善のポイントを示しました。特に今年度は、学びの系統性を小中連携のポイントとして明示しました。これらを踏まえた上で児童生徒の実態に応じた授業改善を実践していくことが、児童生徒一人一人の確かな学力を育むことにつながるものと考えております。

市町村教育委員会の学力向上策の見直しや各学校における授業改善に本報告書を積極的に活用し、本県の児童生徒の学力向上に役立てていただければ幸いです。

平成31年1月

宮城県教育委員会 教育長 髙 橋 仁

第1章 児童生徒の学力向上に向けて

1	宮城県検証改善	委員会からの提言	
提	言 学力向上に	向けた小中連携を図ろう!	1
2	みやぎ授業づく	・ りスタンダード	
_	教師も子供も「	本気で取り組む」みやぎ授業づくりスタンダート (平成25年度作成)	: _ 7
	気 気付きを生かして 出てきた考える と 説くことでなく 理想の授業, 指く 繰り返し, 継続	ばせるのかを考えましょう! いて自分の考えを書かせましょう! に比較・検討させ,深めさせましょう! 、振り返らせることで自ら学びを実感させましょう! の向上を目指して研究授業の充実を図りましょう! して授業を参観し合い,授業改善に取り組みましょう! 受業を創造するために,指導方法を工夫しましょう!	
3	「指導改善のオ	ペイント」を踏まえた指導例 ――――――	— 17
	【小学校 国語】 ・A 3	「オムレツの作り方を調べる」 ――――	<u> </u>
	· A 4	「物語を読み,心に残ったことを説明する」 ――	<u> </u>
	· A 7	「敬語を使う」 ————————————————————————————————————	— 22
	【中学校 国語】 · A 6 二 · B 3 三	「話合いをする」 —————————————————「文学的な文章を読む」 ————————————————————————————————————	— 24 — 27
		「直径, 円周, 円周率の関係」	— 30
	· A 8	「割合」 ————————————————————————————————————	— 32
	· B 1 (2)	「図形の観察と論理的な考察・表現」 ――――	— 34
	【中学校 数学】 · A 2 (4)	「文字式の計算とその利用」 ————	— 36
	• A 6 (1)	「平面図形の基本的な性質」 ————	— 38
	·в 1 (1)	「不確定な事象の数学的な解釈と判断(アンケート)」-	40

【小学校 理科】	- 42
・ ③(2) 「電流の向きと大きさ」 —————	
・ [4](1) 「ろ過の操作」	- 44
【中学校 理科】 ・ <mark>4</mark> (3) 「原子や分子のモデル」 ————————————————————————————————————	- 46
・ 6 (2) 「抵抗の大きさ」——————	- 48
第2章 全国学力・学習状況調査結果	
第 2 早 王	
I 全国学力・学習状況調査結果の概要	50
Ⅱ 各教科の調査の結果	53
Ⅲ 類似問題の経年比較	73
IV 過去の調査との同一問題の正答率の比較	77
V 児童生徒質問紙調査結果の概要(抜粋)	78
VI 学校質問紙調査結果の概要(抜粋)	81
Ⅷ 「学力向上に向けた5つの提言」に関わる	
児童生徒質問紙調査結果と正答率のクロス集計の結果	86
Ⅷ 児童生徒質問紙調査,学校質問紙調査 集計結果	89
資料 『学力向上に関する緊急会議』からの提言	93
資料 『学力向上に向けた5つの提言-理解 継続 自校化-』	94
資料 『算数・数学ステップ・アップ5 事例集』	102
教員の授業力向上、児童生徒の学力向上に結び付く	
参考文献等へのアクセス方法	103
宮城県検証改善委員会について	104

第1章

児童生徒の学力向上に向けて

1 宮城県検証改善委員会からの提言



○ 提言 学力向上に向けた小中連携を図ろう!

平成25年度の「分かる・できる」授業づくりを目指した「みやぎ授業づくりスタンダード」の提案をスタートに、平成26年度は「確かな学力への入口〜みやぎ授業づくりスタンダードの活用〜」、平成27年度は「確かな学力を育む学び合い」、平成28年度は「意欲を高める学習課題」、そして平成29年度は「やるぞ!を引き出し、できた!を実感させる授業を目指して」をテーマに報告書を作成してきました。

本年度は「学力向上に向けた小中連携」の取組について提言するとともに、宮城県の児童生徒の学力向上を目指す取組について、具体的に提案しています。

本報告書を活用し、日々の教育実践に取り組むことで、先生方の授業力が向上し、児童生徒の「確かな学力」が育まれることを期待します。

学动向上层向时龙小中連携老回る多!

学力向上に向けた小中連携とは?



児童生徒の様子を伝え合うなど, 生徒指導面での小中連携は毎年行っていますが,学力向上にもつないでしょうか。

新学習指導要領解説総則編では, 義務教育9年間を通して児童生徒 の資質・能力を育むことを目指し た取組の重要性とともに,小中連 携の例も示されています。



授業を参観したり、情報交換した りする他に、具体的にどのような ことを実践していったらよいので しょうか。

小・中学校の先生方が、地域で育成を目指す資質・能力について話し合ったり、授業づくりについて一緒に考え実践する機会を持ったりするといいですね。



《参照》 学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 第3章 第2節の4 学校段階等間の接続

小中連携に関わる宮城県の実態は・・・

表 1 全国学力・学習状況調査 学校質問紙調査より

質 問 事 項	H29肯定的な回答率 H30肯定的な回答率
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	()内は全国値との差 ()内は全国値との差
近隣等の小学校(中学校)と、授業研究を行うなど、合同して研修を行	ル 42.4 (-23.2) ル 50.2 (-19.3)
いましたか。	中 60.0 (-14.8) 中 64.5 (-12.0)
近隣等の小学校(中学校)と教科の教育課程の接続や、教科に関する共	ル 26.2 (-25.1) ル 44.7 (-18.4)
通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか。	中 35.0 (-23.2) 中 49.0 (-20.2)
前年度の全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、近隣等の	リ 38.9 (-14.1) リ 58.5 (- 4.8)
小学校(中学校)と成果や課題を共有しましたか。	中 39.3 (-17.5) 中 56.7 (- 7.3)

でも,全国と比較するとまだまだ低いんですね。どうすれば, 小中連携がもっと充実するのでしょうか。 どの項目も、昨年度と比較して数値が向上し、取組の改善が進んでいます。先生方の努力の成果ですね。



小中連携のステップアップを図ろう!

できるところから実践し, ステップアップ!



伝え合う! 〈交流〉

つながる!〈理解〉

授	・学校参観や授業参観をし 合う。(校内研究授業等)	・参観の事前・事後に意見 や感想等を交流する。	授業づくりの手立てを共 有し実践する。
業づ		P.3 連サポ 例 1 P.5 ワンデイ研修 (異校種交流)	P.3 連サポ 例2.3 ・乗り入れ授業(小・中学 校教員協働の授業)を実
くり		・出前授業(中学校教員の 専門性を生かした指導) を実施する。	代教員励割の授業が名失 践する。 P.5 乗り入れ授業 (異校種実践)
学習習慣	•「学習の手引き」「家庭学習の手引き」等を交換する。	・各校の「学習の手引き」 「家庭学習の手引き」等 への意見を交流する。	・9年間を見通した「学習の手引き」「家庭学習の手引き」等を作成し、実践する。
教員研修	・それぞれの校種の教科書をそろえておく。 ・教育計画や年間指導計画等を交換する。 ・学力向上の取組や全国学力・学習状況調査の結果や改善の手立ての情報交換をする。	・教科書や年間指導計画等を基に意見を交流する。 P.4 理科の学習 ・全国学力・学習状況調査の問題や各校の結果を基に、学力向上の手立てなどの意見を交流する。	・全国学力・学習状況調査 の問題の意図に基づき、 各校の結果を受けて学力 向上に向けた取組につい て協議し実践する。 ・教科担当者部会等を開き 教科ごとの課題や改善策 を話し合い実践する。
	プロポーザル事業	小・中合同研修会	〉 P.4 連サポ 例4
生徒指導等	「学校だより」「学年だより」 り」や「生徒指導だより」 等を交換する。	・生徒指導上の諸問題や児 童生徒の状況について情 報交換をする。	・生徒指導上の諸問題解決 の方策等について話し合 い,共通実践を図る。

※連サポ・・・「市町村教育委員会との連携による学校サポート事業」の略(総合教育センターが、連携する市町村教委の学力向上策に基づく実践を支援)



互いのことを理解することから始め、授業づくりや学力向上の手立てなどの意見交流を図り、さらには、協働での実践ができるようになるといいですね。

義務教育9年間を見通した取組が効果的です。小中連携の担当者等を中心に、計画的に連携の機会を設け、実践していきましょう。





平成30年度より、市町村教育委員会との連携による学校サポート事業が始まりました。どんな様子だったのかを、小中連携の視点でお伝えします。

中学校区で小中連携

〉連サポ 例1 A 中学校区(A 中学校,B 小学校)で,国語における共通の 取組を決め,授業改善を目指しました。



第1回	第2回	第3回
6月	8月	10月
B 小学校での	学力向上研修会	A 中学校での
授業実践		授業実践

- 小学校の模擬授業 (教員は児童役,指導主事は教師役)
- 学力向上に向けた意見交流 〈テーマ〉中1ギャップを克服するために
- ①小中合同での参観授業
- ②ワークショップによる事後検討会を 行い,成果と課題を共有

②連サポ 例2 C 中学校区(C 中学校, D 小学校, E 小学校)で, 算数・数学における共通の取組を決め, 授業改善を目指しました。

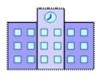
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
5月	8月	10月	10月	12月
C 中学校での	学力向上研修会	D 小学校での	学力向上研修会	E 小学校での
授業実践		授業実践		授業実践

- 講話「小中連携して取り組む学力向上」
- ワールド・カフェによる話合い <テーマ>「どのように小中連携を推進 するか」
- ①小中合同で事前検討会を持ち、小中のつながり を考えた授業内容を検討
- ②指導過程の備考欄に、連携の視点を記載し参観
- ③連携の視点について事後検討会を実施

町内全ての学校を対象に小中連携

<u>〉連サポ 例3</u>) F 中学校区, G 中学校区, H 中学校区で, 算数・数学における 共通の取組を決め, 授業改善を目指しました。

第1回	第2回	第3回	第4回
8月	10月	10月	11月
学力向上研修会	F 中学校区で	G 中学校区で	H 中学校区で
	小中授業実践	小中授業実践	小中授業実践



町内全ての教員を対象に合同研修会

- 中学校区ごとの学力向上への取組を発表
- 講話「算数・数学の学力向上への取組」
- ①中学校区ごと,午前中に小学校,午後に中学校の授業実践
- ②中学校区ごと、全ての教員が集まり、 ワークショップ等による事後検討会

小学校からの積み重ねを意識した町内中学校の連携

〉連サポ 例4 〉 市内の中学校国語科教員が集まり、授業改善の在り方を研修しました。

第1回	第2回	第3回	
5月	9月	11月	
全国学力•学習状況調査	市内共通の課題と解	各校の取組につ	
の問題の特徴を把握	決策について協議	いて発表、協議	

市内共通の課題は、古典(歴史的仮名遣い) <解決策>

- 現代仮名遣いと現代語訳の区別ができるよう指導する。
- 小学校からの学びのつながりを意識する
- ・音読、範読に力を入れる

【市町村教育委員会の事後報告書より】

- ・小学校の教材や中学校学力調査問題の両方に触れることで、学びの発展的な つながりを理解して指導に当たることの大切さに気付くことができました。
- 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向け て学校と教育委員会でできる取組を学ぶことができました。





学力向上に向けた小中連携の取組として、まずは、次のような流れで 進めてみてはいかがでしょうか。

A 中学校区(A 中学校, B 小学校, C 小学校)で, 国語あるいは算数・数学等に おける共通の取組を決め、授業改善を目指す。

- 1 研究主任者等の会議
 - ・研究主題や副題、研究の視点等について、共通理解を図る。
- 2 小・中学校合同研修会
 - 各学校の学力向上に向けた取組を発表し合い、共有する。
 - 学力向上に向けた講話を聞き、取り組みたい授業改善をテーマにワークショッ プ等を行う。
- 3 各学校の授業実践・事後検討会等
 - ・共通の視点に基づいた授業を実践・参観し、成果や課題について話し合う。

〉 理科の学習 〉 中学校の授業において小学校の教科書を活用

小学校で行った実験を中学校でも同様に扱う場合があります。

小学校の教科書を活用し、既習事項を確認した上で「中学校で新たに加わったのは何か」 を生徒に考えさせることで、目的意識を持って実験に取り組ませることができます。

(例) 「再結晶の実験」

小学校第5学年ではミョウバンを扱う。中学校第1学年では 硝酸カリウムを溶解度と関連させて学習する。





市町村教育委員会では、小・中学校の系統性、連続性を意図した教育 活動を設定するために、先生方の交流を計画的に実施しています。

できるところから始めよう!「塩竈市独自の小中一貫教育」の取組例

乗り入れ授業 (異校種実践)

【小学校への乗り入れ授業】(例:小学校外国語活動) 小学校担任がT1,中学校教科担当教員がT2で授業を行う。 (中学校教員は、小中の学びの連続性を意識した指導を取り入れる) 【中学校への乗り入れ授業】 (例:中学校数学)

中学校教科担当教員がT1 , 小学校教員がT2 で授業を行う。 (小学校教員は、既習事項を想起させたり個別指導をしたりする)

Good morning, everyone.

となりの人にもあいさつしましょう。 Good morning, (前後の人にもあいさつしましょう。 Good morning,



【小学校外国語活動の導入段階の様子】



まずは笑顔で相 手の目を見て言 いましょう。 相手に伝わるよ うに言いましょ う。

日本語と英語のリズムの違いを意 識しながら聞いてください。

Good morning, Miss. Miyagi. 英語のリズムを意識すると相手に 伝わりやすくなりますよ。



(T2:中学校教員)

ワンデイ研修 (異校種交流)

<mark>近隣の小・中学校で,児童生徒の様子を参観する機会を持ちます。</mark> 異校種の文化に触れ、感じたことを話し合います。

中学校でつまずかな いように、小学校の うちに四則計算をし っかりと身に付けさ せたいと思います。



【小学校教員が中学校で一日研修】

9年間の学校生活に系統 性と連続性を持たせたい です。

「活躍する場」「交流する 場」を意図的に設定し,自 己存在感や自己肯定感を育 んでいきましょう。

できるところから始めよう!「大崎市の小中連携」の取組例

大崎市 小・中合同研修会

【外国語研修会】

カリキュラムの接続や指導内容について研修と情報交換を行う。 【研究主任者研修会】

<mark> 全国学力・学習状況調査の分析結果を基に,小・</mark>中学校で共通し <mark>て実践できることを検討する。</mark>

小・中学校の9年間で, どのような力を育ててい きましょうか・・・

家庭学習はどのような課題を出していますか?

中学校でも,本時の復習 や次時につながる既習事 項の復習などに取り組ま せています。





【研究主任者研修会での情報交換】

小学校で、基礎・基本を しっかりと身に付けさせ たいですね。

小学校では、主に復習に 取り組ませています。 週末には、難問の課題に 取り組ませています。

中学校では、教科ごとに 課題を出しますので、教 科担任で話合いが必要で す。

大崎市学力向上 プロポーザル事業

研究校を指定し、公開研究会や研究主任者会において、1年間の研究成果を市内各校に紹介する。

小・中学校の連続性を考えた授業づくりについて 提案いたします。



小学校6年生の外国語活動と中学校2年生の英語 科で交流授業を行いました。

小学校の先生方の きめ細かな個別の 支援の仕方が勉強 になりました。



【プロポーザル事業成果発表会】

中学校の先生方の教 材研究の深さが勉強 になりました。

小・中学校間の指導 内容の系統性がよく 分かりました。

2 みやぎ授業づくりスタンダード

教師も子供も「本気で取り組む」 みやぎ授業づくりスタンダード





本時で何を学ばせるのかを考えましょう!



気付きを生かして自分の考えを書かせましょう!



出てきた考えを比較・検討させ、深めさせましょう!



説くことでなく、振り返らせることで自ら学びを実感させましょう!



理想の授業、指導力の向上を目指して研究授業の充実を図りましょう!



繰り返し、継続して授業を参観し合い、授業改善に取り組みましょう!



夢中にさせる授業を創造するために、指導方法を工夫しましょう!

「分かる・できる」授業づくりのための基本的なポイントを「みやぎ授業づくりスタンダード」としてまとめました。

どの学校でも、どの教室でも、どの教員も共通の視点を持ちながら、日々の授業改善に向かっていただきたいと思います。

2 みやぎ授業づくりスタンダード

教師も子供も「本気で取り組む」みやぎ授業づくりスタンダード



: 本時で何を学ばせるのかを考えましょう!

段階

階

等 | 題 の 把

見通

自力解決 集

解決〔比較

検

まとめ・振り

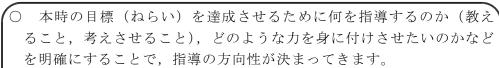
末

n

1

本時の目標(ねらい)を明確にする

- チャイ・学習指導要領を踏まえていますか。
 - ・本時の学習活動を通して身に付けさせたい力は何ですか。
 - ・目の前の児童生徒の実態を踏まえたものになっていますか。
 - ・単元全体を見通して,本時の位置付けを捉えていますか。



- 教材研究の段階で、単元の系統性を踏まえ、児童生徒にとって何が 既習か、どこが未習かなどを的確に捉えることが重要です。
- 本時の目標(ねらい)を達成した児童生徒の具体の姿を明確にして おきましょう。

2 本時の目標達成のために適切な学習課題(めあて)を設定する

- **チン・児童生徒が主体的に追究したくなる学習課題**になっていますか。
 - ・本時の目標(ねらい)が達成できる学習課題になっていますか。
 - ・既習事項とのずれを生じる学習問題(教材)を提示し、児童生徒から問いを引き出していますか。(算数・数学など)
 - 児童生徒一人一人が、やってみたい考えてみたいという興味・関心 を高めるものを提示し、自分のこととして捉えられるよう問題意識を 喚起することが大切です。
 - 学習問題の提示により、児童生徒の問いを引き出し、つぶやきを拾い上げ、それらを生かした学習課題(めあて)の設定につなげるよう 十分な計画を立てましょう。
 - 「なぜだろう?」「あれっどうして?」という疑問や知的好奇心を引き出すことが、主体的に「考えたい」「解決したい」「友達の考えを聞いてみたい」という意欲につながります。
 - 本時でどのような力を付けさせたいのかを教材研究によって明らかにしておくことが大切です。問題場面を解決するだけが学習の目標(ねらい)になるのではありません。

3 学習課題と学習のまとめが対応することを意識して設定する

○ どのようなまとめとなるかを教師が明確にしておくとともに、児童 生徒には「学習課題(めあて)に立ち返らせる」ことで、学習活動の 目的を意識させましょう。





気付きを生かして自分の考えを書かせましょう!

段 階 習 課 導 把 握 7 力 展 集 解 決 開 較 検 討 主 終 X

n

V)

末

自分なりの解決方法で学習課題(めあて)に取り組ませる

- ・児童生徒が自分の考えを持ったり、自分の立場を明確にしたりする時間だ と意識させていますか。
- どこまでできて、どこが分からないかを自分で言えるように意識させてい ますか。
- ・ノートをどのように使って何を書くかなど、多様な表現方法 で考えを書けるようノート指導を継続して行っていますか。
- 自分の考えが相手に伝わるように理由や根拠を示し、筋道立 てて考えるように指導を積み重ねていますか。
- ・児童生徒の考えや学習への取組を見取り、意欲を高めるよう積極的に褒め たり、声掛けをしたりしていますか。
- ・学習効率だけを考えて、安易にワークシートを活用していませんか。
- 学習課題(めあて)を既習事項と関連付け,これまで解決した方法 が使えないかと考えさせることが大切です。
- サイドラインの引かせ方、グラフや資料の読み方、活用の仕方など、 教師が教え,学習活動の中で繰り返し指導して身に付けさせましょう。
- 教科書や資料,データ等を基に,自分の考えの理由や根拠を明確に 示し、相手に分かりやすく説明できるようにノート指導を充実させる 必要があります。書くことで、考えが促されたり、整理されたりしま す。
- 児童生徒に「何をどこまで求めるのか」を教師が明確にしておくこ とで, 自力解決で考えさせる内容, 必要な時間, 集団解決の持ち方(何 をさせるのか)などが、おのずと決まってきます。
- 一人一人の考えを見取り, 賞賛の声掛けや適切な助言をしましょう。

〇『学びが見えるノートにしよう!』

学年の発達段階や教科の特性に応じてノートの書 き方も異なりますが、学校、教科で共通理解をして 指導することが大切です。

- 板書を視写する(構造的な板書が求められる)。
- 自分の考えを書く。
- 友達の考えや授業のポイントなどを書く。
- 学び合い(考えの交流)の後,考えを見直した り, 書き加えたりする。

学習問題 友達の考え 学習課題 ※気付き・新たに 考えたことなど ○まとめ 自分の考え ○振り返り

《ノート例》

本時の学習を振り返る ①②で終わらせずに、**③④⑤を意識して自分の考えの変容など学びを振り** 返られるノートに!

- ノートはできれば授業ごとに回収して,評価することで児童生徒の意欲, 思考力,表現力等を高めます。
- 児童生徒の発達段階等を考慮して、場面絵やイラストで描くことなど、 様な表現方法を認め、あせらず徐々に段階を踏んで考えさせていくことが 重要です。



出てきた考えを比較・検討させ、深めさせましょう!

段 階

習課題の

把握見通

す

日力解決

壬二

展団解決に

比較·検討

まとめ・振り返

n

1 ねらいに応じた話合いの方法、形態を工夫する

- ・必要感のある話合いになっていますか。
- ・考えの発表で終わっていませんか。
- ・児童生徒に**話し合う目的や方法を示して**いますか (児童生徒は話合いの目的や方法を理解していますか)。



- 形だけのペア学習,グループ学習,全体での話合いを行うことでは ありません。本時のねらいを達成したり,思考力,判断力,表現力等 を身に付けさせたりするために言語活動の充実が必要なのです。
- ペア学習やグループ学習を行う目的や方法を児童生徒に示し、継続 して指導を行うことで、目的意識や話合いの方法が身に付きます。
- 話し合う目的は何か、そのためにどのような話合いの形態がふさわ しいのかをよく考えてペア学習やグループ学習を取り入れましょう。

2 児童生徒間の関わりを意図的に設定する

- ・いつも決まった児童生徒だけの発表になっていませんか。
- ・能動的に「聞くこと」「聴き合うこと」を意識させていますか。
- ・児童生徒の思いや考えを見取り、褒めたり認めたりするとともに意図的に 類型化して取り上げていますか。
- ・共通点や相違点を整理して、それぞれの考えを関連付けていますか。
- ・教師が全て説明していませんか。
- ・児童生徒に説明や関連付けをさせていますか。
- 児童生徒の考えを見取り、どの考えをどの順番で取り上げ、関連付けるかを考えておくことが大切です。
- 関わらせる目的を明確にし、話し合う必然性を理解させることが大切です。「多様な考えを引き出したい」「友達の考えを理解させたい」「どの考えがよりよい考えか検討させたい」などを明確にするとともに、対立や矛盾などを示すことで、児童生徒の思考を揺さぶり、話合いをする必然性をつくっていきます。
- ペア学習, グループ学習では, 何を発表させ(説明させ), 何を書かせるか(相違点や相手の考えの「なるほど」と思ったところなど) など目的や意味を理解させていくことが大切です。
- それぞれの考えを関連付け、共通点や相違点に気付かせたり、考えを比較・検討させたりすることが教師の大切な役割です。考えや気付き、学ぶ姿などを認め、励ます言葉を添え、自己肯定感を高めさせましょう。
- 「なるほど」と思った友達の考え方や新たに気付いたことなどをノートに書き加えることで、学び合うことの意義、考えの深まりを実感させたいものです。



: 説くことでなく、振り返らせることで自ら学びを実感させましょう!

段 階

」 習課題の把

, 握 見る

す

自力解決

団解決開

展集

比較。 検

まとめ・

末

終

本時の学習をまとめる

- ・学習課題(めあて)に対応したまとめになっていますか。
- ・形式的に板書を視写するだけになっていませんか。
- ・学習したことが共有できていますか。
- ・1時間の学習が一目で分かる板書になっていますか。



- 答えを出した方法を吟味し、よりよい方法を学び、いつでも使える 一般的な方法に高めたり、問題を解くポイントをまとめたりすること が大切です。
- 本時の学習を通して「何が分かったのか」「どのような力が身に付い たのか」が分かるように、本時の目標(ねらい)や学習課題(めあて) と整合性があるかを意識してまとめましょう。
- 板書が構造的で見やすく、分かりやすいものであるか、板書計画を 吟味しておきましょう。本時の目標(ねらい)と学習課題(めあて) に整合性があるかを可視化して判断することができます。

2 本時の学習を振り返る

- ・今日はどのような学習課題(めあて)に向き合い,何をどのように考え,そこからどんなことを理解し,学んだかなどの視点を与えて振り返らせていますか(書く観点や分量を示した学習感想など)。

 - 「~できた」「うまくいかなかった」という結果だけで終わらせていませんか。
 - ・学んだこと、共有化したことを使って適用問題に取り組ませていますか。
 - ・友達と学び合うことで新たな発見や気付きが生まれ、**考えや理解が深まっ** たことを実感させていますか (適用問題・小テスト・学習感想など)。
 - 「何をどのようにしたから分かったのか」あるいは「何が足りなか、ったのか」「それはなぜか」「学んだことを今後にどう生かしていくか」などの視点を示し、できるようになった過程を振り返り、今後の学習への見通しなどを持たせることも大切です。振り返りのさせ方を工夫し、児童生徒の主体的な学びへつなげていきましょう。
 - 実際に類似の問題を解いて、よりよく解けるようになったことを実感したり、自分なりに大切だと思ったこと、考えて理解できたこと、新たに気付いたことなどを書いたりすることが大切です。「個」で考えたことを基に「集団」で考えを共有化し、それらを踏まえ「個」にもどって考えさせることが、考えの深まりや学びの自覚につながります。
 - 児童生徒が本時のねらいを達成できたか、考えを深めることができたかどうかを「適用問題」「学習感想」などで見取るとともに、教師の「授業評価」の方法を工夫し、授業改善に生かしていきましょう。



理想の授業、指導力の向上を目指して研究授業の充実を図りましょう!

教師の授業力を伸ばす・・・「授業づくり~模擬授業のすすめ~」

教師が指導者役と児童生徒役に分かれ、授業場面を実際にやってみ 模擬授業とは [ること



実際に模擬授業を行ってみると、自分の書いた指導案の展開では授業がうまく流れ ないことに気付いたり、発問が分かりにくかったり、児童生徒役の先生の反応にうろ たえたりと、いろいろな改善点が見えてくるものです。

この模擬授業は、授業のある場面だけを想定して行うことも可能ですので、単位時 間(45分間や50分間)をかけなくても実践できます。教師役だけではなく,児童生徒 役になることも、児童生徒理解の一助にもなりますし、何よりも、学校や学年の研究 への取組に一体感が生まれます。

模擬授業のよさについて □ 本時の目標(ねらい)や提案事項を事前に共有化すること



模擬授業は、実際の授業場面を想定して行うので、授業の流れ、発問のよしあし、指 示、板書の仕方やタイミング、教師の動き、児童生徒の反応などを具体的に検討できま す。普段の授業で迷っていることや疑問に感じていることを提示しながら,その状況を 共有し、改善点を見付け出すことができます。

また、授業者の細かい指導技術を学び、より効果的な指導技術を見付け出すこともで きます。さらに、教師が児童生徒役になってみることによって、児童生徒の反応を多方 面から予測することを学べ、授業を考える上でのヒントをいくつも得られます。

1時間の授業を全て行う必要はありません。研修内容によって,10分間でも20分間で もかまいません。導入の部分だけを取り上げて見ることもできますし、展開の一場面を 取り上げてみることも可能です。

模擬授業の方法 □ 〉趣旨説明は端的に,途中解説を入れずに,本番のように行うこと

研究授業の事前検討会に模擬授業を取り入れている学校もあります。参加者全 全体で 員で指導過程のポイントとなる部分や、授業者が悩んでいる部分を模擬授業を通 して検討することで、より授業改善につながります。

> また、打合せの前や職員会議のはじめに、輪番制で10分間の模擬授業を行う方 法もあります。気付いたことを付箋紙やメモなどに書き,視点別のシート等に貼 って授業者に渡したり、回覧したりする方法です。このように短時間で継続的に 行う方法も可能です。

教科ごとで

中学校の教科部会で、研修の一環として、模擬授業を取り入れていく 方法です。同一教科担当者が、共通の課題を意識しながら模擬授業を行 うことで、教科ならではの研修ポイントを絞って行うことができます。

学年部ごとで

学年部会を活用して模擬授業を行う方法です。同学年担当の教員であるこ とから、児童生徒の実態を理解し合うことが容易で、授業の指導技術だけで なく、広く児童生徒の指導を考えることが可能です。



:繰り返し、継続して授業を参観し合い、授業改善に取り組みましょう!



自分の授業を公開して多くの先生方に参観してもらったり、他の先生の授業を 参観したりすることで、授業を互いに見合う機会が増えてきます。模擬授業や研 究授業等では、ねらいに応じて、適切な観点を設定したいものです。校内研究の 視点や手立てを活用している学校も多いかと思われます。

模擬授業実施の観点例

模擬授業を効果的に行うためには、模擬授業での指導の観点を明確にすることが大切です。 観点例を以下に挙げてみます。

(1)授業の進め方について

- ・導入部には, 児童生徒を引き付ける工夫が見られるか。
- ・本時の目標(ねらい)が明確であり、本時の目標に沿った学習課題(めあて)が 提示されているか。
- ・展開部には、教える場面や考えさせる場面、児童生徒の活動場面が適切に設定されているか。
- ・児童生徒の思考や活動に無理がないように、授業が易から難へと展開するように 工夫されているか。
- ・教師は何を学ばせたか、児童生徒は何を学んだかが明確になっているか。

(2) 教師の発問や指示について

- ・学習課題(めあて)を達成できるような発問になっているか。
- ・教師の意図に沿って児童生徒が活動できるような指示になっているか。
- ・発問や指示は、ねらいが明確で分かりやすいものか。また、児童生徒の意欲を引き出し、活発に活動させることができるように工夫されているか。
- ・児童生徒の発達段階に即した言葉遣いであるか。

(3) 板書について

- ・1時間の授業の流れ、学習の足跡が見える板書になっているか。
- ・文字の大きさや分量、チョークの色使い、提示物は適切であるか。
- ・1時間の授業の「学習課題(めあて)」や「まとめ」は分かりやすくまとまっているか。

(4)児童生徒への配慮や支援について

- ・児童生徒一人一人の発達段階や理解の程度に配慮しながら、意図的な指名ができているか。
- ・児童生徒の実態に応じた手立てや支援は適切であるか。
- ・児童生徒を認め、褒めたり励ましたりすることで、自己肯定感を持たせているか。
- ・机間指導のねらいやタイミングは適切であるか。
- ・児童生徒が学びを実感できる振り返りがなされているか。

(5) 資料や教材について

・資料や教具は、本時の目標(ねらい)を達成する上で適切であるか。

「教師にも大切な振り返り」 日々の授業を振り返り、次の実践につなげましょう。

〇 授業評価の意義

授業評価は、学習指導要領や教育目標を踏まえ、授業のねらいや児童生徒の実態に照らし合わせながら、多面的・多角的に振り返る営みです。授業評価を基に授業改善を図っていくことは、教師一人一人の力量を確かなものにし、授業の質を高めることにつながります。それは、児童生徒一人一人の学力向上にもつながるものです。

○ 今日的な授業評価

授業評価は、「校内研究の目標や仮説に沿っての評価」「単元や学期を通しての総括的な評価」になりがちです。日々の授業については、教師自身の判断で意図的に評価する以外は、学校全体で日常的にあまり行われてこなかったのではないでしょうか。形成的評価が授業の過程で実施され、授業計画の修正や児童生徒の回復指導などに生かされますが、授業のポイントが明確でなかったり、児童生徒へ適切にフィードバックされていなかったりしている面があります。また、評価方法や観点なども学校として共通に認識されていなかったかもしれません。

学校全体で日々の授業を改善するためには、個々の教師が日々の自分自身の授業を継続的に振り返ることはもちろん、学年部や教科部、全校で互いの授業を気軽に見せ合い、意見を交換し合いながら授業の課題を共有していくことが大切です。

さらに、これからは児童生徒や保護者、地域の方々など様々な評価にも耐えうる授業 づくりが一層求められています。時代のニーズに対応できるような授業評価を求め、授 業力の向上に努めていく必要があります。

〇 授業評価シートの作成と活用に向けて

学校全体で授業の質を高めていくための授業評価の方法には、教科や児童生徒の発達 段階に応じた様々な方法があると思います。まずは評価者が評価項目を共有し、同一の 視点から授業を検討する必要があると感じます。課題の共有化や授業改善の糸口の発見 が可能になると考えられるからです。

そのためにも、校内で統一した授業評価シートを作成し、**授業者自身が授業を振り返ったり、全校で授業の成果と課題を明らかにしたりして授業改善につなげる**ことがより大切になってきます。評価結果を集約し、これを基に授業検討会を行うことでより活発な話合いができるかもしれません。

評価シートの観点や項目については、各学校の教育目標や校内研究の目標、授業評価の実態などを踏まえて作成することが大切であると考えます。

〈授業評価シート (例)〉

- ◎ できる 続ける つながる 3分間の振り返り
- ※ 評価後、「授業づくりスタンダード」を活用し、授業改善につなげましょう。

No.		月 日() 授業教科(時)
A :	おおいにあては	まる B:あてはまる C:ややあてはまらない D:あては	まら	ない
	観点の項目 (参考ページ)	設問	評	価
授	本時の目標(ねら い)の明確化 (P7)	・本時の目標(ねらい)を明確にし、学習課題(めあて)を板書 し、子供に把握させている。		
業	思考場面 (P8)	・子供が考える場面、書く時間を十分確保している。		
開や	発表や学び合い の工夫 (P9)	・子供が発表できる機会を作っている。・話し合うねらいを明確にして、適切な形態(ペアやグループ、 全体等)で話し合う場を設定している。		
指導	発問・指示 (P12)	・子供にとって明確で分かりやすい発問や指示をしている(繰り返さない)。・教師が説明し過ぎず、子供から考えを引き出している。		
技術	対応・支援 (P7) (P8) (P12)	・意欲の低い子供,発言が少ない子供にも意図的・計画的な指名をし,適切に声掛けしている。 ・子供の声に耳を傾け、考えや学ぶ姿を見取り、褒めたり、励ましたりしながら、子供の学習意欲や自己肯定感を高めている。		
	板書 (P12)	・授業の内容が構造化され、重要箇所は色チョークを使い、1時間の学びが分かるよう工夫されている。		
子	評価 (振り返り) (P10)	・授業の最後に、本時の授業を振り返り、学びの実感を持たせている。(適用問題、小テスト、学習感想、自己評価や相互評価等)		
供の様子	子供の様子で気が	けいたこと		

※ 授業内容に応じて、項目を増やしたり、絞ったりすることも必要と考えられます。**授業評価シートを活用して**日々の授業を振り返り、授業改善につなげましょう。



: 夢中にさせる授業を創造するために、指導方法を工夫しましょう!



教師が本気になって「分かる授業・できる授業」づくりに取り組むことは、着 実な授業改善、授業力向上につながっていきます。また、「分かる授業・できる 授業」が児童生徒の学習意欲を高め、学ぶ楽しさ、できる喜びを実感させること で、学力の向上が図られていくものと考えます。

児童生徒にどのような力を身に付けさせたいのかを明確にして,授業アイディア例を 有効に活用したり,授業に工夫を加えたりするなど,できることから始めましょう。

- ※ 授業アイディア例・・・① 国立教育政策研究所教育課程研究センター
 - ② 本報告書 等
- ~ 当たり前に行っていることも意図的に! 基礎的な力, 「書く力」「考える力」等を伸ばす授業のワンポイント工夫例 ~

習熟の工夫、既習事項や新聞等の活用、学習課題(めあて)提示の工夫で子供を鍛える

- (1)「効率的な漢字練習法で定着率の向上」
- (2)「習熟を通した定着率の向上」
- (3)「社説を使った、読む力と書く力の向上」
- (4)「学習課題(めあて)提示の工夫で学習意欲・思考力の向上」

(1)「効率的な漢字練習法で定着率の向上」

- ① ノートに折り目をつけて四列にする。
- ② 練習したい漢字の読み方をノートの一列目に書く。
- ③ 少し時間をおいてから、その漢字が書けるかどうか答えを二列目に書いてみる。【1回目】
- ④ 自分で赤鉛筆を使って丸付けをする。
- ⑤ 丸が付いたものは覚えた漢字なので1回目で合格。 間違えたり書けなかったりした漢字だけ、読み方を、三列目にもう一度書く。
- ⑥ 間違えたり書けなかったりした漢字だけを、四列目に書いてみる。【2回目】
- ⑦ 自分で赤鉛筆を使って丸付けをする。【後は全部書けるまで繰り返し】
- ・ この「自己テスト法」は、書ける(覚えた)漢字は1回だけ、書けない(覚えていない)漢字は、書けるまで(覚えるまで)何回も練習することになります。
- ・ 例えば、同じ漢字を10回ずつ書いて覚える作業だと、書けるようになっている漢字も10回ずつ書くことになりますので、その分だけ時間が余計にかかります。大切なのは、その漢字を書けるようになったか(覚えたか)どうかですので、このやり方だと、時間を節約しながら、効率的に練習ができます。
- ・ 読み方と漢字を一緒に覚えることになるので、特別な「読み練習」をしなくても、 「読む力」も付きます。
- ・ さらに、記憶の「IN PUT」と「OUT PUT」を交互に繰り返すので、漢字だけに限らず、他教科(社会や理科)への波及効果も十分に期待できます。 特に、英単語を覚えるときにも有効な方法です。
- ノートは高学年や中学生であれば、六列に分けてもよいと思われます。

(2)「習熟を通した定着率の向上」

- ① 授業の終末や習熟の時間に適用問題,習熟問題に取り組ませ,定着を図ります。
- ・ 特に、TT指導や少人数指導の場合、終末や習熟の場面で児童生徒一人一人の取組 を見取り, 丸付け, 助言を意図的に行うとより効果的です。
- 例えば算数で、補充問題、発展問題を事前に何題も準備し(数枚のプリント)、そ の児童生徒の学習段階に応じて, 取り組ませます。みやぎ単元問題ライブラリー等を 活用し、予め学年分、単元分を印刷するなどして、いつでも使えるようにしておきま す。ファイリングして、できるようになったところ、間違った問題などを自覚させる こともできます。
- ② 学習場面で、前時までの既習事項を活用する場面を設定したり、日常場面で意図的 に活用させたりしていくこともできます。
- 例えば、グラフや表などの資料の読み方(データの取り出し)を学んだら、説明す る内容の根拠として最も適切な資料を選ぶ学習をします。
- 複数の資料から必要な情報を取り出すこと、情報が根拠として適切かどうかを判断 することを通して, 資料の読み方の定着を図ることができます。

(3)「社説を使った、読む力と書く力の向上」

- ① この学習は、10分間で新聞の社説(だいたい1600~2000字程度)を読んで、要旨を 100字ちょうどにまとめる,というものです。
- ② 400字詰原稿用紙を使うと、4日分になります。高学年や中学生の夏休みの課題と して10日分や20日分をまとめて出して、毎日行うと効果的です。
- 期待できる学習の効果としては、論説文を読む力が付くと同時に書く力を付けるこ とができます。また語彙を増やすことができます。
- 10分間で社説を読んで100字ぴったりに書くためには慣れるまでが大変ですから, 児童生徒の実態に合わせて制限時間を変えることもできます。

(4)「学習課題(めあて)提示の工夫で学習意欲・思考力の向上」

学習問題や学習課題(めあて)の提示の仕方を工夫することで、児童生徒の思考が 促されます。

例えば、連続する2つの整数の2乗の差を提示します。

A「連続する2つの整数の2乗の差は、 その2つの整数の和になります。この ことが成り立つことを証明しなさい。」

B「この計算からどんなことが考えられ るでしょうか。」

りありませんが, Aは「成り立つ」こと|

$$A$$
 「連続する 2 つの整数の 2 来の差は, $2^2 - 3^2 = 7$ その 2 つの整数の和になります。このことが成り立つことを証明しなさい。」 $2^2 - 8^2 = 17$ $10^2 - 9^2 = 19$ $2^2 - 2^2 = 49$ ※ $2^2 - 2^2 = 15$ かいまります。 $2^2 - 2^2 = 15$ ※ $2^2 - 2^2 = 15$ かいまりませんが $2^2 - 2^2 = 15$ ※ $2^2 - 2^2 = 15$ ※ $2^2 - 2^2 = 15$ ※ $2^2 - 2^2 = 15$

が与えられているのであまり必要感を意識せずに証明に取り組みます。一方, Bは, 共通点に気付き、予想(仮説)を立てる際に思考が促されます。そこから(自分の予 想が成り立つことを証明するという)目的意識を持って主体的に取り組むと考えられ ます。

・ 同じ問題場面でも、学習課題(めあて)の提示の仕方や発問の工夫によって、学習 意欲や思考力を高めることにつながります。少しずつ工夫をしていきましょう。

3 「指導改善のポイント」を踏まえた指導例



【小学校 国語】

A 3 「オムレツの作り方を調べる」

A 4 「物語を読み、心に残ったことを説明する」

A 7 「敬語を使う」

【中学校 国語】

· A 6 二 「話合いをする」

・B 3 三 「文学的な文章を読む」

【小学校 算数】

• A 7 (1) 「直径,円周,円周率の関係」

· A 8 「割合」

• B 1 (2) 「図形の観察と論理的な考察・表現」

【中学校数学】

・A 2 (4) 「文字式の計算とその利用」

・A 6 (1) 「平面図形の基本的な性質」

B 1 (1) 「不確定な事象の数学的な解釈と判断(アンケート)」

【小学校 理科】

・ 3 (2) 「電流の向きと大きさ」

・ 4 (1) 「ろ過の操作」

【中学校 理科】

• 4 (3) 「原子や分子のモデル」

・ 6 (2) 「抵抗の大きさ」



「指導改善のポイント」を踏まえた指導例

☆調査の中で課題が見られた問題(全国平均とのかい離が大きい問題)の 誤答分析を行い,「指導改善のポイント」と指導例を示しました。

〇主な誤答【宮城県反応率9.2%】

山本さんに5と解答しているが、川上さんに3と解答していないもの。

〇考察

「こげないようにしたい」という目的と、「作り方」に書かれている「火に関する内容についての文章」とを関係付けて捉えることができず、フライパンのイラストと結び付けてしまったと考えられます。



☆指導改善のポイント

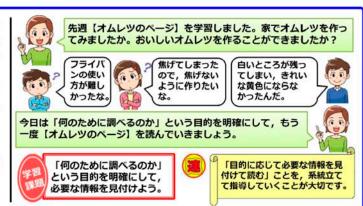
課題を解決するために必要な情報を捉えて読む活動を取り入れます。目次や索引、見出しに着目して読む、キーワードを見付けながら読む、図表と結び付けて読むなど、目的に応じて中心となる語や文を捉えて読むことができるようにします。

【「☆指導改善のポイント」を踏まえた指導例】[第3学年及び第4学年] 小学校 国語A3

学習課題を捉える

①何のために調べるのかという目的を明確にし何について調べるのかを具体的にすることで自分の必要とする情報がどこにどのように書かれているかを見付けられるようにします。 ②児童一人一人に「読む

目的」を持たせます。





…小中連携を意識した指導が考えられる場面

☆各学校で課題が見られた問題の誤答分析を行い,これからの指導方針に ついて話し合うことが,授業改善につながります。この資料を,各学校 で話し合う際の参考資料として活用してください。

国語 A 3 「オムレツの作り方を調べる」 小学校

■学習指導要領における領域・内容

[第3学年及び第4学年] C 読むこと イ

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連 〔第3学年及び第4学年〕C 読むこと イ

【宮城県平均正答率71.2%/全国平均正答率73.9%】



〇主な誤答【宮城県反応率9.2%】

山本さんに5と解答しているが、川上さんに3と解答していないもの。

〇考察

「こげないようにしたい」という目的と、「作り方」に書かれている「火に関 する内容についての文章」とを関係付けて捉えることができず、フライパンのイ ラストと結び付けてしまったと考えられます。

☆指導改善のポイント

課題を解決するために必要な情報を捉えて読む活動を取り入れま す。目次や索引、見出しに着目して読む、キーワードを見付けなが ら読む,図表と結び付けて読むなど,目的に応じて中心となる語や 文を捉えて読むことができるようにします。

【「☆指導改善のポイント」を踏まえた指導例】〔第3学年及び第4学年〕 小学校 国語A3

学習課題を捉える

- ①何のために調べるのか という目的を明確にし 何について調べるのか を具体的にすることで 自分の必要とする情報 がどこにどのように書 かれているかを見付け られるようにします。
- ②児童一人一人に「読む 目的」を持たせます。



先週【オムレツのページ】を学習しました。家でオムレツを作ってみましたか。おいしいオムレツを作ることができましたか?



フライパ ンの使い 方が難し かったな。



焦げてしまった[、] ので,焦げない ように作りたい な。 白いところが残っ てしまい, きれい な黄色にならな かったんだ。



今日は「何のために調べるのか」という目的を明確にして, もう 一度【オムレツのページ】を読んでいきましょう。



「何のために調べるのか」 という目的を明確にして, 必要な情報を見付けよう。



「目的に応じて必要な情報を見付けて読む」ことを, 系統立て て指導していくことが大切です。

目的を明確にして交流する

- ③同じページを読む際に も目的に応じて必要な 情報を得るための方法 が異なる,ということ を実感できるようにし ます。
- ④読む目的が「材料の確認」であれば、見出し やキーワードに着目し て,拾い読みをする摘 読が効果的です。

私の読む目的は「焦がさないように焼くコツ」を知ることです。「火が入りすぎないように」と書かれているところを読めばいいかな。

「作り方」の3番 に「フライパンを 火からおろす」っ て書いてあるよ。



僕は,白いところが残らないように 焼きたいから,卵を溶きほぐす方法 をもう一度確かめよう。

> 「ポイント」を 読めば, 卵を溶 きほぐすこつが 分かるよ。

「読む目的」を持って,目的に応じて必要な情報,中心となる語や文を見付けて読む能力を育成しましょう。



学習課題に沿って振り返る

- ⑤目的に応じて、必要な情報を見付けて読むことで、課題解決を図ることができたかどうかを振り返り、児童がその有効性を実感できるようにします。
- ⑥他教科等との関連を図り、身に付けたことを活用できるようにすることも大切です。

「何のために調べるのか」という目的を明確にして,必要とする情報を見付ける学習をしました。どのようなことに気付きましたか。ペアで伝え合いましょう。



6 9

友達とは調べたい 目的が違っていた ので,それぞれ読 み直す場所が違っ ていました。



最初から順番に 読まなくても、 見出しから読み たいところを探 せました。



必要なとこ ろを中心に 読めばいい んだね。

日常生活でも、図鑑や事典、説明書、インターネットなどから、自分が知りたい情報を見付けて読む機会が多くなっています!



今度, 卵を使った料理には他にどんなものがあるか, 図書館で調べて みよう!目的を持って調べるっておもしろいね!

小学校 国語 A 4 「物語を読み、心に残ったことを説明する (『くらやみの物語』) I

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕C 読むこと エ

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連 〔第3学年及び第4学年〕C 読むこと エ

【宮城県平均正答率69.0%/全国平均正答率74.0%】

明することにしました。 花火は、コウタの家の物置に入いた。お金を出し合って買った コウタは、 れていた。しかし、その花火は そこでコウタは仲間の一人に に伝え、 のもとに向か かり、水につけられてしまう。 で画の当日にコウタの母親に見 の仲間と花火大会を計画して 景色や様子を表す表現から、 ウタは、そのことをカクロ 物語のこれまでの カク 水につけられてしまう。 、カクロウをふくめた の夏休みの終わりに タは仲間の一人に厳 向かい、報告をする。 クロウと自転車で仲 武鹿悦子さんが コウタのあわてている様子が伝わってくるから。 おたがいを思う気持ちが伝わってくるから、 理由として最も適切だと考えられるものを、 【物語の一部】 くら やみの をよく読んで、 (武鹿悦子『くらやみの物語』による。) 物語 (武鹿悦子「くらやみの物語」による。) (問い) に答えましょう。 〇正答 2

- 〇主な誤答【宮城県反応率21.1%】 「3」と解答しているもの。
- 〇考察

【物語のこれまでのあらすじ】や【物語の一部】にあるコウタの状況と、風景 や様子を表す表現とを関連付けて捉えることができなかったと考えられます。

☆指導改善のポイント

心に残った叙述を取り上げ、その叙述を取り上げた理由を交流する活動を通して、象徴性や暗示性の高い表現などに着目できるようにします。高学年では、情景描写を根拠に登場人物の相互関係や心情を捉えることができるようにします。

【「☆指導改善のポイント」を踏まえた指導例】[第5学年及び第6学年] 小学校 国語A4

学習課題を捉える

- ①第4学年までの学習を 踏まえて,「心に残っ た情景描写を根拠に, 登場人物の心情を想像 して説明しよう」とい う学習課題を設定しま す。
- ②「叙述」「情景描写」 とはどのようなものか について確認します。



4年生の時,物語を読んで,心に残った叙述を取り上げて 理由を伝え合う勉強をしました。

「くらやみの物語」では、どの叙述が心に残りましたか? あらすじを思い出してみましょう。



(家になんか帰るもんか。) という心のつぶやきです。



母親に花火を水につけられた場面の叙述です。

今日は,心に残った情景描写を根拠に,登場人物の心情を想像し, 説明し合いましょう。



ジョン 心に残った情景描写を根拠に,登場 場人物の心情を想像し説明しよう。

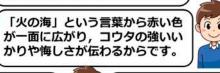


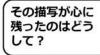
目的を明確にして交流する

- ③情景描写を根拠に、想像を広げて登場人物の心情を考えさせます。
- ④根拠とした情景描写と 想像した登場人物の心 情の伝え合いを設定し ます。
- ⑤<mark>共感したり、質問した</mark> りしながら考えたこと や感じたことを発表さ せます。



「草がそよぎをとめ,草の穂波の向うに沈む夕日が,あたり一面を 火の海にしている」という情景描 写が心に残りました。









「コウタは, かけこ ` んでいって思いっき りの声でさけんだ」 という描写もいいな。



どうしてい いと思った の?



コウタは誰にも見られないところで 泣いていたんだよ。その悔しさに共 感できると思ったんだ。



暗示的に表現されている登場人物の心情を, 情景描写を根拠に, 想像を豊かにしながら読むことが大切です。

学習課題に沿って振り返る

- ⑥学習課題を再確認して 学習課題に沿った振り 返りをします。
- ⑦同じ作者や同じ題材の作品を読み比べ、自分で、優れた叙述に気付くことができるようにしていきます。

情景描写を根拠に,登場人物の心情を想像し,説明することで,ど のようなことに気付きましたか。ノートに3行程度で書きましょう。



「どのように書

かれているかし

という表現に着

とても大事だと

目することは、

思いました。

直接は書かれていない登場人物の気持ちを,情景描写を根拠に想像を広げながら読むことで,理解することができました。



同じ作者や同じ題材 の作品も読んでみた いです。どのような 情景描写があるか, 比べてみたいです。



中学校では、複数の場面や描写を結び付けて文章を解釈し、他の人の解釈と比較するように指導することも有効です。また、文章の理解をより深めるために、考えの根拠となった描写を具体的に示すように指導することが大切です。



小学校 国語 A 7 「敬語を使う」

■学習指導要領における領域・内容 [第5学年及び第6学年]伝国(1)イ(ク) 【宮城県平均正答率50.5%/全国平均正答率56.0%】

4	3	2	1	高野さん	石橋さん	池田さん	石橋さん	話を聞い	あとの 1 か
ア	ア	ア	ア	} 大	11		お仕がまれ	いてい	から 4 4
いらっしゃいま	来ました	いらっしゃいま	来ました	大変だと私の母が「イ」	いますか。	~ (池田さんの話を聞く)	お願いします。 仕事について、たくさん** します。	ている様子の一部】	あとの1から4までの中から一つ選んで、
ました イ	1	ました・	1	のですが、池	さいました。池田さんに質問	5	たくさん教えていただきましょう。		その番号も
言っていた	おっしゃって	おっしゃって	言っていた	田さんはどうですか。	質問のある人は		ょう。池田さん、おとうふ屋さんの		とよう。
正答 4	t:	たった							ど書きましょう。

- 〇主な誤答【宮城県反応率36.8%】 「2」と解答しているもの。
- 〇考察

問題場面において、身内に対して尊敬語を用いることが適切ではないということを捉えることができなかったと考えられます。

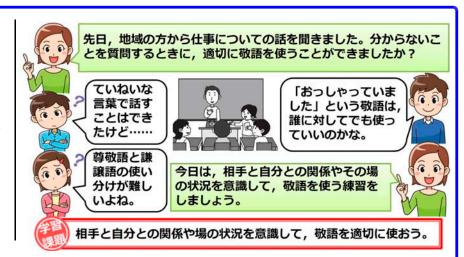


☆指導改善のポイント

地域の人や保護者などと関わる学校行事などにおいて話をしたり、 案内の手紙を書いたりするなどの活動を取り入れます。相手と自分 との関係や場の状況を意識して、日常よく使われる敬語を理解し、 使い慣れるようにします。

学習課題を捉える

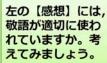
- ①日常生活での敬語の使 い方を見直すことがで きる学習課題を設定し
- ②相手と自分との関係や 場の状況を意識しなが ら, 敬語について理解 し、使おうとする意欲 を高めます。



目的を明確にして交流する

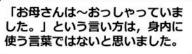
- ③相手と自分との関係や 場の状況によって, 尊 敬語や謙譲語の使い分 けができるようにしま す。
- ④敬語が適切に使われて いるかをグループで話 し合い、公の場におけ る敬語の使い方に関す る感覚を養います。

【感想】池田さんが話していた「生きがい」と いう言葉が心に残りました。私のお母さんは、 「これからもおいしいおとうふを作ってくださ い。」とおっしゃっていました。





池田さんに対して は「尊敬語」で話 した方がいいと思 います。







自分のお母 さんのこと は「母」と 言うといい と思います。

【感想】「池田さんがおっしゃってい た『生きがい』という言葉が心に残り ました。私の母は『これからもおいし いおとうふを作ってください。』と 言っていました。」になるといいね。



学習課題に沿って振り返る

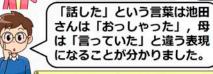
- ⑤敬語を適切に使うため に大切なことを、一人 一人が振り返ったあと に学級全体で共有しま す。
- ⑥学習発表会や運動会. 来客があった時などと 関連させ、日常よく使 われる敬語を理解し, 使い慣れるようにしま す。



どのようなことに気を付けて敬語を使いましたか。今日の学習を 振り返ってみましょう。

自分や家族の行動を話 すときは「尊敬語」は 使わないようにします。 話し相手に敬意を表す言い方 「謙譲語」の使い方が分かり ました。





相手を敬い, 敬意を表 す敬語を使えるように なりたいです。





高学年では、日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。中学 校では敬語などの相手や場の状況に応じた言葉遣いを理解し使うこ とが求められます。

中学校 国語A6二「話合いをする」

■学習指導要領における領域・内容 [第1学年] A 話すこと・聞くこと オ 【宮城県平均正答率62.4%/全国平均正答率65.8%】

「	この時間は、来月行われる遠辺のときに乗るバスの単席の決め方について語し合います。どのように単席を 込めればよいかについて変見を出してください。変見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってく ださい。 「アーカケルリンには、大人と弦います。くし引きは公平で、決めるのに時間がかからないからです。 私は、自分が乗りたい場所の意望を出して、なったが制造して決めればよいと思います。その方法がと、中のよいにないででようか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでようか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでようか。 のではないでようか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでようか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしまう のではないでしょうか。 のではないでようか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 のではないでしょうか。 ・ 本行さんは、「関西の作権記しないことがあることに気付きました。「話し合いのに構認しないことがあります。 黒川さんと 本行さんは、「大田 所 様 要なっいなくじしかの も 本付きる しいですか。 「黒川さんと本付さんは、」に続けて、実際に話すように書き ・ 本付きんは、「メモの一都 きんしないことがあることに気付きました。「話し合いの	一部」の		〈方法〉	〈理由〉	【メモの一部】		谷木		谷	高田	横井		中山		平,野	黒 棋 井	半		谷	【話し合いの一部】
「	「	口 は、	・山下さん	(एगा क		善	木村		75			t±	ので		L.				ださ	決めこ	の一部
いかについて意見を出してください。意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってくいかについて意見を出してください。意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってくりまがよいと思います。くじ引きは公平で、決めるのに時間がかからないからです。 作のよい人には、アクループでまとまって座るのがよいと思います。 その方法がよいと思います。 の方法だと、仲のよい人に対してグループでまとまって座るのがよいと思います。 その方法がよいと思います。 でクイズなら、バスの中が明るい雰囲気になります。 その方が時間がかかりません。 のう法だと、仲のよい人たちだけが近くの座席になって、学教全体での交流が少なくなってしまうでしょうか。 から登見についてですが、バスの中で全員が参加できるレクリエーションを考えれば、交流についてと思います。 からを担任の先生に決めてもらうのが一番よいと思うのですが、どうでしょうか。 他に意見があまか。 本生は必可で、どの切りにまとまって座るのかをくじ引きで決めるのがよっか。 からなを行うのはどうでしょうか。 クイズなら、学教の全員が楽しめると思います。 他に意見があまか。 単年 中のように確認したいことがあります。 黒川さんと を見が出たので一度まとめたいと思いますが、その前に確認したいことがあります。 黒川さんと 中 増 ボース と サ さ さ と 北 です か。 「黒川さんと 木 村さん は 、	いかについて意見を出してください。意見を達べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってくいかについて意見を出してください。意見を達べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってくいかと思います。くし引きは公平で、決めるのに時間がかからないからです。 (し引きないにと思います。 (し引きないにと思います。 (し引きないにと思います。 (し引きないにと思います。 (し引きないがよいと思います。 (し引きないがよいと思います。 (し引きないがよい人間上でグループでまとまって座るのがよいたと思います。 (かのよい人と近い席だったら、バスの中が明るい雰囲気になります。 (でうイズ大会を行うのはどうでしょうか。 タイズなら、学級の全員が楽しめると思います。 他に差見があります。 他に差見が出たので一度まとめたいと思いますが、その前に確認したいことがあります。 他に差見があることに気がてもらうのが一番よいと思いますが、その前に確認したいことがあります。 周川さんとないがも含めて、あとで話し合うことにしましょう。 他に差見があることに気付きました。 なん 人の 引き マルー・ 本村さん に 確認しなければならないことがあります。 黒川さんと なん は、 一 は は なん と 木村さん に 確認しなければならないことがあります。 黒川さんと 本村さん と 木村さん に 確認しなければならないことがあることに気付きました。 なん さん は ですが。 ですが。 「黒川さんと 木付さん は ですが。 「黒川さんと 本村さん に ですが。 「黒川さんと 本村さんと 本村さん に 確認しなければならないことがあることに気付きました。 なん ますな と なん 音 は ならないことがあることに気付きました。 なん さん は ですが ますが ますが ますが まずが まずが ことがあることに気付きました。 「基別さればならないことがあることに気付きました。 「 まずな と なん ですが。 「 黒川さんと 本村さん は ですが ですが ですが ですが ですが ですが と しな ですが あります と かん は ですが あります なん と 木村さん は ですが		・横井さん	グループごと	時間がかからない		さんは、	ろいろ	はいま	クリエ	スの中で	題ない。	はない一	野さん	思いま	はまず、	ま、人一の	はくじ	۲,	ればよ	800
い場所の希望を出してください。意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってくいるグループでまとまって座るのがよいと思います。と切りさは公平で、決めるのに時間がかからないからです。と思います。くじ引きは公平で、決めるのに時間がかからないからです。と思います。くじ引きは公平で、決めるのに時間がかからないからです。と思います。といるグループを作って、どの辺りにまとまって座るのかをくじ引きで決めるのがよい人に対して、が、バスの中で全員が参加できるレクリエーションを考えれば、交流について、、中のよい人たちだけが近くの座席になって、学級全体での交流が少なくなってしまう。のからないと思いますが、バスの中で全員が参加できるレクリエーションを考えれば、交流について、の中のよい人たちだけが近くの座席になって、学級全体での交流が少なくなってしまう。とからなどでしょうか。少イズなら、学級全体での交流が少なくなってしまう。をを行うのはどうでしょうか。少イズなら、学級全体での交流が少なくなってしまうが、中の順には、するかしないかも含めて、あとで話し合うことにしましょう。他に意見があるると、ルバ・オート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いない人は、するかしないかも含めて、悪いと思います。どのように座席を出してください。 意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってくい、 (地) 場所の希望を出してください。 意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってくい、 (山) 場所の希望を出して、東なったら相談して決めればよいと思います。 (地) 場所の名望を出して、東なったら相談して決めればよいと思います。 (他) まで決めるのがよい人においまい。 (本) なったく 相談して決めればよいと思います。 (他) まで決めるのがよい人においまい。 (本) が近くの座席になって、学教全体での交流が少なくなってしまうか。 (全) ない人と近い常ろのとうでしょうか。 (他) 地) が近くの座席になって、学教全体での交流が少なくなってしまうか。 (他) 地) 大生に決めてもらうのが一番よいと思いますが、どうでしょうか。 (他) 地) 地 (地) 地) は (地) は (地) 地) は (地)	の一部	黒川さん				П	な意見が出	か。	ーションに	じクイズ士	と思いますの意見につ	じしょうか	の方法だと	ゆのと	仲のよ	が死をした。	りきがよい		いかについ	
ルのときに乗るバスの座席の決め方について話し合います。どのように座席を上してください。意見を進べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってくい、ことで言とまって座るのがよいと思います。その方が時間がかかりません。常だったら、バスの中が明るい雰囲気になります。その方が時間がかかりません。 はどうでしょうか。 クイズなら、学教の全員が楽しめると思います。 他に意見があってもらうのが一番よいと思うのですが、どうでしょうか。 他に意見があめらめたいと思いますが、その前に確認したいことがあります。 黒川さんと木村さんに確認しなければならないことがあります。 黒川さんと木村さんに確認しなければならないことがあることに気付さんと木村さんと木村さんに確認しなければならないことがあることに気付きためたいと思いますが、その前に確認したいことがあります。 黒川さんと木村さんに確認しなければならないことがあることに気付きためないと思いますが、その前に確認しなければならないことがあることに気付きためないと思いますが、その前に確認しなければならないことがあります。 黒川さんと木村さんと木村さんに確認しなければならないことがあることに気付きためないと思いますが、その前に確認しなければならないことがあります。 黒川さんと木村さんと木村さんと木村さんに確認しなければならないことがあることに気付きためないと思いますが、その前に確認しないことがあります。 とがあることに気付きためないとないですか。 「黒川さんと木村さんと木村さんに確認しないですか。」	にしてください。意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってくいしてください。意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってくい。くじ引きは公平で、決めるのに時間がかからないからです。 ハーブを作って、どの辺りにまとまって座るのかをくじ引きで決めるのがよいと思います。その方が時間がかかりません。	を見て、	・平野さん	仲のよい人のグループ	明るくなる			先生に決めて一つ		いついては、	へ会を行うの	ついてですが	"。	と、仲のよい	い人と近い	人同士でが	こい易折りむ	と思います		て意見を出	
に乗るバスの座席の決め方について話し合います。どのように座席をださい。意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってください。意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってください。意見を述べる際には、その方法がよいと思います。として、重なったら相談して決めればよいと思います。たけが近くの座席になって、学教全体での交流が少なくなってしまうの中で全員が参加できるレクリエーションを考えれば、交流についてでしょうか。クイズなら、学教の全員が楽しめると思います。しないかも含めて、あとで話し合うことにしましょう。他に意見があしないと思いますが、その前に確認したいことがあります。黒川さんとたいと思いますが、その前に確認したいことがあります。黒川さんとないと思いますが、その前に確認したいことがあります。	に乗るバスの座席の決め方について話し合います。どのように座席をださい。意見を述べる際には、その方法がよいと考える理由も言ってく 引きは公平で、決めるのに時間がかからないからです。 まとまって座るのがよいと思います。その方が時間がかかりません。 して、重なったら相談して決めればよいと思います。 だけが近くの座席になって、学級全体での交流が少なくなってしまう の中で全員が参加できるレクリエーションを考えれば、交流について でしょうか。タイズなら、学級の全員が楽しめると思います。 しないかも含めて、あとで話し合うことにしましょう。他に意見があ うのが一番よいと思うのですが、どうでしょうか。 うのが一番よいと思うのですが、どうでしょうか。 しないかも含めて、あとで話し合うことにしましょう。他に意見があ うのが一番よいと思うのですが、どうでしょうか。 こんと木村さんに確認しなければならないことがあります。黒川さんと とたいと思いますが、その前に確認したいことがあります。黒川さんと	まうなる	木村さん	先生が決める				度まとめ		するか	はどう	か、バス		人たち	席だっ	ループ	リカラで	くじ		足のとき	
. 19	- 大変際に話さ	すか。「黒川さんと木村さんは、」に続けて、 にしなければならないことがあることに気付い。					a	の前に確認したいことがあります。黒川さんとてすか。とうでしょうか。		で話し合うことにしましょう。他に意見があ	、学級の全員が楽しめると思います。	シレクリエーションを考えれば、交流について		って、学級全体での交流が少なくなってしまう	雰囲気になります。	とまって座るのかをくじ引きで決めるのがよ	で抉わればよいと思います。	に時間がかからないからです。		い方について話し合います。どのように座席をい方について話し合います。どのように座席を	

〇主な誤答【宮城県反応率19.3%】

実際に話すように書いているが、黒川さんと木村さんのそれぞれの理由を確認 するように書いていないもの。

〇考察

司会の「方法とよいと考える理由も言ってください。」という発言に着目できていなかったり、黒川さんと木村さんの発言に理由が不足していることを捉えることができていなかったり、捉えられていても、相手に伝わるように表現することができなかったと考えられます。

【正答例】

・(黒川さんと木村さんは、)なぜそれぞれの方法がよいと考えたのですか(。)

【正答例】

・(黒川さんと木村さんは,) それぞれのその方法がよいと考えた理由を述べて ください(。)

【主な誤答例:「相手に確認するような発言をすること」を満たしていないもの】

・(黒川さんと木村さんは、) それぞれの理由を確認しなければならないこと(。)

【主な誤答例:黒川さんと木村さんの発言に理由が不足していることを捉えることができなかったもの】

- ・(黒川さんと木村さんは、) どのように考えますか(。)
- ・(黒川さんと木村さんは,)他の人の意見についてどう思いますか(。)



☆指導改善のポイント

司会や議長の立場、それ以外の立場で参加する話合い活動を通して、話合いが課題の解決に向かうように進め方を提案したり、それぞれの立場で話合いが効率よく進むように協力したりできるようにします。

学習課題を捉える

①話合いの様子を記録した動画を見ながら、話合いの目的、話題や方向を捉えて、司会や議長、それ以外のそれぞれの立場で話し合っているかどうかについて考えるという学習課題を設定します。



目的を明確にして交流する

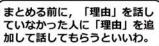
②司会や議長、それ以外 のそれぞれの立場にお ける発言の意図や効果 について考えさせ、助 言や改善策について交 流させます。



次は,司会の進め方について確認しましょう。司会者が「意見」だけ でなく,「理由」も話すように求めたことがいいと思うわ。

話が議題からそれたときに,修正したところがよかったです。

いろいろな意見が出たあとの司会の進め方は難しいよ。





僕は「○○さんはどう思い ますか。」と聞いたけど, 何か足りなかったよね。



「理由」を聞きたい, ということが伝わるといいね。



そうか!「なぜその方法が よいと考えたのですか。」 と聞けばよかったんだ! 「その方法がよいと考えた 理由を話してください。」 でもいいよね。



U

学習課題に沿って振り返る

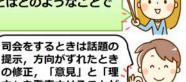
③**互いの考えを結び付け** て建設的に話し合い, 考えをまとめていくこ とが重要であるという ことを共有できるよう な振り返りをします。 話題や方向を捉えて話し合っているかについて確認できましたね。 発言するとき,司会をするときに大切なことはどのようなことで しょう。近くの人と伝え合いましょう。



話合いの目指しているゴール を常に意識して,発言を結び 付けながら話し合いたいです。

話し合いたいです。 曲」を発表させることが 大切です。

D



発言をするときには, 結果がまとまるように進め方を提案したり, 協力したりしたいです。



確かめたことを踏まえて,次は「席替えの方法」について話し合いましょう。

「意見」と「理由」を明確にして問題解決のために話し合う学習を小学校高学年から系統的に積み重ねていきましょう。

中学校 国語B3三「文学的な文章を読む(『夢を買った話』)」

■学習指導要領における領域・内容 [第1学年] B 書くこと ウ

[第1学年] C 読むこと イ [第2学年] 伝国(1)ア(イ)

【宮城県平均正答率46.6%/全国平均正答率49.2%】

次 この話のあらすじを学級の友達に説明しようと思います。あなたならどのように説明しますか。次の条件1と条件2にしたがっ の文章は、 なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。 川北 端善明 七十字以上、百二十字以内で書くこと 話の展開を取り上げて書くこと。 古典を現代語に訳したものです。これを読んで、 『字治拾遺ものがたり』 による。) あとの問いに答えなさい。

〇主な誤答【宮城県反応率37.0%】

条件に示された「七十字以上,百二十字以内で書くこと」は満たしているが, 「話の展開を取り上げて書くこと」を満たさないで解答しているもの。

〇考察

話の展開や時間的な場面の展開を適切に捉えていなかったり、自分の感想のみを書いたりしていると考えられます。

【正答例】(ひきのまきひとと国司の長男殿の二人に着目して書いている)

・むかし、国司の長男殿が自分の夢を夢うらないの女にみてもらうと、大臣にまで出世する夢だと言われた。その夢を横取りしたひきのまきひとは、自分でもひたすら勉強して、本当に大臣になった。一方、国司の長男殿は官職もつかない身分で終わってしまった。(119字)

【正答例】(ひきのまきひとに着目して書いている)

・備中の国の郡司の子ひきのまきひとは、夢うらないの女と国司の長男殿とが話しているのを聞いた。長男殿の夢がすばらしい夢だと知ったまきひとは、女に頼んで長男殿の夢を横取りし、大臣になった。(92字)

【正答例】(国司の長男殿に着目して書いている)

・国司の長男殿が、自分のみた夢を夢うらないの女にみてもらったところ、大臣になるすばらしい夢だと言われたが、その夢をひきのまきひとに取られてしまった。国司の長男殿は、結局、官職もつかない身分で終わってしまった。 (104字)

【正答例】(話の前半部分を取り上げて書いている)

・夢うらないの女のもとを訪れたひきのまきひとは、国司の長男殿のみた夢が大変すばらしいものであることを知った。そこで、ひきのまきひとは女に頼んで、その夢を横取りして帰って行った。(88字)

【正答例】(話の後半部分を取り上げて書いている)

・むかし、ひきのまきひとはひたすら勉強して、ぐんぐんと学問のある人に成長した。そして遣唐使に選ばれ、長い間唐で学問や技術を習い覚えて帰国した。 天皇にすっかり信任されたまきひとは、しだいに官職もあげて、ついには大臣にまで任命された。(115字)

【主な誤答例:話の展開を適切に捉えて書くことができていないもの】

・備中の国の郡司の子に、ひきのまきひとというものがいた。気になる夢をみたので夢うらないの女にみてもらうと、大臣になるすばらしい夢だと言われた。 その後、ひきのまきひとはひたすら勉強し、ついには大臣にまで任命されたという話である。(113字)

【主な誤答例:自分の感想のみを述べ、話の展開を捉えて書くことができていない もの】

・私はこの話を読んで、夢を取るということは恐ろしいと思いました。もし、自 分の夢が他人に取られていたら、夢をかなえることができなくなってしまいま す。昔から伝えられている話なので、自分の夢を人に話すのはやめようと思い ます。(109字)

☆指導改善のポイント

時間や場所、問題状況などの設定、情景や場面の変化、登場人物の性格や行動、会話及び心情の変化、事件の展開と解決などの基本的な構成要素を捉えて、あらすじをまとめる活動を取り入れます。「学級の友達に説明する」などの目的に応じて、適切に表現することができるようにします。

学習課題を捉える

①あらすじをまとめた5 つのモデル文から、「あ らすじが的確に伝わる まとめ方になっている か」を考え、自分がま とめたあらすじを見直 すときに活用するとい う学習課題を設定しま す。



今日は,【A】~【E】のあらすじを読んで,学級の友達に的確に伝 わる「あらすじの書き方」について考えてみましょう。

【A】ひきのまきひとは、夢 うらないの女のもとへ行き、 国司の長男殿の夢を取った。 その後, 国司の長男殿は夢う らないの女のもとを去った。 そして, ひきのまきひとは勉 強して遣唐使になった。

【B】私はこの話を読んで、夢を取る ということは恐ろしいと思った。もし 自分の夢が他人に取られていたら、夢 をかなえることができなくなってしま う。昔から伝えられている話なので, 自分の夢を人に話すことはやめようと 思った。

【A】は時間 の経過が違っ ているわ。

【B】は、あらすじではなく、感想だよね。

学級の友達に的確に伝わるあらすじの書き方に ついて考え, 自分の書いたあらすじを見直そう。

目的を明確にして交流する

- ③あらすじの書き方は、 1つのパターンだけで はないことを共有しま す。
- 4)話の前半部分を取り上 げてまとめ、続きに興 味を持たせるというエ 夫などについても確か めます。



【C】長男殿のすばらしい夢 の話を聞いたひきのまきひと は、夢うらないの女に頼んで 夢を横取りし,大臣になった。 夢を取られた長男殿は大臣に なれなかった。



【E】夢うらないの女のもと を訪れたひきのまきひとは, 国司の長男殿のみた夢が大変 すばらしいものであることを 知った。そこで, ひきのまき ひとは女に頼んで、その夢を 横取りして帰って行った。

【D】備中の国の郡司の子ひ きのまきひとは、夢うらない の女と国司の長男殿とが話し ているのを聞いた。長男殿の 夢がすばらしい夢だと知った まきひとは,女に頼んで長男 殿の夢を横取りし, 大臣に なった。



[D] はひき のまきひとに 着目して書い ていて分かり やすいね。

【C】は長男殿とひきの まきひとの二人に着目し て,物語全体が分かる書 き方だね。

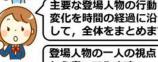
【E】は前半中心に書いていて,このあとの展開に期待させている感じがします。紹介カードなどにいい書き方だね。



- ⑤交流で確かめたことを 踏まえて、自分が書い たあらすじを修正させ ます。
- ⑥自分で選んだ作品のあ らすじを伝え合い、内 容が的確に伝わるか、 適切に表現できている かを確認し合う学習に つなげます。



「学級の友達に的確に伝わるあらすじの書き方」を確認できましたね。 その書き方に着目して、自分が書いたあらすじを見直しましょう。

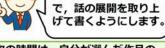


主要な登場人物の行動と心情の 変化を時間の経過に沿って整理 して,全体をまとめます。



話の結末を書いて、それ までの展開はどうだった のだろうと興味を持たせ ようと思います。

から書いてみます。 自分の感想を入れない



次の時間は,自分が選んだ作品の 内容が的確に伝わるように,あら すじを伝え合いましょう。



あらすじをまとめる学習は小学校 中学年から行います。中学校では、 自分が選んだ作品のあらすじを伝 え合い、内容を的確に表現できて いるかどうかを確認し合う学習活 動などを行うことになります。

小学校 算数A 7 (1) 「直径, 円周, 円周率の関係」

■学習指導要領における領域・内容 [第3学年] C図形 (1) ウ

[第5学年] C図形 (1) エ

【宮城県平均正答率35.4%/全国平均正答率41.6%】

次の問題に答えましょう。

- (1) 円周率を求める式を,下の **1** から **4** までの中から | つ選んで,その 番号を書きましょう。
 - 1 円周の長さ×半径の長さ
 - 2 円周の長さ × 直径の長さ
 - 3 円周の長さ ÷ 直径の長さ
 - 4 直径の長さ ÷ 円周の長さ

〇正答 3

- 〇主な誤答【宮城県反応率41.8%】
 - 「2」と解答しているもの。
- 〇考察

円周率を求める式と円周を求める式を混同していると考えられます。



☆指導改善のポイント

円周率を扱う学習では、具体物を測定して円周の直径に対する割合を調べる活動や、結果を表にまとめ円周の長さが直径の長さの約3.14倍になっていることに気付かせる活動等を取り入れて、「円周率=円周÷直径」であることを理解できるようにします。

学習課題を捉える

- ①正十二角形をかいて見 当をつけた値の妥当性 を話し合わせます。
- ②身の回りにある円の形 をしたものを実測する 作業を通して、見当を つけた値の妥当性を確 認します。



直径10cmの円の内側に正十二角形をかきました。正十二角形 の周りの長さを実際にはかって比べたことで、円周の長さと直 径の長さにはどんな関係がありそうだと分かりましたか?

約3.1倍と見当をつけ たけど, 本当かな?



いろいろな大きさの円の 直径と円周の長さを調べ たらどうだろう?





円の直径の長さと円の円周の長さの関係を調べてみよう。



では、いろいろな円の形のものを測って、 表にまとめてみましょう。

直径は、どのようにして測りますか? 円周は、どのようにして測りますか?



どれも3.1倍に なりそうだぞ!

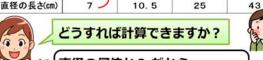
割り算かな?



直径と円周の関係を捉える

- ③実測した結果を表にま とめ、円周の長さは直 径の長さの何倍なのか を求める方法を考えさ せます。
- ④得られた結果を基に、 妥当な値を追求する活 動を通して, 円周は直 径の 3.14 倍であるこ とを実感させ、理解を 深めます。





直径の何倍か? だから 円周の長さ÷直径の長さ だね!



<u>1</u> の位を 四捨五入したら 3.1倍だよ。



四捨五入したら どれも3.14倍だよ。

左の表から、 円周の長さは 直径の長さの 約3.1倍でい いですか?

どっちが割る数かな…?

みたいな!



結果を考察し振り返る

- ⑤どんな大きさの円も, およそ同じ倍数(割合) になっていることに気 付かせます。
- ⑥円周の長さが、直径の 長さの何倍になってい るかを表す数を「円周 率 | ということを確認 し, 式で表す活動を取 り入れます。

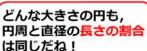
測ったもの	アルミかん	お皿	おぼん	タイヤ
円周の長さ(cm)	22	33	78. 6	135
直径の長さ(cm)	7	10. 5	25	43
円周の長さ・直径の長さ	約3. 14		約3. 14	約3.14

この割合を「円周率」といいます! 円周率とは, 円周の長さが直径の長 さの何倍になっているか?という割 合のことです。



どんな円でも円周は 直径の約3.14倍です。 計算では 円周率=円周÷直径 で求められます。

3.14倍した方が本当の 円周の長さに近いよ。 **約3.14倍**になってるよ!





小学校では,作業的な活動を 通して円周率を約3.14と定 義しています。中学校では, 円周率をπで表し, 文字で表 すよさを学習しますが、概算 のよさにも触れて小中のつな がりを意識させましょう。

小学校 算数A8「割合」

■学習指導要領等における領域・内容 [第5学年] D 数量関係 (3) 【宮城県平均正答率47.6%/全国平均正答率52.9%】

ある会場に子どもたちが集まりました。

集まった子どもたち 200 人のうち 80 人が小学生でした。

小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。

下の 1 から 4 までの中から | つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.4 %
- 2 2.5 %
- 3 40 %
- 4 80 %

〇正答 3

○主な誤答【宮城県反応率32.3%】

「2」と解答しているもの。

〇考察

基準量と比較量を正しく捉えることができず、「200÷80=2.5」と計算し、「2.5%」と捉えていると考えられます。また、基準量を100として、それに対する割合で表す方法が百分率であるということが理解できていないことも考えられます。



☆指導改善のポイント

百分率を用いて表された割合の場面を的確に捉えさせるために、問題場面の数量関係を図や数直線などに表す活動を取り入れます。問題場面から基準量と比較量を正しく捉えて割合を求めることや、基準量を100としてそれに対する割合を百分率で表すことができるようにします。

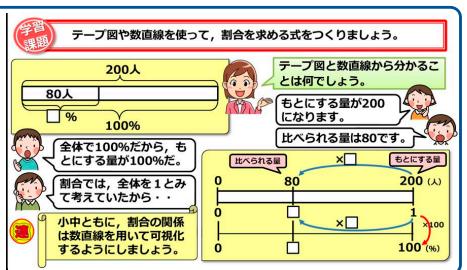
問題場面をつかむ

- ①全体量と部分量をテープ図に表し、2つの量の関係を視覚化します。
- ②テープ図を基に**, 求める** 割合の見当をつけさせ ます。



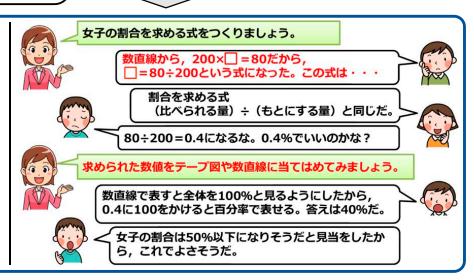
数直線を活用して考える

- ③テープ図で,基準量と比較量の関係を確認します。
- ④割合の関係を表した数 直線に百分率の関係を 表す数直線をかき加え ることで、それぞれの関 係について整理させま す。



問題解決したことを振り返る

⑤テープ図や数直線を基 にして考えた式が,割合 を求める公式になって いるか振り返りを行い, 公式の意味の理解を深 めます。



小学校 算数B 1 (2) 「図形の観察と論理的な考察・表現」

■学習指導要領等における領域・内容 [第3学年] C 図形 (1)

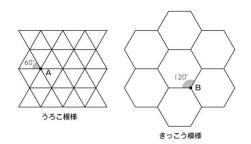
[第4学年] B 量と測定 (2) ア イ, C 図形 (1) イ

[第5学年] C 図形 (1) ア イ ウ

【宮城県平均正答率42.3%/全国平均正答率48.2%】

はるとさんたちは、次に、きっこう模様も調べることにしました。 はるとさんたちが調べているきっこう模様は、合同な正六角形でしきつめ られていました。

はるとさんたちは うろこ模様ときっこう模様について 話し合っています。





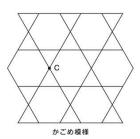
図形の辺どうしがぴったりあっていて、すきまも重なりもなく しきつめられているので、点Aや点Bのまわりに集まった角の 大きさの和は、それぞれ 360°になっているはずです。



点Aのまわりには、正三角形が6つしきつめられています。 正三角形の | つの角の大きさは60°なので、点Aのまわりに 集まった角の大きさの和は、60×6 = 360で、360°です。



点Bのまわりには、正六角形が3つしきつめられています。 正六角形の一つの角の大きさは「20°なので、点Bのまわりに 集まった角の大きさの和は、120×3=360で、360°です。 はるとさんたちは、さらに、**かごめ模様**も調べることにしました。 はるとさんたちが調べている**かごめ模様**は、合同な正三角形と合同な 正六角形でしきつめられていました。





点**C**のまわりに集まった角の大きさの和は、360°になってい ませ

(2) 点Cのまわりに集まった角の大きさの和が、360°になっていることを、 着目した図形の「名前」と「角の大きさ」がわかるようにして、言葉や式 を使って書きましょう。

〇正答例

点 C のまわりに正三角形が 2 つと正六角形が 2 つあります。正三角形の 1 つの角の大きさは 60° で,正六角形の 1 つの角の大きさは 120° なので,点 C のまわりに集まった角の大きさの和は、 $60 \times 2 + 120 \times 2 = 360^\circ$ で、 360° になる。

〇主な誤答【宮城県反応率9.5%】

① (着目した図形の名称),② (角の大きさを表す言葉や数とその角の大きさが幾つ分で360°になるかを表す言葉や式)の全てを書いているが、着目した図形の角の大きさを誤って書いているもの。

〇考察

正三角形や正六角形の構成要素や性質を十分に理解していない児童や,設問内容を理解できず、どのように記述してよいか分からなかった児童がいると考えられます。



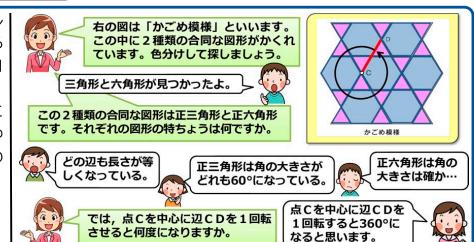
☆指導改善のポイント

図形の性質や構成要素,数量の関係などを示す図や式を読み取って,その 関係を考え,それらを関連付けて説明する活動を取り入れます。事象が成り 立つことを論理的に考察し,数学的に表現することができるようにします。

小学校 算数B1(2)

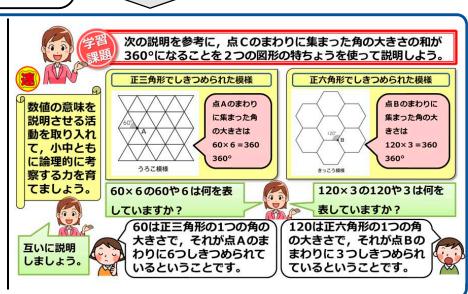
必要な情報を取り出す

- ①色分けの活動を通して、問題場面における図形の構成要素に着目させます。
- ②構成されている図形に ついて, 既習の性質や 特徴を考え, 学習への 見通しを持たせます。



論理的に考察する

- ③示された図と式から関係を読み取らせ、図形の構成要素や性質と結び付けて考えさせます。
- ④読み取ったことを説明 し合うことで、問題解 決に向けた見通しを持 たせることが大切で す。



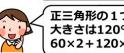
数学的に表現する

- ⑤読み取ったことを生か し**,自分の考えの根拠** を明確にして表現させ ます。
- ⑥導入の場面で取り出し た知識と新たに獲得し た知識を振り返り、それ ぞれの学びを結び付け ます。



それでは, 点 C のまわりに集まった角の大きさの和が360°になることは, どのように説明したらよいでしょうか。

色分けした模様から,点 Cのまわりには正三角形が2つと正六角形が2つあることが分かりました。



正三角形の1つの角の大きさは60°, 正六角形の1つの角の 大きさは120°だから, 60×2+120×2=360 360°ということが分かります。

やっぱり, 点Cのまわりを1回転すると360°になることと 同じになった。



ほかの模様でもできるか試してみたいな。



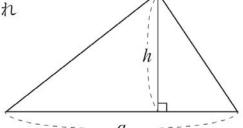
中学校 数学A2(4) 「文字式の計算とその利用」

■学習指導要領における領域・内容 [第2学年] A 数と式 (1) ウ

【宮城県平均正答率36.0%/全国平均正答率48.2%】

(4) 右の図で、底辺の長さa、高さhの 三角形の面積Sは、次のように表されます。

$$S = \frac{1}{2} ah$$



底辺の長さを求めるために、この式 e, aについて解きなさい。

O正答
$$a = \frac{2 \text{ S}}{h}$$

〇主な誤答【宮城県反応率7.8%】

「
$$a = \frac{1}{2}Sh$$
」と解答しているもの。

〇考察

目的に応じて式を正しく変形することができず、2つの文字Sとaを根拠が不明確なまま入れ替えていると考えられます。

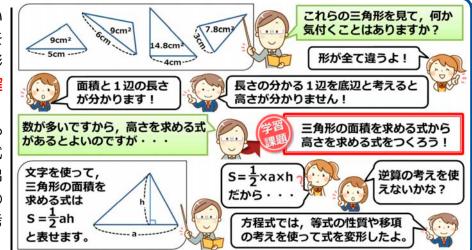


☆指導改善のポイント

2つ以上の文字を含む等式を特定の文字について解く学習で、具体的な場面を設定して目的に応じて式を変形する活動を取り入れます。等式の性質などの根拠となる事柄と変形前・変形後の式の関係が明確になり、式を変形する際の手順が理解できるようにします。

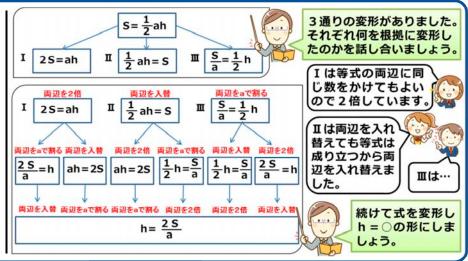
学習課題を見いだす

- ①高さが示されていない 点に着目させ、高さを 求めるために式を変形 するという目的を明確 にします。
- ②三角形の面積を求める 式を、文字を使った式 と図で示し、そこを出 発点として高さを求め る式をつくる方法を考 えさせます。



根拠を示して等式を変形する

- ③ I ~Ⅲの変形について話し合い,変形できる根拠を確認します。
- ④h=○の形になるまで 根拠を示しながら式を 変形させることが大切 です。
- ⑤変形結果を共有する際 に,提示の順番を意識 してまとめさせます。



結果を考察し振り返る

- ⑥順序は違っても「両辺を入替」 を2倍」「両辺を入替」 「両辺をaで割る」と いう3つの手順で式を 変形していることを確 認します。
- ⑦文字で表された式は、 **言葉の式と関連付け**ます。実際に高さを求めた後に、適用問題を提示します。



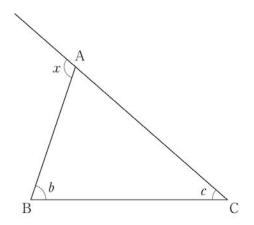
中学校 数学 A 6 (1) 「平面図形の基本的な性質」

■学習指導要領における領域・内容 [第2学年] B 図形 (1) ア

【宮城県平均正答率64.6%/全国平均正答率71.4%】

6 次の(1), (2)の各問いに答えなさい。

(1)次の図の \triangle ABCで、頂点Aにおける外角 $\angle x$ の大きさは、 $\angle b$ と $\angle c$ を用いてどのように表されますか。下の \mathbf{P} から**オ**までの中から正しいものを1つ選びなさい。



$$P \angle b + \angle c$$

$$1 \angle b - \angle c$$

I
$$180^{\circ} - (\angle b + \angle c)$$

オ
$$180^{\circ} - (\angle b - \angle c)$$

〇正答 ア

〇主な誤答【宮城県反応率26.9%】

「エ」と解答しているもの。

〇考察

頂点Aにおける外角 $\angle x$ の大きさを求める際に、 $\angle x$ が180° と頂点Aにおける内角の差に等しいことと、 $\angle x$ がそれと隣り合わない2つの内角の和 $\angle b$ + $\angle c$ に等しいことを混合して用いていると考えられます。



☆指導改善のポイント

三角形の内角の和の説明と同様に、内角と外角の関係について帰納的に関係性を見いだし、演繹的に説明する活動を取り入れます。次に、三角形の内角と外角の2つの性質を活用する場面で、解法を比較・検討する活動を取り入れることで、目的に応じて性質を使い分けることができるようにします。

学習課題を見いだす

- ①様々な三角形をかいて、内角と外角を実測することで、外角の性質を<mark>帰納的に</mark>考えさせます。
- ②見いだした事柄を,前時の学習を例にして,全ての三角形で成り立つことを説明する活動を設定します。



見いだした事柄を説明する

- ③前時の学習を活用しながら、「〇〇(根拠)だからへ(成り立つ事柄)である」のように説明できるようにします。
- ④実態に応じて学習形態 等を工夫します。
- ⑤頂点 A における外角の 性質は、その他の外角 でも同様であることを 確認します。

前の時間の説明が そのまま使えるね! 頂点Aを通り, 辺BCに 平行な直線を引きます。 で 平行線の同位角・錯角は等しいので / b = / b' / c = / c'

平行線の同位用・錯用は等しいので ∠b = ∠b' ∠c = ∠c' ∠x = b'+ c'なので∠x = b + c

それでは,三角形の内角,外角の 2つの性質を使って問題を解決し ましょう。

よくできました!

同じことは, 三角形の他の

頂点でも成り立ちます。

三角形の内角の和は180° だから

∠a+∠b+∠c=180°

また∠a +∠x =180°だから ∠x =∠b +∠c

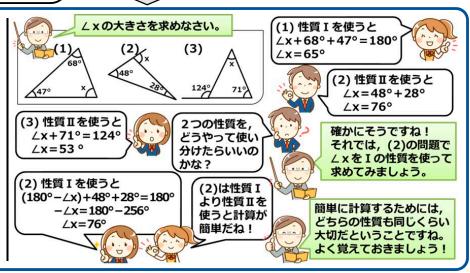
b

三角形の内角, 外角の性質につい てまとめると次のようになります。

- I 三角形の内角の和は180°である。
- Ⅲ 三角形の外角は、それととなり 合わない2つの内角の和に等しい。

振り返って考える

- ⑥性質を正しく活用できるか確認するための適用問題を提示します。
- ⑦(2)を2通りの解法で比較・検討させ,性質を使い分けるよさを実感させます。
- ⑧見いだした事柄の価値を確認し、学習の成果として意味付けます。



中学校 数学B 1 (1) 「不確定な事象の数学的な解釈と判断(アンケート)」

■学習指導要領における領域・内容 [小学校第5学年] D数量関係 (3)

[中学校第1学年] A数と式 (1) イ

【宮城県平均正答率49.0%/全国平均正答率55.7%】

第一中学校では、昼の放送で音楽を流します。放送委員の拓真さんと業月さんは、全校生徒300人を対象に、あらかじめ準備した8曲の中から流してほしい1曲を選ぶアンケートを実施しました。そして、回収した回答用紙の結果から、全校での順位の上位4曲を流すことにしました。下の表は、その回答用紙をもとにして、結果をまとめたものです。

アンケートの結果1

順位		回答した生徒数(人)			
	曲	1年生	2年生	3年生	全校
1 位	A	16	19	20	55
2位	В	12	23	18	53
3 位	С	15	17	20	52
4 位	D	9	18	23	50
5 位	Е	16	8	5	29
6 位	F	20	4	3	27
7位	G	8	7	6	21
8位	Н	6	5	2	13
合言	†	102	101	97	300

次の(1)から(3)までの各間いに答えなさい。

(1) アンケートの結果 1 において、全校生徒 300 人に対する上位 4 曲の A、B、C、Dのいずれかを回答した生徒数の合計の割合を求めなさい。

〇正答 0.7

〇主な誤答【宮城県反応率28.5%】

「1.43」「0.18」「0.17」「210」「52.5」以外の数値で解答しているもの。

〇考察

与えられた情報から必要な情報を選択できない生徒や、割合の求め方を正しく理解していない生徒がいると考えられます。

☆指導改善のポイント

度数の異なる資料を比べる問題を提示し、小学校での既習事項と中学校での学習内容とを関連付けながら、課題を解決する場面を設定することで、表から必要な情報を読み取り、基準量と比較量の関係を的確に捉えることができるようにします。

学習課題を見いだす

- ①与えられた情報から, 比較するために必要な 情報を選択させます。
- ②全体の度数が異なるこ とに気付かせ, 学習課 題を設定します。



下の表は、A中学校とB中学校の1年生について、50m走の記 録を度数分布表に整理したものです。7.0秒以上8.2秒未満で走 る生徒について、どのようなちがいがありますか。

A 中学校	B中学校
度数(人)	度数(人)
3	1
4	3
10	6
18	8
6	4
3	2
1	1
45	25
	度数(人) 3 4 10 18 6 3

7.0~7.4と7.4~7.8, 7.8~8.2の 3つの階級で度数の和を比べるとA 中学校の方が多いね!



でも…? A中学校とB中学校では度 数の合計に差があるよ?本当にそれ でいいのかな?





全体の度数が異なる資料の傾向を読 み取って説明できるようになろう。

小学校との関連を扱う

- ③割合を使って問題を解 くという目的を明確に します。
- 4)小学校で学習した割合 の定義や割合を求める 式を再確認し、本時の 学習課題の解決に向か わせます。
- ⑤問題場面を振り返り、 必要な情報を読み取ら せます。

小学校でも,全体の度数が 異なる2つの資料を使って, その特徴を調べる学習をし ましたね。そのときのこと を思い出してみよう!

記録(秒)	A 中:	学校	B 中 ⁴	学校
記鋏(抄)	度数(人)	割合	度数(人)	割合
以上 未満				
7.0 ~ 7.4	3	0. 07	1	0.04
7.4 ~ 7.8	4	0.09	3	0. 12
7.8 ~ 8.2	10	0. 22	6	0. 24
8.2 ~ 8.6	18	0. 40	8	0. 32
8.6 ~ 9.0	6	0. 13	4	8.16
9.0 ~ 9.4	3	0. 07	2	0.08
9.4 ~ 9.8	1	0. 02	1	0.04
合計	45	1	25	1

卵の重さを調べる学習の中 で, 個数の割合を使って比 べたことを思い出しました。

小学校では,5年生で割合を学習し 6年生で資料の特徴を調べる学習を しています。小学校での学習場面や 算数用語を取り上げながら、学びの つながりを実感させましょう。

もとにする量を1とするから, 階級ごとの割合を合計すると 1になります。



3つの階級の割合をそれぞれ たすと, A中学校が0.38, B中学校が0.40だから,割 合が多いのはB中学校ね!



適用問題に取り組み,振り返る

- ⑥全体の度数が異なる資 料を比べるためには, 「相対度数」を用いる ことを確認します。
- ⑦全体の度数が異なる資 料について、相対度数 を用いて比較する適用 問題を提示します。



度数の合計に対する、その階級の度数の割合のこと を「相対度数」といいます。相対度数を用いること で、ある階級の全体に対する割合が分かります。

相対度数=その階級の度数÷度数の合計

(41) 8458	C中	学校	D中学校	
記録(秒)	度数(人)	相対度数	度数(人)	相対度数
以上 未満				
7.0 ~ 7.4	1	0.03	1	0.04
7.4 ~ 7.8	4	0. 11	3	0. 11
7.8 ~ 8.2	6	0. 17	4	0. 15
8.2 ~ 8.6	12	0. 34	10	0. 37
8.6 ~ 9.0	7	0. 20	5	0. 19
9.0 ~ 9.4	3	0.09	2	0. 07
9.4 ~ 9.8	2	0.06	2	0. 07
合計	35	1	27	1

階級ごとの割 合が相対度数 なんだね!

今度は, C中学校とD中学校で 比べてみよう。7.8秒以上8.6 秒未満で走る生徒の割合が多い のは, どちらの学校ですか?

2つの階級の相対度数を比 べればいいね!

2つの階級の相対度数の和は, C中学校が0.51, D中学校が 0.52だから,割合が多いのは D中学校ね!



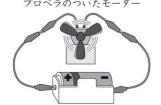
小学校 理科3(2)「電流の向きと大きさ」

■学習指導要領における区分・内容 〔第4学年〕 A 物質・エネルギー (3) 電気の働き

【宮城県平均正答率42.3%/全国平均正答率47.7%】

ひろしさんたちは,下の図の回路を流れる電気の流れ方について,

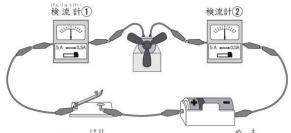
予想したことを話し合いました。





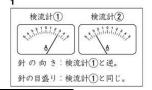
ひろしさんたちは、予想を確かめるために、2つの検流計を使って、下の

図の回路で実験することにしました。



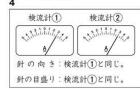
(2) <u>やす子さんの予想が正しければ</u>、検流計①の針が右にふれて3の目盛りを指したときに、検流計②の針はどのようになると考えられますか。下の

1 から 4 までの中から | つ選んで、その番号を書きましょう。









〇正答 2

〇主な誤答【宮城県反応率34.4%】

「4」と解答しているもの。

○考察

これまでの学習を通して獲得した知識を基に実験結果を見通しており、既存の知識を 基に構想することはできているものの、やす子さんの予想に当てはめて考えることがで きていないと考えられます。

☆指導改善のポイント

児童が自らの予想や仮説を基に実験計画を立案し、自分の予想が確かめられた場合に得られる結果とその理由について、グループで説明し合うような活動を行うことで、実験の予想を基に結果を見通すことができるようにします。

B

予想や仮説を設定する

- ①理科の学習では「予想 や仮説の設定」が大切 になります。
- ②児童が自ら回路を作っ て確かめることで、技 能のレディネスが揃い ます。

右の図のような回路を作ってモーターを回します。 AとBの電気の量を比べると、大きさは同じだと思いますか。 それとも違うと思いますか。違う場合、AとBではどちらが 大きいと思いますか。



電気の量は同じだと思うよ。

AとBは電気の量が違うと思うよ。



プロベラのついたモーター

電気の向きについても考えてみましょう。 AとBを流れる電気の向きは、同じだと思いますか。 それとも違うと思いますか。

同じ向きに流れていると思うよ。





AとBの電気の向きは 反対だと思うよ。

問題

電気の量や流れる向きはどのようになっているのだろうか。

実験の方法を考える

- ③既習事項や日常体験と 事象を関係付けること で、実感を伴った理解 につながります。
- 4)児童が自ら実験方法を 考える活動を行い、器 具を使う目的や操作方 法について考えること で、主体的な学習にな ります。

AとBの電気の量や流れる向きは、どのようにすれば調べることができますか。



電気は見えないから見えるといいよね。



そういえば、けん流計を使って電流の向きを調べた ことがあったよね。大きさも調べられそうだったよ。



正しい結果が得られなければ、考察場面で児童が迷ってしまいます。 ここで検流計の使い方を確認しましょう。

自分の予想を確かめるためには、回路のどこに検流計をつなげばよいですか。



AとBの導線をはずして, そこにけん流計をつなげば いいよね。





実験の結果を見通す

- ⑥予想が確かめられた場 合に得られる結果を見 通すことも大切です。
- ⑦グループで自分の予想 と理由を説明し合う活 **動**を行い、自分と異な る予想についても考え て、結果を見通した実 験を行うことで、より 妥当な考えに改善する ヒントが得られます。



Aの位置につないだ検流計の針が、右にふれて3の目盛りを指したとき、 Bの位置の検流計の針はどのようになると思いますか。 図に表してみましょう。











なぜ、そのように考えたのでしょうか。 グループで、お互いの考えを図を使って説明し合いましょう。



けん流計の針の向 きも目盛りもAと 同じです。 なぜなら、電流は 一定の方向に流れ ていて電気の量も 変わらないと考え たからです。



けん流計の針の向 きはAと反対で目 感りは同じです。 なぜなら、電流は 乾電池の両方から ーターに向かっ て流れると考えた からです。

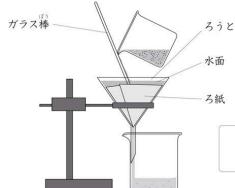


けん流計の針の向き はAと同じで目盛り は小さくなります。 なぜなら、+極から 流れた電流はモータ ーを通ると使われて 減ると考えたからで

小学校 理科4(1)「ろ過の操作」

■学習指導要領における区分・内容 〔第5学年〕 A 物質・エネルギー (1) 物の溶け方 【宮城県平均正答率63.5%/全国平均正答率71.1%】

ゆかりさんたちは、魚を飼育するために、海水を持ち帰りました。 しかし、砂などが混じり、にごっていたため、ろ過することにしました。



これでは正しくろ過できていないよ。 ビーカーにたまった海水には、砂が混じっているよ。



(1) まもるさんの気づきをもとに、正しく操作し直しているものはどれですか。下の 1 から 4 までの中から | つ選んで、その番号を書きましょう。









〇正答 4

〇主な誤答【宮城県反応率25.7%】

「2」と解答しているもの。

〇考察

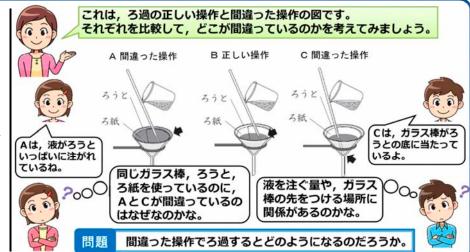
ろ過をする際にガラス棒を使用することの意味や、間違った使い方をするとろ紙が破れてしまうことなどが理解できておらず、実験器具の適切な操作方法が十分に身に付いていないと考えられます。

☆指導改善のポイント

児童が器具の名称や操作手順を理解するだけではなく、実際に操作しながら 器具を使用する目的や操作の意味について話し合ったり、操作を間違えた場合 に起こることを体験したりすることで、実験器具の適切な操作方法を身に付け ることができるようにします。

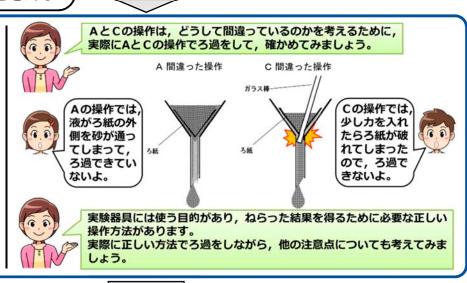
実験器具の操作のポイントに気付く

- ①実験器具を使用する目 的や正しい操作を理解 することは、実験で正 しい結果を得るために 大変重要なことです。
- ②正しい操作と間違った 操作とを比較すること で、児童が自ら操作の ポイントに気付くこと ができます。



実験器具の操作の目的を考える

- ③実際に間違った操作を 行うことで、どのよう な不具合が起こるかを 体験させます。
- ④不具合の体験を通して、 実験器具を使用する目 的を理解し、正しい操 作方法を身に付けさせ ることができます。



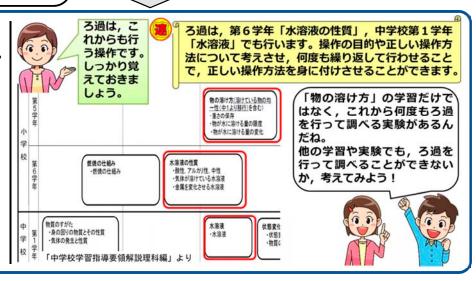
実験器具の活用を意識する

について理解した上で, これから他の単元でも 活用することを知り, 正しい操作を習得しよ

⑤実験器具の正しい操作

止しい操作を習得しようとする意識が高まります。

⑥実験器具の操作に自信 を持つことは、学習意 欲が高まることにもつ ながります。



中学校 理科 4(3)「原子や分子のモデル」

■学習指導要領における分野・内容 第1分野 (4) 化学変化と原子・分子 イ 化学変化 (7) 化合

【宮城県平均正答率44.6%/全国平均正答率49.4%】

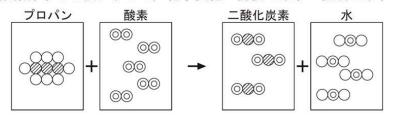
【理科で学習したこと】

化学反応式のつくり方

化学変化の前後で、原子の種類と原子の数は変化しない。

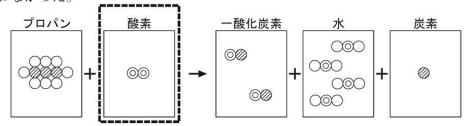
【炎が青い(酸素が十分にある)ときの化学変化】

酸素分子を5個にすると、化学変化の前後で原子の種類と原子の数が合った。



【炎が赤い(酸素が不足している)ときの化学変化】

酸素分子を1個にすると、化学変化の前後で原子の種類は合ったが、原子の数が 合わなかった。



(3) 雪子さんは、「化学反応式のつくり方」をもとに、【炎が赤い(酸素が不足している)ときの化学変化】を見直して、 の中のモデルを修正しました。修正したモデルを書きなさい。

○正答 ◎◎ ◎◎ ◎◎

〇主な誤答【宮城県反応率11.4%】

「◎以外の○や◎」と記述しているもの。

〇考察

「化学変化の前後で原子の種類と数は変化しない」ということの理解が不十分で、化学変化の前後で原子モデルの種類と数を合わせることができていない。また、原子の性質や原子・分子の存在を理解できていない生徒も多いと考えられます。



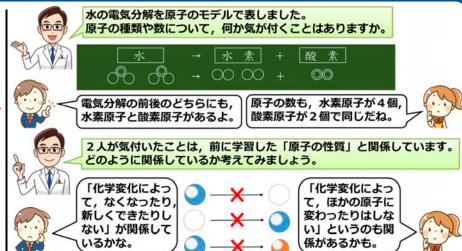
☆指導改善のポイント

生徒が原子の性質を理解した上で、実際の自然や生活の中で起こる化学変化を原子モデルで考え、化学変化の前後で原子の種類や数は変化しないことを確認する活動を行うことで、化学変化をモデルで表現できるようにします。

また、原子の性質は質量保存の法則の基となる知識であり、化学変化の前後の質量について考えることにもつながります。

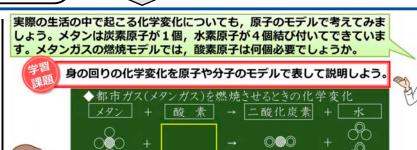
学習のつながりに気付く

- ①化学変化の学習では, 系統的に学習を積み上 げることが大切です。
- ②化学変化を原子や分子 のモデルで示し、「原子 の性質」を基に「化学 変化の前後における原 子の数」について考え させ、それらの関係性 に気付かせることで, 理解が深まります。



自然や生活での活用を考える

- ③実際の自然や生活の中 で起こる化学変化を, 原子や分子のモデルで 考えることで、学習が 定着し、活用する力が 高まります。
- ④単純な構造の物質から 考え始め、徐々に複雑 な化学変化について考 えさせます。



化学変化の前後で,原子の種類や数は変わらないのだから, 燃焼の前後で、酸素原子の数を同じにすればいいのかな。

燃焼後は炭素原子1個,水素原子4個,酸素原子4個ある。 燃焼前後で炭素原子と水素原子は同じ数になっているので, 燃焼前の酸素原子の数も、燃焼後と同じ4個になるはずだよ。

®®

燃焼前の酸素原子は4個,酸素分子で2個必要だと分かるね。

次の学習につなげる

な化学変化とのつなが りを実感することが、 「質量保存の法則」や 「定比例の法則」等に ついて考える手掛かり となり、実験の予想や 考察を主体的に行うこ

とにつながります。

⑤「原子の性質」と様々

「原子の性質」と「化学反応式やモデルは反応前後の原子の種類と数を同じ にする」との関連を考えさせながら、「化学変化の前後の質量」について、 生徒が主体的に予想、考察を行う活動を取り入れることも考えられます。

> ◆うすい硫酸とうすい塩化バリウム水溶液を反応させる前と 反応させた後では、全体の質量はどのように変化するか。 硫酸 + 塩化バリウム → 硫酸バリウム 0_00



「原子の性質」の中に, 質量 に関係しているものって…

化学変化を原子モデルで表す と, 反応の前後で, 原子の種 類と数が同じだったね。

「原子の種類によって質量や 大きさが決まっている」とい う性質があったから…

そうすると, 化学変化の前後 では、全体の質量は変わらな いのかもしれないね。





中学校 理科 6(2) 「抵抗の大きさ」

■学習指導要領における分野・内容 第1分野 (3) 電流とその利用 ア 電流 (4) 電流・電圧と抵抗

【宮城県平均正答率44.8%/全国平均正答率51.9%】

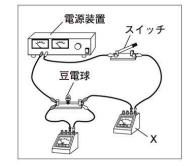
課題

豆電球や豆電球型のLEDの点灯の様子と電力は、どのような関係があるのだろうか。

【実験】

図1のような回路をつくり、豆電球に加える電圧を変えたときの回路に流れる電流の大きさと、豆電球の点灯の様子を調べる。

豆電球型のLEDについても同様に調べる。



【結果】

表1 豆電球

電圧 (V)	0.0	1.5	3.0
Mile III 33 82		6-60 to 1000000	
電流 (A)	0.00	0.42	0.60
電力(W)	0.00	0.63	1.80
	点灯 しない	暗い	明るい
点灯の様子			

表2 豆電球型のLED

電圧 (V)	0.0	1.5	3.0
電流 (A)	0.00	0.05	0.07
電力(W)	0.00	0.08	0.21
	点灯	ппэ	非常に
F IT O IX 7	しない	明るい	明るい
点灯の様子			

(2) 豆電球に 3.0 Vの電圧を加えたときの回路に流れる電流を、 $\mathbf{表1}$ から求めなさい。また、このときの豆電球の抵抗の大きさは何 Ω ですか。

〇正答 5.0 または 5

- 〇主な誤答【宮城県反応率7.4%】
 - 「0.5 50」と解答しているもの。
- 〇考察

必要な値を表から読み取ることはできているが、オームの法則を使って抵抗値を求めることができていない。また、電圧、電流、抵抗が表す意味や、それらの規則性が理解できていない生徒も多いと考えられます。



☆指導改善のポイント

同じ抵抗器における電流と電圧の関係や、同じ電圧における抵抗と電流の関係を調べる実験などを通して、電圧、電流、抵抗が表す意味を見いだす活動を行うことで、複数の実験結果から必要な値を読み取り、オームの法則を使って抵抗値を求めることができるようにします。

実験の見通しを持つ

- ①電圧と電流の関係を調べる実験を行う前に, 結果の見通しを持たせることが大切です。
- ②演示実験等を見て,電 圧が大きくなると電流 も大きくなることを確 認した後,電圧が等間 隔で変化する場合や, 別の抵抗器を使った場 合を予想させます。

図のような回路を作り、電源装置の電圧 を少しずつ大きくしていくと、回路に流 れる電流の大きさはどうなるでしょうか。

しょうか。

抵抗器aを抵抗器bに変えて、

くしてみましょう。

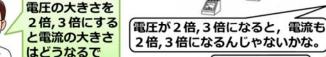
ますか。

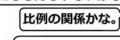
同じように少しずつ電圧を大き

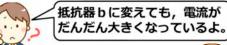
電流の大きさはどのようになり



電流はだんだん 大きくなってい るよ。







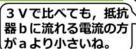
抵抗器 b に変えた方が電流計の 振れ方が小さいね。

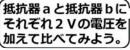


電気抵抗の表す意味を考える

- ③実験で、抵抗器を変えても電圧と電流の値が 比例することや、抵抗 器の種類によって電流 の流れにくさが違うことに気付かせます。
- ④抵抗の概念を理解させ、電圧と電流から、電流の流れにくさを見いだし、抵抗の大きさについて考えさせます。

抵抗器を変えて同じ電圧を加えたとき, 抵抗器によって電流の大きさにどのよう な違いがあるでしょうか。







同じ電圧で比べると, 抵抗器 b に流れる電流 の方が a より小さいよ。

電流の流れにくさを「電気抵抗」または「抵抗」といいます。

電気抵抗が大きいのは,抵抗器 a と抵抗器 b のどちらになりますか。

抵抗器 b は抵抗器 a より電気抵抗が大きいと言えます。

ある物体に1Aの電流を流すために1Vの電圧が必要なとき, その物体の抵抗の大きさは1Ωになります。

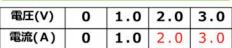


電気抵抗の意味を考えて、電流と電気抵抗の値を予想しよう。

電圧,電流,抵抗の規則性を見いだす

- ⑤オームの法則の公式を 学習する前に,電圧, 電流,抵抗の規則性か ら表の空欄に入る数値 を考えることで,理解 が深まります。
- ⑥数学の「比例を表す式」 を使って、表やグラフ からオームの法則の公 式を見いだすことも考 えられます。

抵抗器 c について, 2.0 V と3.0 V の電流の値を予想し, 記入してみましょう。



オームの法則(公式等) を使って抵抗を求める前 に,電流,電圧,抵抗の 規則性に気付かせます。

 $1.0 \, \text{V}$ のとき $1.0 \, \text{A}$ なので,抵抗器 c の電気抵抗は $1 \, \Omega$ です。 抵抗器 d の電流の値を予想して表に記入し,電気抵抗の値に ついて考えてみましょう。



電圧(V)	0	1.0	2.0	3.0
電流(A)	0	0.5	1.0	1.5

抵抗器 c と比べて抵抗器 d は 2 倍流れにくいよ。



@®

流れにくさが2倍な ので抵抗器 d は2Ω ということかな。 もし, 1.0Vで0.2Aの抵抗器ならば, 流れにくさが5倍になるから5Ωということになるね。



第2章 全国学力·学習状況調査結果







Ⅰ 全国学力・学習状況調査結果の概要

1 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査実施日 平成30年4月17日(火)

3 調査対象(仙台市・国立・私立を除く)

対象調教科に関する調査		査 事 項	参 加 状 況		
		質問紙調査	公立実施校	参加児童生徒数	
小学校6年生	国語,算数,理科	学習意欲, 学習·生活習慣,	255校	10,499名	
中学校3年生	国語,数学,理科	規範意識・自己有用感等	141校	10,721名	
学校		授業改善,学習指導,学校			
子权		運営,小・中連携等			

※小学校に義務教育学校(前期課程),特別支援学校(小学部)を含む。

※中学校に義務教育学校(後期課程),特別支援学校(中学部)を含む。

4 調査結果の概要

(1)教科に関する調査の結果

※宮城県…仙台市を除く

対象 教科	2		全国とのかい離(P)	順位(参考)			
	問題	問題 呂城県 平均正答率(%)			東北	全国	
			平均正答率(%)	[]…平成29年度	()…仙台	市を含む	
	国語	А	6 7	7 1	-4 [-2]	6 (6)	46 (38)
	В	5 2	5 5	-3 [-4]	6 (6)	43 (40)	
小学校	算数	A	6 0	6 4	-4 [-3]	6 (6)	45 (33)
77 %	В	4 7	5 2	-5 [-4]	6 (6)	47 (43)	
	理科	А•В	5 7	6 0	-3 [-]	6 (6)	47 (36)

対象教科	問題 宮城県 平均正答率(%)		人団1.のよい、離(p)	順位(参考)			
				全国とのかい離(P)	東北	全国	
		平均正答率(%)	[]…平成29年度	()…仙台	市を含む		
	国語	А	7 5	7 6	-1 [-3]	6 (2)	33 (6)
	В	5 9	6 1	-2 [-2]	6 (2)	38 (8)	
中学校	数学	А	6 1	6 6	-5 [-6]	6 (3)	45 (28)
数 于	В	4 3	4 7	-4 [-4]	6 (2)	43 (15)	
	理 科	А•В	6 4	6 6	-2 [-]	6 (4)	40 (13)

※A問題…主として「知識」に関する問題

※B問題…主として「活用」に関する問題

(2)児童生徒の学習状況等に関する結果(児童生徒の回答)

県「学力向上に向けた5つの提言」に関する取組状況について

質問	番号		小	学校	中等	学校
小	中	質問事項	宮城県 贈伽(%)	全国との かい離(P)		全国との かい離(P)
(1)	(1)	・自分にはよいところがある。	82.9	-1.1	75.8	-3.0
(2)	(2)	・先生はよいところを認めてくれる。	84.6	-0.7	80.0	-2.2
(12)	(12)	・家で授業の予習・復習をしている。	73.1	+10.5	66.6	+11.4
(14)	(14)	・普段,1日どれくらいの時間勉強しているか。(学習塾 や家庭教師を含む,小…30分以上,中…1時間以上)	93.5	+3.5	66.5	-4.1
(36)	(36)	・算数(数学)の授業で,問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。	84.7	-1.1	81.8	+1.2
(29)	(29)	・算数(数学)授業の内容がよく分かる	83.8	+0.4	69.6	-1.4
(40)	(40)	・理科の授業の内容がよく分かる。	90.1	+0.7	70.0	0

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について

質問	番号		小鸟	学校	中等	学校
小	中	質問事項		全国との かい離(P)		全国との かい離(P)
(55)	(52)	・課題の解決に向けて,自分で考え,自分から進んで取り組むことができた。	76.5	-0.2	74.0	+0.2
(57)	(54)	・話し合う活動を通じて,自分の考えを深めたり,広げ たりすることができた。	76.1	-1.6	76.1	-0.2

(3)学校の授業改善・学校運営等に関する結果(学校の回答)

県「学力向上に向けた5つの提言」の取組状況について

質問	番号		小当	学校	中等	学校
//\	中	質問事項		全国との		全国との
٠,١,	.1.		学校の回答(%)	かい 離(P)	学校の回答(%)	かい離 (P)
(30)	(29)	・児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけて評価す	98.4	-0.6	99.3	+1.4
(/	(- /	る(褒めるなど)取組を行った。				
(65)	(62)	・家庭学習の取組として,調べたり文章を書いたりして	87.1	+2.7	70.9	-2.8
(00)	(02)	くる宿題を与えている。	07.1	12.7	70.0	2.0
(49)	(47)	・理科の授業において,観察カードやノートへの記録・	94.9	+0.5	78.8	-2.4
(-10)	(47)	記述の方法に関する指導を行った。	54.5	10.0	70.0	2.7

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について

質問	番号		小鸟	学校	中等	学校
小	中	質問事項	宮城県 鞍咖幣(%)	全国との かい離(P)	宮城県 	全国との かい離(P)
(13)	(13)	・課題の解決に向けて,自分で考え,自分から取り組むことができた。	86.6	+3.0	83.0	+2.2
(22)	(21)	・習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の 改善及び工夫をした。	93.8	+0.8	92.2	-0.4

学校運営に関する取組状況について

質問	番号		小	 学校	中等	学校
小	中	質問事項		全国との		全国との
۱,1,	Т		学校の回答(%)	かい離(P)	学校の回答(%)	かい 離 (P)
		・各種データ等に基づき,教育課程を編成し,実施し評				
(18)	(17)	価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立して	98.1	+3.2	90.8	-2.3
		いる。				
(83)	(80)	・学校として業務改善に取り組んでいる。	97.6	+0.2	96.4	-0.4
(77)	(74)	・近隣等の小・中学校と,授業研究を行うなど,合同し	50.2	-19.3	64.5	-12.0
(,,,	(,,,)	て研修を行った。	00.2	10.0	01.0	12.0

5 今後の対応

宮城県教育委員会では,指導主事学校訪問や学力向上サポートプログラム事業,学力向上研究指定校事業,学力向上成果普及マンパワー活用事業,全国学力・学習状況調査活用研修会,「学力向上に向けた5つの提言」取組事例リーフレットの配布等により学力向上対策に力を入れてきた。

宮城県と全国の平均正答率のかい離を見ると、全国平均を下回っている状況が続いているが、その中でも大河原町については学力向上対策が成果として表れ、小学校においては全国平均を大きく上回っている状況となっており、今回は、中学校においても成果が表れつつある。

今後は,このような成果を挙げている好事例を更に広く発信し,県内市町村の学力向上に向けた教育活動の改善と充実を目指していく。

さらに,市町村教育委員会とも課題意識の共有を図りながら,以下の点についても力を入れていく。

各研修会等において,「学力向上に向けた5つの提言」や「算数・数学ステップ・アップ5事例集」の一層の実践化・自校化を図り,授業改善を促進する。

9月中旬に全ての小・中学校の研究主任等を対象に、「学力向上研修会及び学力・学習状況調査活用研修会」を開催し、今回の結果を確実に各学校に周知するとともに、各学校の分析結果を授業改善に生かすよう働き掛けていく。

学校が,授業改善に組織的に取り組むことが大切である。県内の学力向上研究指定校での成果 を発信し,確かな協働による授業づくりを指導主事学校訪問等を通して促進する。

全国学力・学習状況調査の分析や学力向上対策において,県内の大学と連携して,専門的知見を生かしていく。

「市町村教育委員会との連携による学校サポート事業」を通して,全国学力・学習状況調査の課題等を踏まえ,近隣の小・中学校による合同研修や教育課程の接続等の「小中連携」を学力向上と生徒指導の両面から促進する。

家庭での学習習慣の定着が見られるが成果として表れていないことから,家庭学習の質の向上 を図る。

今後,宮城県検証改善委員会において,詳細な結果の分析と具体的な対応策を報告書としてまとめ, 各学校で授業改善が一層図られるよう発信していく。

学力向上に向けた5つの提言

平成25年10月16日 宮城県教育委員会

- 1 どの子供にも積極的に声掛けをするとともに,子供の声に耳を傾けること。
- 2 子供をほめること, 認めること。
- 3 授業のねらいを明確にするとともに,授業の終末に適用問題や小テスト,授業感想を 書く時間を位置付けること。
- 4 自分の考えをノートにしっかり書かせること。
- 5 家庭学習の時間を確保すること。

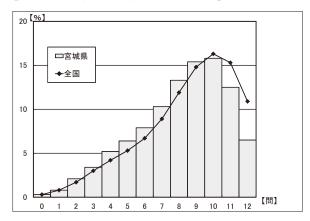
Ⅱ 各教科の調査の結果

小学校国語A問題(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

- (1) 結果の概要
- 県平均正答率は67%である。
- 県平均正答率が全国平均正答率を上回った問題はなかった。

(2)正答数分布状況

【平成30年度正答数度数分布グラフ】



- 全国と比較して,正答数が10問(83% 程度)以上の児童の割合が低く、4問~ 9問(33%~75%程度)の児童の割合が 高くなっている。
- 最頻値は10間で、全国と同じである。 中央値は9間で、全国と同じである。

※ 最頻値:集団のデータにおいて、最も多

く表れる値

※ 中央値:集団のデータを大きさの順に並

べた時に真ん中に位置する値

(3)領域別の平均正答率

- 全ての領域において、県平均正答率は、全国平均正答率を下回っている。
- 全国平均正答率とのかい離が最も大きかったのは、「読むこと」領域だった。
- 全国平均正答率とのかい離が最も小さかったのは、「話すこと・聞くこと」領域だった。

	話す	こと・聞く	こと		書くこと			読むこと			的な言語文)特質に関す			合 計	
年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較
H30	89.1	90.8	-1.7	71.8	73.8	-2.0	70.1	74.0	-3.9	63.2	67.0	-3.8	67	71	-4
H29	66.6	69.2	-2.6	58.0	60.6	-2.6	66.4	70.2	-3.8	76.8	78.0	-1.2	73	75	-2

*単位は%

(4)問題別調査結果

○ 正答率のかい離が大きい(±3ポイント以上)問題

(◇:かい離がプラス ◆かい離がマイナス,[]内の記号は問題番号)

【話すこと・聞くこと】 なし

【書くこと】

【読むこと】 ◆ 『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを一文を取り上げて説明する際に、 その一文が心に残った理由として適切なものを選択する「4〕

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- 【春休みの出来事の一部】の中で ---- 部と ―― 部とのつながりが合って
- いない文を選択し、正しく書き直す [5] 【話を聞いている様子の一部】の ア , ___ イ に入る内容の組み合わ せとして適切なものを選択する [7]
- ◆文の中で漢字を使う(せつ備) [8イ] ◆文の中で漢字を使う(しょう毒)[8ウ] ◆文の中で漢字を使う(せっ極的)[8オ]

- 無解答率のかい離が大きい(3ポイント以上)問題 ・なし

問題別集	計結果	,,,,	379 HS 186 28	領の領域	e our		問題形式	4	工体节	室(%)	無解答	並 /04)	Œ	無
問題番号	問題の概要	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式	①宮城県(公立)	②全国 (公立)	③宮城県(公立)	(4) 全 宝国(公立)	答率のかい離 (①-②)	解答率のかい離 (③一④)
1	図書館への行き方の説明として適切なものを選択する	3·4 1				0			89. 1	90.8	0.0	0.1	-1.7	-0. 1
2	物語を書くときの構成の工夫の説明として適切 なものを選択する		5·6			0			71.8	73. 8	0, 3	0.3	-2.0	0.0
3	【オムレツを作ったあとの感想】を踏まえ、 【オムレツのページ】をどのように読めばよい か、適切なものを選択する			3 · 4		0			71. 2	73. 9	0.2	0, 2	-2.7	0.0
4	『くらやみの物語』を読んで心に残ったことを 一文を取り上げて説明する際に、その一文が心 に残った理由として適切なものを選択する			5 · 6 I		0			69. 0	74. 0	0, 2	0,3	-5, 0	-0.1
5	【春休みの出来事の一部】の中で、・・・・ 部と 一部とのつながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す				3·4 (1) イ (キ)		0		24. 7	35, 5	4. 7	3, 9	-10.8	0.8
6	慣用句の意味と使い方として適切なものを選択 する(心を打たれる)				3 · 4 (1) ア (イ)	0			89. 3	90. 4	1. 2	1.4	-1.1	-0. 2
7	【話を聞いている様子の一部】の ア イ に入る内容の組み合わせとして適切なものを選択する				5・6 (1)イ (ク)	0			50. 5	56, 0	2. 4	2.7	-5, 5	-0. 3
87	文の中で漢字を使う(<u>せい</u> 造)				5・6 (1)ウ (ア)	0			72. 5	73. 4	4.8	5. 2	-0.9	-0.4
81	文の中で漢字を使う(<u>せつ</u> 備)				5・6 (1)ウ (ア)	0			79. 0	82. 2	6. 4	6.3	-3, 2	0.1
8ウ	文の中で漢字を使う(<u>しょう</u> 毒)				5・6 (1)ウ (ア)	0			78. 4	82, 2	6. 7	6, 6	-3. 8	0. 1
81	文の中で漢字を使う(<u>かん</u> 理)				5・6 (1)ウ (ア)	0			63. 1	65. 0	7.8	7. 4	-1.9	0.4
8才	文の中で漢字を使う(<u>せっ</u> 極的)				5・6 (1) ウ (ア)	0			48. 3	51. 4	8. 2	7.7	-3. 1	0. 5

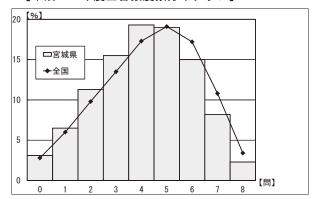
2 小学校国語B問題(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

(1) 結果の概要

- 県平均正答率は52%である。 県平均正答率が全国平均正答率を上回った問題はなかった。

(2) 正答数分布状況

【平成30年度正答数度数分布グラフ】



- 全国と比較して,正答数が6問(75%程 度)以上の児童の割合が低く、2問~4 間(25%~50%程度)の児童の割合が高 くなっている。
- 最頻値は4問で、全国と比較して1問 下回っている。
- 中央値は4間で、全国と比較して1問 下回っている。

(3)領域別の平均正答率

- 全ての領域において、県平均正答率は、全国平均正答率を下回っている。
- 全国平均正答率とのかい離が最も大きかったのは,「読むこと」領域だった。
- 全国平均正答率とのかい離が最も小さかったのは、「書くこと」領域だった。

	話すこと・聞くこと				書くこと			読むこと			的な言語文)特質に関す			合 計	
年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較
H30	61.6	64.6	-3.0	42.7	45.6	-2.9	47.6	50.8	-3.2				52	55	-3
H29	61.6	64.9	-3.3	50.8	53.4	-2.6	46.3	49.2	-2.9				54	58	-4

*単位は%

(4)問題別調査結果

○ 正答率のかい離が大きい(±3ポイント以上)問題 (◇:かい離がプラス ◆かい離がマイナス,[]内の記号は問題番号)

- 【話すこと・聞くこと】 ◆ 【話し合いの様子の一部】における司会の発言の役割として,適切なものを選 択する [1二]
 - これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ を書く[1三](【書くこと】と関連)

- - ように書いた理由として適切なものを選択する[2-] 【おすすめする文章】の に, むし歯を防ぐ効果について, 【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く[2二]

【読むこと】

山下さんは、どのようなことが知りたくて【自伝「旅人」の一部】を読んだの か、その説明として適切なものを選択する[3-]

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 なし

- 無解答率のかい離が大きい(3ポイント以上)問題 ・なし
 - -55-

問題別集計結果	

問題別集	計結集	学	習指導要	領の領域	等	F	問題形式	t	正答單	区(%)	無解答	率(%)	正答	無
問題番号	問題の概要	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式	①宮城県(公立)	②全国(公立)	③宮城県(公立)	④全国(公立)	管率のかい離 (①―②)	無解答率のかい離(③-④)
1-	【話し合いの様子の一部】における木村さんの 発言の意図として、適切なものを選択する	5·6 才				0			80.8	82. 5	0.2	0.4	-1.7	-0.2
1=	【話し合いの様子の一部】における司会の発言 の役割として、適切なものを選択する	5·6				0			74.4	77. 5	0.4	0.6	-3.1	-0.2
1 Ξ	これから言葉をどのように使っていきたいかについて、北川さん、小池さんのいずれかの意見を取り上げ、 き書く	5·6	5・6					0	29. 7	33. 8	7. 1	6. 2	-4. 1	0.9
2-	「かみかみあえ」についての【おすすめする文章】の最初の部分に「ここ」のように書いた理由として適切なものを選択する		5·6 1			0			54.0	57. 6	1. 4	1.7	-3.6	-0.3
2 =	【おすすめする文章】の に、むし歯を防ぐ効果について、 【保健室の先生の話から分かったこと】を取り入れて詳しく書く		5・6					0	10. 4	13. 5	2. 6	2. 7	-3. 1	-0. 1
2 Ξ	【紹介する文章】を基にして【おすすめする文章】を書くときの工夫として適切なものを選択する		5・6 ウ			0			68.3	70.8	3.9	3. 4	-2.5	0.5
3-	山下さんは、どのようなことが知りたくて【自 伝「旅人」の一部】を読んだのか、その説明と して適切なものを選択する			5·6 1		0			44. 3	49. 4	2, 8	3. 2	-5. 1	-0.4
3 =	【伝記「湯川秀樹」の一部】を読んで、 【ノートの一部】 ② 最も心がひかれた一文と その理由の文章の:::::::::::::::::::::::::::::::::::		5・6 ウ	5・6 ウ				0	50.9	52. 3	13. 1	11.9	-1.4	1.2

児童質問紙

九里貝凹和	質 問 事 項	宮城県	全国	かい離
	1 時間が余った	38.6	44. 1	-5. 5
9回本用語(小点) 欠時用け 上心 カノ たか (回転点)	2 ちょうどよかった	39. 7	35. 9	3.8
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	3 やや足りなかった	19.0	16.8	2.2
	4 全く足りなかった	2.5	2. 9	-0.4
	1 時間が余った	34.6	40.3	-5.7
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	2 ちょうどよかった	37. 7	34. 4	3.3
阿里印港の神管時間は「ガモした小(国語ロ)	3 やや足りなかった	23.0	20. 5	2.5
	4 全く足りなかった	4.6	4.4	0.2

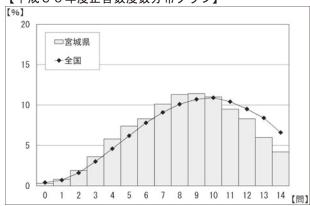
小学校算数A問題(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

(1) 結果の概要

- 県平均正答率は60%である。 \bigcirc
- 県平均正答率が全国平均正答率を上回った問題は14問中1問で、領域は「数と計算」だっ \bigcirc

(2)正答数分布状況

【平成30年度正答数度数分布グラフ】



- 全国と比較して、11問(79%程度)以 上の児童の割合が低く,正答数が3問~ 9問(21%~64%程度)の児童の割合が 高くなっている。
- 最頻値は9問で、全国と比較して1問 下回っている。
- 中央値は9問で、全国と同じである。

(3)領域別の平均正答率

- 全ての領域において、県平均正答率は、全国平均正答率を下回っている。
- 全国平均正答率とのかい離が最も大きかったのは,「数量関係」領域だった。
- 全国平均正答率とのかい離が最も小さかったのは、「数と計算」領域だった。

		数と計算 量と測定				図形		4	数量関係	Ę.	合 計				
年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較												
Н30	59.7	62.3	-2.6	69.5	72.7	-3.2	52.6	56.9	-4.3	55.6	60.1	-4.5	60	64	-4
H29	78.6	80.6	-2.0	66.4	68.8	-2.4	79.6	81.1	-1.5	76.5	79.6	-3.1	76	79	-3

*単位は%

(4)問題別調査結果

○ 正答率のかい離が大きい(±3ポイント以上)問題 (◇:かい離がプラス ◆かい離がマイナス,[]内の記号は問題番号)

【数と計算】

- 針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く[1 (1)](【数量関係領域】と関連) 針金1mの重さを求める式を選ぶ[1 (3)](【数量関係領域】と関連)

【量と測定】

- 面積がそろっている⑦と①の二つのシートの混み具合について、正しいものを 選ぶ[4(1)]
- ぶ[4 (2)]
- 分度器の目盛りを読み、180°よりも大きい角の大きさを求める[5(2)] 図 形】
- 空間の中にあるものの位置を正しく書く[6]
- 円周率を求める式として正しいものを選ぶ[7(1)]

【数量関係】

- 200人のうち80人が小学生のとき,小学生の人数は全体の人数の何%かを 選ぶ[8]
- 示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ[9]
- 無解答率のかい離が大きい(3ポイント以上)問題 ・なし

問題別集計結果 ※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある IE 学習指導要領の領域 問題形式 正答率(%) 無解答率(%) 解 答 率 答 記 率 Ł Ł 量 択 沭 0 形 答 宮 全 宮 全 関 0 計 測 式 式 式 城 玉 城 玉 か 算 定 県 県 11 か LI 公 公 離 公 公 立 立 離 立 立 問題番号 問題の概要 3 1 2 4 針金0.2mの重さと針金0.1mの重 0 1 (1) 56.3 62.9 1.9 -6.60.2 1.7 さを書く 針金0.4 mと.0.4 mの重さの60gと,1 mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ 5A (3) ア 1 (2) 0 68.9 66.7 2.2 2.4 2.2 -0.25A (3) 7 5D (1) 7 針金1mの重さを求める式を選ぶ 0 62.1 1.9 2.2 -0.31 (3) 65.3 -3.2答えが12÷0.8の式で求められる問 0 37.6 39.9 1.0 -2.30.0 2 1.0 題を選ぶ 3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の 0 3 73.8 76.4 1.3 1.3 -2.60.0位に入る適切な数字を書く 面積がそろっている⑦と②の二つのシー 5B (4) 7 トの混み具合について、正しいものを選 4 (1) 0 84.5 87.8 0.4 0.6 -3.3-0.2ウとエの二つのシートの混み具合を比べ 5B (4) 7 4 (2) 0 45.4 50.1 1.0 1.0 -4.70.0 る式の意味について、正しいものを選ぶ 角(い)の角の大きさが、何度であるかを 5 (1) 0 93.7 94.4 0.9 1.1 -0.7-0.2選ぶ 分度器の目盛りを読み、180°よりも 5 (2) 0 54.3 58.5 -4.2-0.21.3 1.5 大きい角の大きさを求める 空間の中にあるものの位置を正しく書く 0 6 69.8 73.5 3.6 3.3 -3.70.3 円周率を求める式として正しいものを選 7 (1) 0 35.4 41.6 2.9 3.2 -6.2-0.350 (1) I 3C (1)ウ 5C (1)エ 円の直径の長さが2倍になったとき、円 50 (1) 7 0 7 (2) 52.7 55.6 3.3 3.6 -2.9-0.3周の長さが何倍になるかを選ぶ 200人のうち80人が小学生のとき 小学生の人数は全体の人数の何%かを選 5D (3) 0 8 52.9 -0.247.6 4.4 4.6 -5.34D (1) 7 4D (4) 4 示された事柄が両方当てはまるグラフを 0 9 59.1 7.2 63.6 7.1 -4.5-0.1選ぶ

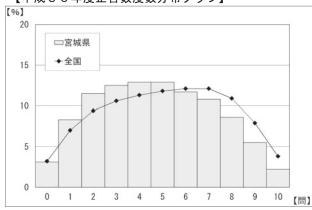
小学校算数B問題(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

(1) 結果の概要

- 県平均正答率は47%である。 \bigcirc
- \bigcirc 県平均正答率が全国平均正答率を上回った問題は10問中1問で,「図形」領域だった。

(2) 正答数分布状況

【平成30年度正答数度数分布グラフ】



- 全国と比較して、正答数が7問(70% 程度)以上の児童の割合が低く、1問~ 5問(10%~50%程度)の児童の割合が 高くなっている。特に, 8問~9問(80% ~90%) 正解した児童の割合は,全国と のかい離が大きくなっている。
- 最頻値は4問と5問で、全国の最頻値 は6問と7問であり、全国より下回って いる。
- 中央値は5間で、全国と同じである。

(3)領域別の平均正答率

- 全ての領域において、県平均正答率は、全国平均正答率を下回っている。
- 全国平均正答率とのかい離が最も大きかったのは、「量と測定」領域だった。
- 全国平均正答率とのかい離が最も小さかったのは、「図形」領域だった。

		数と計算	· -		量と測定	:		図形			数量関係	{		合 計	
年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較									
Н30	53.2	58.4	-5.2	46.4	52.4	-6.0	57.6	59.9	-2.3	40.5	45.1	-4.6	47	52	-5
H29	49.3	52.8	-3.5	40.8	47.0	-6.2	9.1	13.2	-4.1	35.6	40.0	-4.4	42	46	-4

*単位は%

(4)問題別調査結果

○ 正答率のかい離が大きい(±3ポイント以上)問題

(◇:かい離がプラス ◆かい離がマイナス,[]内の記号は問題番号)

【数と計算】

- 全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使(1)](【量と測定領域】、【数量関係領域】と関連) 「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く[2
- 1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための玉を投げる時間 を,表に整理して求める[2 (2)](【量と測定領域】,【数量関係領域】と関連)
- 「32,40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを,分配法則を用いた 式に表す「4 (1)](【数量関係領域】と関連)
- 横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く[4(2)] 横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、10
- 枚あれば足りるわけを書く[5 (1)](【量と測定領域】と関連) 4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り 紙の輪の色を選ぶ[5 (2)]

【量と測定】

一つの点の周りに集まった角の大きさの和が360°になっていることを,着目した図形とその角の大きさを基に書く[1(2)](【図形領域】と関連)

形】

なし

【数量関係】

- メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書か れているのかを書く[3 (1)]
- 一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができること をまとめた文章に当てはまるものを選ぶ[3 (2)]
- 無解答率のかい離が大きい(3ポイント以上)問題
 - ・横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば 足りるわけを書く[5(1)]

問題別集計結果 ※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があ 学習指導要領の領域 問題形式 正答率(%) 無解答率(%) 答 解 率 数 ② 全 答 믋 図 数 選 短 記 (3) (4) 率 と計 量 0 ۲ 形 択 答 述 宮 宮 全 測 関 式 式 式 城 玉 城 玉 か 0 算 定 係 県 県 い か 公 公 離 LI 公 公 立 立 離 寸 $\dot{\nabla}$ 問題番号 問題の概要 (3) 1 2 4 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から 見いだすことができる図形として、正しいもの 1 (1) 0 73.0 71.70.2 -0.10.31.3 を選ぶ -つの点の周りに集まった角の大きさの和が3 60°になっていることを、着目した図形とそ の角の大きさを基に書く 1 (2) 0 42.3 48.2 16.9 14.4 -5.92.5 全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に 使える時間は何分かを書く 2 (1) 0 65.7 70.5 1.6 -4.8 0.1 3A (2) イ 3A (3) イ 1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時 間にするための玉を投げる時間を、表に整理し 0 2 (2) 42.6 47.9 2.0 1.6 -5.30.4 メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについて どのようなことに着目して書かれているのかを 3D (3) 7 3 (1) 0 15.8 20.7 20.8 18.0 -4.92.8 書く 一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章 3D (3) 7 5D (4) 0 3 (2) 20.3 23.9 1.0 1.1 -3.6-0.1に当てはまるものを選ぶ 4D (2) 7 4D (3) 7 「32,40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す 4 (1) 0 58.4 62.7 6.8 6.2 -4.30.6 横に並んでいる七つの数について、示された表 現方法を適用して書く 4 (2) 0 54.4 59.5 13.0 11.3 -5.11.7 横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く 5 (1) 0 35.0 43.2 19.6 16.6 -8.23.0 4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を 作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選 5 (2) 0 63.4 66.5 8.7 8.3 -3.10.4

児童質問紙

質問	事 項	宮城県	全国	かい離
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わ	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	67.0	70.6	-3.6
けや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解	2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった	30.8	26.9	3. 9
答しましたか	3 書く問題は全く解答しなかった	1.7	1.8	-0.1
	1 時間が余った	40.6	45.1	-4. 5
調査問題の解答時間は十分でしたか	2 ちょうどよかった	38. 6	35. 2	3. 4
(算数A)	3 やや足りなかった	17.5	15.8	1.7
	4 全く足りなかった	3.2	3.6	-0.4
	1 時間が余った	31.0	37.1	-6.1
調査問題の解答時間は十分でしたか	2 ちょうどよかった	31.2	28.9	2. 3
(算数B)	3 やや足りなかった	30.3	26.8	3. 5
	4 全く足りなかった	7.4	6.9	0.5

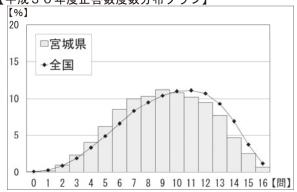
小学校理科問題(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

(1)結果の概要

- 県平均正答率は57%である。
- 県平均正答率が全国平均正答率を上回った問題は16問中1問で、「活用」に関する問題だっ

(2)正答数分布状況

【平成30年度正答数度数分布グラフ】



- 全国と比較して,正答率が10問(63%程度)以上の生徒の割合が低く,2問~9問 (13%~56%程度) の生徒の割合が高くな っている。特に,5問~7問 (31%~44%) 正解した生徒の割合は,全国とのかい離が 大きくなっている。
- 最頻値は9間で、全国と比較すると2問 下回っている。
- 中央値は9間で、全国と比較すると1問 下回っている。

(3) 領域別の平均正答率

- 全ての区分において、県平均正答率は、全国平均正答率を下回っている。 \bigcirc
- 全国平均正答率とのかい離が最も大きかったのは,「物質」だった。 全国平均正答率とのかい離が最も小さかったのは,「エネルギー」だった。

	主として	「知識」に関す	る問題	主として	「活用」に関する	る問題		合 計	
年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較
H30	73.0	78.0	-5.0	53.0	56. 2	-3.2	57	60	-3
H27	57.2	61.3	-4.1	56.0	60.5	-4.5	56.5	60.8	-4.3

*単位は%

		物質			エネルギー	-		生 命			地 球			合 計	
年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較												
Н30	55.2	59.8	-4.6	50.6	53.1	-2.5	70.8	73.6	-2.8	46.2	49.5	-3.3	57	60	-3
H27	52.0	57.4	-5.4	60.9	65.6	-4.7	56.8	61.2	-4.4	54.9	57.8	-2.9	56.5	60.8	-4.3

*単位は%

(4) 設問別調査結果

正答率のかい離が大きい(±3ポイント以上)問題

(◇:かい離がプラス ◆かい離がマイナス, []内の記号は問題番号)

【物質】

- ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら, 誤った操作に気付き, 適切に操 作する方法を選ぶ [4 (1)]
- 食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ [4 (3)]
- 食塩水を熱したときの食塩の蒸発について,実験を通して導きだす結論を書く[4(4)] 【エネルギー】
- 回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の 針の向きと目盛りを選ぶ [3 (2)]
- 回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ [3 (3)]

【生命】

- 腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く「1 (3)]
- 人の腕が曲がる仕組みについて, 示された模型を使って説明できる内容を選ぶ [1(4)] 【地球】
 - 流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ [2 (1)]
 - 流れる水の働きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ [2 (2)]
- 上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の川の水位の変化から、上流側の天気と 下流側の水位の関係について言えることを選ぶ [2(4)]
- 無解答率のかい離が大きい(3ポイント以上)問題 ・なし

問題別集	計結果 ※一つの問題が複数の区分に該当する	場合か	(ある)	ため、	それそ	ぞれの	分類	こつい	て名	区分	の問題数を	合計した数日	は,実際の間	問題数とは一		
			且み	学習	指導要	領の区	公分等	問	題形	式	正答	星(%)	無解答	率(%)	答	無解
問題番号	問題の概要	主として「知識」に関する問	主として「活用」に関する問	物質	メ エネルギー	生命	並対球	選択式	短答式	記述式	①宮城県(公立)	②全国(公立)	③宮城県(公立)	④全国(公立)	率のかい離 (①-②)	答率のかい離 (③-④)
1 (1)	野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法 を選ぶ	題	題			4B (2) 7		0			81.2	82.1	0.0	0.0	-0.9	0.0
1 (2)	鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ		0			4B (1) 7		0			73, 7	76. 2	0.0	0.1	-2.5	-0.1
1 (3)	腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く	0				4B (1) -r			0		75. 9	79. 4	4. 1	3. 8	-3.5	0. 3
1 (4)	人の腕が曲がる仕組みについて、示された模型 を使って説明できる内容を選ぶ		0			48 (1) 7 イ		0			52. 3	56. 6	0.3	0.4	-4.3	-0.1
2 (1)	流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表 す言葉を選ぶ	0					5B (3) 7	0			78. 7	83. 6	0.0	0.1	-4.9	-0. 1
2 (2)	流れる水の働きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ		0				5B (3) ア	0			52. 2	55. 4	0.3	0.3	-3.2	0.0
2 (3)	一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く		0				58 (3) ウ			0	17.5	20.1	1.0	1.0	-2.6	0.0
2 (4)	上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側 の川の水位の変化から、上流側の天気と下流側 の水位の関係について言えることを選ぶ		0				58 (3) ウ (4) アイ	0			54. 8	59. 8	0. 2	0.3	-5.0	-0. 1
3 (1)	風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が 逆になる回路を選ぶ		0		4A (3) 7			0			62.7	63. 5	0.2	0.3	-0.8	-0.1
3 (2)	回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ		0		4A (3) 7			0			42. 3	47.7	0.3	0.5	-5, 4	-0.2
3 (3)	回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ		0		4A (3) 7			0			54. 6	59. 4	0.5	0.6	-4. 8	-0.1
3 (4)	目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の 1日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池 の適切な位置や向きを選ぶ		0		4A (3) イ		3B (3) 7	0			42.6	41.9	0.5	0.6	0.7	-0. 1
4 (1)	る過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気付き、適切に操作する 方法を選ぶ	0		5A (1) イ				0			63. 5	71.1	0.4	0. 5	-7. 6	-0.1
4 (2)	海水と水道水を区別するために、2つの異なる 実験方法から得られた結果を基に判断した内容 を選ぶ		0	5A (1) イウ				0			87. 7	89. 4	0, 5	0.6	-1.7	-0.1
4 (3)	食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ		0	5A (1) ウ				0			38. 0	42. 7	1.0	1.3	-4.7	-0.3
4 (4)	食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く		0	4A (2) ウ 5A (1) イウ			4B (3) イ			0	31.5	35. 9	9. 9	8.9	-4.4	1.0

児童質問紙

9	問事項	宮城県	全国	かい離
	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	73. 7	77.3	-3.6
今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった	24.1	20.3	3.8
	3 書く問題は全く解答しなかった	1.7	1.8	-0.1
	1 時間が余った	63.6	69.4	-5.8
調査問題の解答時間は十分でしたか	2 ちょうどよかった	24.4	20.7	3. 7
の見口ないがみない口はイング くしたか	3 やや足りなかった	9.8	7.8	2.0
	4 全く足りなかった	1.9	1.7	0.2

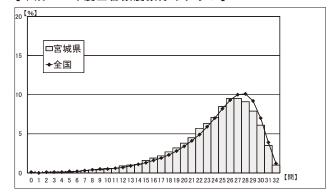
中学校国語A問題(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

(1) 結果の概要

- / 県平均正答率は75%である。 県平均正答率が全国平均正答率と同じ、もしくは上回った問題は32問中9間で、すべて「伝 統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の問題だった。

(2)正答数分布状況

【平成30年度正答数度数分布グラフ】



- 全国と比較して、正答数が27間(85% 程度)以上の生徒の割合が低く,20間~26 間 (63%~81%程度) の生徒の割合が高 くなっている。特に、28間(88%程度)以 上正解した生徒の割合は,全国とのかい 離が大きくなっている。
- 最頻値は27間と26間で、全国と比較し て1問~2問下回っている。
- 中央値は25間で、全国と比較して1間 下回っている。

(3)領域別の平均正答率

- 全ての領域において、県平均正答率は、全国平均正答率を下回っている。
- 全国平均正答率とのかい離が最も大きかったのは、「話すこと・聞くこと」領域と「書くこ と」領域だった。
- 全国平均正答率とのかい離が最も小さかったのは、「伝統的な言語文化と特語の特質に関す る事項」だった。

	話す	こと・聞く	こと		書くこと			読むこと			的な言語文)特質に関す			合 計	
年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較
H30	73.7	75.2	-1.5	72.4	73.9	-1.5	75.7	76.7	-1.0	75.6	76.5	-0.9	75	76	-1
H29	73.0	75.4	-2.4	85.1	85.7	-0.6	72.3	73.8	-1.5	72.9	77.2	-4.3	74	77	-3

*単位は%

(4)問題別調査結果

正答率のかい離が大きい(±3ポイント以上)問題

(◇:かい離がプラス ◆かい離がマイナス,[]内の記号は問題番号)

【話すこと・聞くこと】

話合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く [6二]

【書くこと】 なし

【読むこと】

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- 適切な語句を選択する
 - ・彼は<u>せき</u>を切ったように話し始めた [8三エ] 文脈に即して, 漢字を書く ・先制点をユルす [8-3]
- 作品への助言として適切なものを選択する「8五]
- 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す
 - ・とほさざるなし[8六2]
- 無解答率のかい離が大きい (3ポイント以上) 問題
 - ・文脈に即して、漢字を書く(紙をひもで<u>タバ</u>ねる) $\lceil 8-1 \rceil$ (先制点をユルす) [8-3]

問題別集	H THE	学	習指導要	領の領地	2等	F	問題形式	t	正答耳	臣(%)	無解答	率(%)	正答	無
問題番号	問題の概要	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式	①宮城県 (公立)	②全国 (公立)	③宮城県(公立)	④全国 (公立)	1率のかい離 (①―②)	(3-4) (3-4)
1-	スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なもの を選択する	2				0			87. 2	87. 4	0.0	0.1	-0.2	-0.1
2-	図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なもの を選択する		1			0			89. 3	89. 5	0.1	0.3	-0.2	-0.2
z =	二つの意見の内容を一文で書き加える		2 7				0		62. 1	64. 0	3. 5	3.3	-1.9	0.2
3-	「それは掛け価のないー、二秒の間のできごとである」を説 明したものとして適切なものを選択する			1 7		0			88. 1	88. 2	0. 1	0.2	-0.1	-0.1
3 =	父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する			1 ウ		0			82. 3	82. 8	0. 2	0.2	-0.5	0.0
4 —	意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを 選択する		1			0			60. 6	62. 8	0.2	0.2	-2.2	0.0
4 =	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選 択する		2 I			0			77.8	79. 4	0. 2	0.3	-1.6	-0.1
5-	本文の第六段落の説明として適切なものを選択する			2 1		0			74. 6	76. 3	0. 4	0.5	-1.7	-0.1
5 =	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なもの を選択する			1		0			57. 7	59. 5	0.3	0.4	-1.8	-0.1
6 -	話合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する る	1 オ				0			71.3	72. 4	0.4	0.5	1.1	0.1
6 =	話合いの中で確認しなければならないことについての司会と しての発言を書く	1 オ					0		62. 4	65. 8	15.0	13.3	-3.4	1.7
7 —	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する (ハナイカダ)				1 (1) 4 (1)	0			89. 0	87. 3	0.4	0.6	1.7	-0.2
7=	「それでは」の働きとして適切なものを選択する				1 (1) 4 (I)	0			88. 3	88. 4	0.6	0.9	-0.1	-0.3
8 - 1	漢字を書く (紙を754.で <u>タバ</u> ねる)				2 (1) ウ(1)		٥		76. 3	79. 0	16. 2	13. 2	-2.7	3.0
8-2	漢字を書く (舞台の <u>マク</u> が上がる)				2(1) ウ(1)		0		73. 7	72. 9	15. 9	14.4	0.8	1.5
8-3	漢字を書く(先制点を <u>ユル</u> す)				z (1) ウ(f)		0		66. 8	71. 4	24. 7	19.5	-4.6	5, 2
8 = 1	漢字を読む (模型を作る)				2 (1) ウ(7)		0		96. 0	95. 7	1.5	1.9	0.3	-0.4
8 = 2	漢字を読む (池の水が速る)				2 (1) ウ(7)		0		97. 6	97.8	0. 5	0.9	-0.2	-0.4
8 = 3	漢字を読む(技を <u>廉</u> く)				2 (1) ウ (7)		0		98. 4	98. 1	0.8	1.1	0.3	-0.3
8 = 7	適切な語句を選択する(立場の異なる両者の主張は <u>終始一貫</u> して変わらず、最後まで結論が出なかった)				1 (1) イ (ウ)	0			78. 5	77. 7	0.6	0.8	0.8	-0.2
8Ξイ	適切な語句を選択する(魚の中には群れを作って泳ぐ <u>習性</u> を もつものがいる)				2 (1) 1 (1)	0			90. 9	91. 0	0. 3	0. 5	-0.1	-0. 2
8三ウ	適切な敬語を選択する(先生が私たちに大切なことを <u>おっ</u> しゃった)				2 (1) 4 (7)	0			86. 0	88. 0	0, 5	0.6	-2.0	-0.1
8 E I	適切な語句を選択する(彼は <u>せき</u> を切ったように話し始め た)				1 (1) 1 (9)	0			32. 5	29, 2	0.8	0.9	3, 3	-0.1
8三才	適切な語句を選択する (意見の折り合いを <u>つける</u>)				1 (1) 1 (9)	0			61.9	61.8	0. 7	0.9	0.1	-0.2
8 Ξ カ	適切な語句を選択する(わたしが健康になったのは、 <u>ひとえ</u> <u>に</u> 母のおかげです)				1 (1) 4 (6)	0			64. 6	65. 4	0.7	1.0	-0.8	-0.3
8三キ	適切な語句を選択する(姉はみんなと一緒に運動をすること が好きだ。一方、妹は一人で本を読むことが好きだ)				1 (I) 1 (I)	0			96, 3	95. 2	0.8	1.0	1.1	-0.2
8四1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する				3 · 4 (1) 7 (1)	0			94. 7	94. 7	0.6	0.8	0.0	-0.2
8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰 (何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように 書く				2 (1) 1 (1)		0		20.6	22. 3	7. 9	6.5	-1.7	1.4
8五	作品への助言として適切なものを選択する				1 (2)	0			50, 8	54. 4	1.1	1.2	-3.6	-0.1
8大1	『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す (いはく)				2 (1) 7 (1)		0		91.0	91. 1	5. 4	5. 1	-0.1	0.3
R 🛧 2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す (とほさざるなし)				1 (I) 7 (7)		0		53. 2	63, 0	8, 3	7.4	-9.8	0.9
8六3	『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なもの を選択する				2 (1) 7 (1)	0			80. 2	81.3	2.0	2.2	-1.1	-0.2

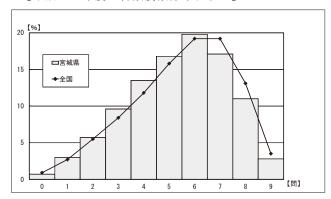
中学校国語B問題(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

(1)結果の概要

- 県平均正答率は59%である。 県平均正答率が全国平均正答率を上回った問題は9問中1問で,「話すこと・聞くこと」 領域だった。

(2)正答数分布状況

【平成30年度正答数度数分布グラフ】



- 全国と比較して,正答数が7問~9問 (78%程度~100%)の生徒の割合が低く, 正答数が3問~6問(33%~67%程度)の 生徒の割合が高くなっている。 7 問 (78 %程度)以上正解した生徒の割合は、全国とのかい離が大きくなっている。
 ○ 最頻値は6問で、全国より1問下回っ
- ているか同じである。
- 中央値は6間で、全国と同じである。

(3)領域別の平均正答率

- 全ての領域において、県平均正答率は、全国平均正答率を下回っている。
- 全国平均正答率とのかい離が最も大きかったのは,「伝統的な言語文化と国語の特質に関す る事項」だった
- |全国平均正答率とのかい離が最も小さかったのは、「話すこと・聞くこと」領域だった。

	話す	こと・聞く	こと		書くこと			読むこと			的な言語文)特質に関す			合 計	
年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較
H30	75.8	76.6	-0.8	28.9	31.3	-2.4	51.0	53.5	-2.5	46.5	49.2	-2.7	59	61	-2
H29	70.5	72.4	-1.9	57.9	60.8	-2.9	70.0	72.1	-2.1	37.4	41.4	-4.0	70	72	-2

*単位は%

(4)問題別調査結果

○ 正答率のかい離が大きい(±3ポイント以上)問題

(◇:かい離がプラス ◆かい離がマイナス, []内の記号は問題番号)

【話すこと・聞くこと】 なし

【書くこと】 なし

【読むこと】

- グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選 択する [1一]
- 複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択す [1 =
- 文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する[3二]
- 無解答率のかい離が大きい(3ポイント以上)問題等 ・なし

問題別集計	

問題別集	計結果													
		学	習指導要	領の領地	战等	F	問題形式	t	正答	極(%)	無解答	率(%)	正 答	無解答
問題番号	問題の概要	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式	①宮城県(公立)	②全国(公立)	③宮城県(公立)	④全国(公立)	率のかい離(①―②)	答率のかい離 (③④)
1-	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する			1		0			42.7	45. 9	0.1	0.2	-3, 2	-0.1
1 =	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する			1 I		0			61.2	64. 3	0. 2	0.2	-3.1	0.0
1 Ξ	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く		2 ウ	1 4				0	11.3	13. 3	7. 1	7.0	-2.0	0.1
2 —	二人の質問の意図として適切なものを選 択する	1 I				0			86. 7	86.8	0.1	0.2	-0.1	-0.1
2 =	二人に続いてする質問を書く	1						0	88. 7	88.3	5. 9	5.9	0.4	0.0
2 Ξ	ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	1 1				0			52. 1	54. 6	0.4	0.4	-2.5	0.0
3-	登場人物についての説明として適切なも のを選択する			1 ウ		0			79. 4	80. 2	0.3	0.4	-0.8	-0. 1
3 =	文章中の表現について語った人物として 適切なものを選択する			2		0			64. 8	68. 2	0.3	0.4	-3.4	-0. 1
3 Ξ	話のあらすじを学級の友達にどのように 説明するかを書く		1 ウ	1 1	2 (1) 7 (1)			0	46. 5	49. 2	12.2	12.4	-2.7	-0.2

生徒質問紙

土促貝同紅				
	質問事項	宮城県	全国	かい離
	1 時間が余った	47. 3	56. 4	-9. 1
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	2 ちょうどよかった	43. 1	35. 7	7. 4
調査(可選の)解合時間は下刃でしたが(国語A)	3 やや足りなかった	8.0	6. 3	1.7
	4 全く足りなかった	1.4	1. 3	0. 1
	1 時間が余った	36. 6	44. 9	-8. 3
調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	2 ちょうどよかった	41.3	37. 3	4. 0
図 夏 PP 25 V 7 計画 で 1 PP 1	3 やや足りなかった	19.0	15. 2	3.8
	4 全く足りなかった	2. 9	2. 4	0. 5

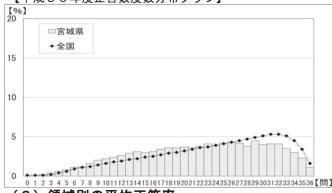
中学校数学A問題(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

(1) 結果の概要

- 県平均正答率は61%である。 県平均正答率が全国平均正答率を上回った問題はなかった。 \bigcirc

(2)正答数分布状況

【平成30年度正答数度数分布グラフ】



- 全国と比較して,正答数が30問(83% 程度)以上の生徒の割合が低く、8問~ 23問 (22%~64%程度) の生徒の割合が 高くなっている。特に上位層では、全国 とのかい離が大きくなっている。
- 最頻値は29間で、全国と比較すると2 ~3問下回っている。
- 中央値は23間で、全国と比較すると2 間下回っている。

(3)領域別の平均正答率

- 全ての領域において,県平均正答率は,全国平均正答率を下回っている。 全国平均正答率とのかい離が最も大きかったのは,「数と式」領域だった。 全国平均正答率とのかい離が最も小さかったのは,「図形」領域だった。

		数と式			図 形			関 数		資	[料の活	用		合 計	-
年月	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較												
Н3	65.2	71.1	-5.9	65.4	69.1	-3.7	49.9	55.5	-5.6	58.4	63.5	-5.1	61	66	-5
Н2	62.9	70.4	-7.5	62.3	66.0	-3.7	51.6	57.4	-5.8	54.5	57.6	-3.1	59	65	-6

※単位は%

(4) 問題別の調査結果

正答率のかい離が大きい(±3ポイント以上)問題

(◇:かい離がプラス ◆かい離がマイナス,[]内の記号は問題番号)

【数と式】

- 絶対値が 6 である数を書く $\begin{bmatrix} 1 & (2) \\ 2 \times (-5^2) \end{bmatrix}$ を計算する $\begin{bmatrix} 1 & (3) \end{bmatrix}$

- ・ $2 \times (-5)$ を計算する[1 (3)] ・ ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ[1 (4)] ・ 「1個 a k g の荷物 3 個と 1 個 b k g の荷物 4 個の全体の重さは 15 k g 以上である」という数量の関係を表した不等式を書く[2 (1)] ・ $6a^2b \div 3a$ を計算する[2 (2)] ・ a=3, b=-4 のときの式 a-2b の値を求める[2 (3)]

- 等式 $S=\frac{1}{2}$ ah を、aについて解く[2 (4)]
- 一元一次方程式 6x-3=9 を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ[3 (1)] 比例式 x:20=3:4 を解く[3 (2)] 連立二元一次方程式 $\begin{cases} 5x-2y=10 \\ 3x-2y=2 \end{cases}$ を解く[3 (3)]

- 連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す[3 (4)]

【図形】

- \triangle ABCを辺ABが辺ACに重なるように折った線を作図するための線を選ぶ[4(2)]半円の直径を軸として回転させてできる立体の名称を書く[5(2)]底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について,正しいものを選ぶ[5(4)]

- 三角形の外角を表す式を選ぶ[6 (1)
- 五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを90°に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ [6 (2)]
- $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であるための条件として,正しいものを選ぶ[7(1)]

【関数】

- 比例 y=5x について、正しい記述を選ぶ[9(1)] 比例のグラフから、xの変域に対応する yの変域を求める[9(2)] 反比例のグラフから表を選ぶ[9(3)]
- 点 (-2, 3) の位置を座標平面上に示す[10]
- に (-2, 3) の位置を座標中間上に (-3) に (-2) の位置を (-2) の位置を (-3) の位置を (-3) の位置を (-3) の (-3) の

【資料の活用】

- 生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ[14(1)] 反復横とびの記録の中央値を求める[14(2)] 大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める[15(2)]

- 無解答率のかい離が大きい(3ポイント以上)問題
 - ・「1個 a k g の荷物 3個と1個 b k g の荷物 4個の全体の重さは15 k g 以上である」という数量の関係を 表した不等式を書く[2(1)]

- ・等式 $S = \frac{1}{2}$ ah を、aについて解く[2 (4)]
- ・比例のグラフから、xの変域に対応する yの変域を求める $\begin{bmatrix} 9 & (2) \end{bmatrix}$ ・一次関数 y=2x+7 について、xの値が1から4まで増加したときの yの増加量を求める $\begin{bmatrix} 1 & (1) \end{bmatrix}$

		学習	指導	要領の	領域	問	題形	式	正答單	区(%)	無解答	率(%)	正答	無解
問題番号	問題の概要	数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式	①宮城県 (公立)	②全国(公立)	③宮城県 (公立)	④全国 (公立)	1率のかい離 (①-②)	答率のかい離 (③-④)
1 (1)	数直線上の点が表す負の整数の値を読み取る	1(1)					0		93. 2	94.6	0.3	0.4	-1.4	-0, 1
1 (2)	絶対値が6である数を書く	1(1)					0		66.0	69.0	8.6	7.3	-3.0	1. 3
1 (3)	2 × (-5 ²) を計算する	1(1)					0		59.6	68. 9	1.0	1.0	-9.3	0.0
1 (4)	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれ だけ高くなったかを求める式を選ぶ	1(1) 7, I				0			49. 9	54. 2	0.1	0.1	-4.3	0.0
2 (1)	「1個 a kgの荷物3個と1個 b kgの荷物4個の全体の重さは15kg以上である」という数量の関係を表した不等式を書く	1(2) I					0		35. 4	41.5	12. 3	8. 5	-6. 1	3.8
2 (2)	6 a ² b ÷ 3 a を計算する	2(1) P					0		86.5	91.0	3.3	2.4	-4.5	0.9
2 (3)	a=3, $b=-4$ のときの式 $a-2b$ の値を求める	1(2) エ					0		71.1	78.5	7.0	4.8	-7.4	2, 2
2 (4)	等式 $S = \frac{1}{2} ah$ を、 a について解く	2(1) ウ					0		36.0	48.2	22.8	15. 3	-12.2	7. 5
3 (1)	ー元一次方程式 6x-3=9 を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	1(3)				0			57.3	64.0	0.7	0.6	-6.7	0.1
3 (2)	比例式 x:20=3:4 を解く	1(3)					0		83. 1	87.8	7.2	5.0	-4.7	2. 2
3 (3)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 5x-2y=10 \\ 3x-2y=2 \end{cases}$ を解く	2(2) ウ					0		73. 6	80.0	6, 2	4. 6	-6.4	1.6
3 (4)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量 を選び、式で表す	2(2)					0		70.7	75. 2	0.7	0.6	-4.5	0.1
4 (1)	ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ		/N-6 (1)			0			65. 5	67.1	0.2	0.3	-1.6	-0.1
4 (2)	△ABCを辺ABが辺ACに重なるように折った線を 作図するための線を選ぶ		1(1)			0			51.3	54. 9	0.8	0.8	-3.6	0.0
4 (3)	長方形ABCDを、点Aを中心として時計回りに		1(1) イ				0		65. 2	66. 1	5. 0	4.4	-0.9	0.6
5 (1)	90°だけ回転移動した図形をかく 直方体において、与えられた面に平行な辺を書く		1(2)		<u> </u>		0		71.5	74. 3	1.3	1.4	-2.8	-0. 1
5 (2)	半円の直径を軸として回転させてできる立体の名		1(2)				0		78. 4	82. 4	3, 3	2. 9	-4.0	0.4
5 (3)	称を書く 与えられた円柱の見取図から、その円柱の投影図		1 (2)			0			81. 3	83. 7	0.2	0.3	-2.4	-0. 1
5 (4)	を選ぶ 底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角		1(2)						0.00	2000		0. 5		
1. 1.	錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ		2(1)	-		0	_		49.7	57. 6	0.4		-7.9	-0. 1
6 (1)	三角形の外角を表す式を選ぶ 五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを 90°に変えたときの内角の和の変化として正しい		ア 2(1) イ			0			64. 6 70. 7	71. 4	0.3	0. 4	-6. 8 -5. 0	-0. 1
7 (1)	ものを選ぶ △ABCと△DEFが合同であるための条件として、		2 (2)			0			63. 9	72. 0	0.5	0, 5	-8. 1	0. (
7 (2)	正しいものを選ぶ 長方形で成り立ち、ひし形でも成り立つことを選		2(2)			0			77. 9	78. 2	0.5	0. 5	-0.3	0.0
8	ぶ 対頂角は等しいことの証明について正しい記述を		2(2)		_	0	-		44. 9	45. 5	0. 6	0. 6	-0.6	0. (
9 (1)	選ぶ 比例 y = 5x について、正しい記述を選ぶ		1	1(1)		0			59. 3	65. 5	1.4	1. 2	-6. 2	0. 0
9 (2)	比例のグラフから、xの変域に対応する yの変域を			1(1)			0		100000	55, 0	17. 2		-5, 6	
9 (2)	求める 反比例のグラフから表を選ぶ			1(1)		0	U		49. 4	52.8	17. 2	13.0	-5.6	0. 3
				1(1)			0		10.000		100000000000000000000000000000000000000	1.4		
1 0	点 (-2, 3) の位置を座標平面上に示す 一次関数 y=2x+7 について、xの値が1から			ウ 2(1)			0		62. 1	69. 9	2.8	2. 9	-7.8	-0.1
(1)	4まで増加したときの yの増加量を求める			را) 2(1)		_	0		39. 7	45. 3	19.0	14.8	-5.6	4. 2
(2)	- 次関数 y = - 2x + 6 が表すグラフを選ぶ 歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、			2(1)		0			49.7	56. 3	1.1	0.9	-6.6	0. 2
1 2	正しい記述を選ぶ グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とす			7		0			33. 2	36. 4	1.2	1.0	-3. 2	0. 2
1 3	る点について、正しい記述を選ぶ			2(1)		0			57.8	62. 7	2.5	1.9	-4.9	0.6
1 4 (1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が 25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を 選ぶ				1(1) 7	0			63. 4	68. 4	1.6	1.4	-5.0	0. 2
(2)	反復横とびの記録の中央値を求める				1(1)		0		67.4	74.0	6.0	4.6	-6.6	1.4
15	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度 数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ				2(1)ア	0			39.4	40.2	2.3	1.8	-0.8	0.5
15	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8 になる確率を求める				2(1)		0		63.5	71.3	13, 6	9.7	-7.8	3.9

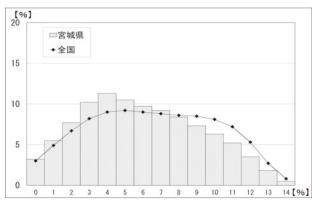
9 中学校数学B問題(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

(1) 結果の概要

- 県平均正答率は43%である。
- 県平均正答率が全国平均正答率を上回った問題は14問中1問で,「関数」領域だった。

(2)正答数分布状況

【平成30年度正答数度数分布グラフ】



- 全国と比較して,正答率が9問(64%程度)以上の生徒の割合が低く,2問~6問(14%~42%程度)の生徒の割合が高くなっている。特に3問~4問(21%~29%程度)正解した生徒の割合は,全国とのかい離が大きくなっている。
- 最頻値は4問で、全国と比較すると1 問下回っている。
- 中央値は6問で、全国と比較すると1 問下回っている。

(3) 領域別の平均正答率

- 全ての領域において、県平均正答率は、全国平均正答率を下回っている。
- 全国平均正答率とのかい離が最も大きかったのは、「資料の活用」領域だった。
- 全国平均正答率とのかい離が最も小さかったのは、「関数」領域だった。

		数と式			図 形			関 数		資	料の活	用		合 計	-
年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較												
Н30	47.3	51.4	-4.1	41.5	46.7	-5.2	50.8	52.8	-2.0	32.4	38.0	-5.6	43	47	-4
H29	42.2	46.3	-4.1	42.1	47.1	-5.0	47.3	50.8	-3.5	45.2	49.1	-3.9	44	48	-4

*単位は%

(4) 設問別調査結果

○ 正答率のかい離が大きい(±3ポイント以上)問題

(◇:かい離がプラス ◆かい離がマイナス,[]内の記号は問題番号)

【数と式】

- ◆ はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する [2 (2)]
- ◆ 計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める[2(3)]

【図形】

- ◆ 平行四辺形ABCDの外側に2つの点E, Fを取っても、四角形EBFDは平行四辺形となることの証明を完成する $\begin{bmatrix} 4 & (2) \end{bmatrix}$
- ◆ 平行四辺形 A B C D を正方形 A B C D に変えたときの四角形 E B F D がどのような四角形になるかを説明する [4 (3)]

【関数】

- ◆ 列車の運行のようすが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ[3 (1)]
- ◆ A駅からの道のりが6kmの地点において、列車アが通ってから列車工が通るまでの時間をグラフから 求める方法を説明する[3(3)]

【資料の活用】

- ◆ 全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める[1(1)]
- ◆ 放送計画で、1目目がA、2目目がBになる確率を求める[1 (2)]
- ◆ 全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいことの理由を確率を用いて説明 する[1 (3)]
- ◆ S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く[5 (1)]

○ 無解答率のかい離が大きい(3ポイント以上)問題

- ・全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいことの理由を確率を用いて説明する[1 (3)]
- ・はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する 「2 (2) 〕
- ・A駅からの道のりが6 kmの地点において、列車アが通ってから列車工が通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する $\begin{bmatrix} 3 & (3) \end{bmatrix}$
- ・平行四辺形ABCDを正方形ABCDに変えたときの四角形EBFDがどのような四角形になるかを説明する[4 (3)]
- ・S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く[5 (1)]

問題別集	計結果 ※一つの問題が複数の区分に該当	当する場	易合があ	らるため	· それ	ぞれの	分類に	ついて	各区分の問題	数を合計した	数は、実際の	問題数とは一致	女しない場合か	
		学習	指導到	要領の	領域	問	題形	式	正答率	区(%)	無解答	率(%)	正 答	無解
問題番号	問題の概要	数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式	①宮城県(公立)	②全国(公立)	③宮城県 (公立)	④全国(公立)	1率のかい離 (①―②)	答率のかい離 (③—④)
1 (1)	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生 徒数の割合を求める				小5 数量 (3) 1(1) イ		0		49. 0	55. 7	13. 8	11. 1	-6. 7	2. 7
1 (2)	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める				2(1)		0		39. 7	43. 9	8.8	7. 0	-4.2	1.8
1 (3)	全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの 方が曲Fが選ばれやすいことの理由を確率を用 いて説明する				2(1) -1			0	29.8	36, 2	30.4	24. 9	-6.4	5. 5
2 (1)	はじめの数が10のときの計算結果を求める	1(1) ウ					0		88.0	89. 5	5. 2	4. 4	-1.5	0.8
2 (2)	はじめの数としてどんな整数を入れて計算して も、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を 完成する	2 (1) 4. 9						0	27.6	37. 5	31.1	25. 0	-9.9	6. 1
2 (3)	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める	2(1)					0		65.3	68. 3	1.0	1.1	-3.0	-0.1
3 (1)	列車の運行のようすが直線で表されていること の前提となっている事柄を選ぶ			2(1) 1. I		0			64.4	67. 6	0.4	0.5	-3, 2	-0.1
3 (2)	グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA 駅からの道のりを求める			2(1) 1, I			0		78. 3	77. 7	6.7	6. 9	0.6	-0.2
3 (3)	A駅からの道のりが6kmの地点において、列車アが通ってから列車エが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する			2(1) (, I				0	9.8	13. 2	37.7	33. 4	-3.4	4. 3
4 (1)	証明されたことから、新たにわかることを選ぶ		2(2) ウ			0			51.5	55. 4	0.5	0. 7	-3.9	-0.2
4 (2)	平行四辺形ABCDの外側に2つの点E、Fを取っても、四角形EBFDは平行四辺形となることの証明を完成する		2(2) 1. 7				0		34, 9	42. 4	6. 7	6. 2	-7.5	0. 5
4 (3)	平行四辺形ABCDを正方形ABCDに変えたとき の四角形EBFDがどのような四角形になるかを 説明する		2(2) ウ					0	37.9	42. 3	29. 2	24. 6	-4. 4	4.6
5 (1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになって いるかを求める式を書く				小5 数量 (3)		0		10.9	16. 0	28.8	24. 1	-5.1	4. 7
5 (2)	通常料金をaとしたときの団体料金の10人分が 通常料金の何人分にあたるかを求める計算から わかることを選び、その理由を説明する	2(1) 1						0	8.4	10. 4	6. 1	6. 6	-2.0	-0.5

生徒質問紙

上促貝问机				
質問	事項	宮城県	全国	かい離
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使っ	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	49.3	55.5	-6.2
て説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと	2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった	45. 5	39.6	5. 9
努力しましたか	3 書く問題は全く解答しなかった	5. 0	4.7	0.3
	1 時間が余った	47. 1	58.3	-11.2
調査問題の解答時間は十分でしたか	2 ちょうどよかった	41.1	33. 2	7. 9
(数学A)	3 やや足りなかった	9.8	6.7	3. 1
	4 全く足りなかった	1.8	1.5	0.3
	1 時間が余った	32.8	40.5	-7.7
調査問題の解答時間は十分でしたか	2 ちょうどよかった	35. 3	33.0	2. 3
(数学B)	3 やや足りなかった	25. 3	21.0	4. 3
	4 全く足りなかった	6.5	5.3	1.2

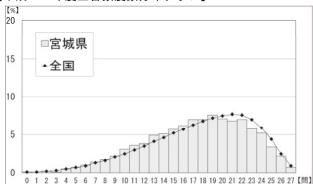
10 中学校理科問題(県平均正答率は仙台市を除いた数値である)

(1) 結果の概要

- 県平均正答率は64%である。 県平均正答率が全国平均正答率を上回った問題は27問中4問で,「知識」に関する問題が3 問,「活用」に関する問題が1問だった。

(2) 正答数分布状況

【平成30年度正答数度数分布グラフ】



- 全国と比較して,正答率が20間(74%程度)以上の生徒の割合が低く,10問~19問(37%~70%程度)の生徒の割合が高くな っている。特に、10問~17問(37%~63%) 正解した生徒の割合は、全国とのかい離が 大きくなっている。

 〇 最頻値は19間で、全国と比較すると2問
- 下回っている。
- 中央値は18間で、全国と比較すると1問 下回っている。

(3) 領域別の平均正答率

- 全ての領域において、県平均正答率は、全国平均正答率を下回っている。
- 全国平均正答率とのかい離が最も大きかったのは、物理的領域だった。 \bigcirc
- 全国平均正答率とのかい離が最も小さかったのは、生物的領域だった。

Ì		主とし	して「知識」に関する	5問題	主とし	して「活用」に関する	5問題		合 計	
	年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較
ſ	Н30	66.0	67.9	-1.9	63.0	64.9	-1.9	64	66	-2
ſ	H27	63.2	63.8	-0.6	46.2	48.8	-2.6	50.9	53.0	-2.1

*単位は%

		物理的領域	ţ	,	化学的領域	ţ	:	生物的領域	ţ	:	地学的領域	Į.		合 計	
年度	県平均 正答率	全国平均 正答率	全国との 比 較												
Н30	71.8	74.4	-2.6	63.6	65.0	-1.4	71.9	72.5	-0.6	55.7	57.8	-2.1	64	66	-2
H27	46.4	48.9	-2.5	53.2	56.2	-3.0	61.6	62.2	-0.6	44.6	46.4	-1.8	50.9	53.0	-2.1

*単位は%

(4)設問別調査結果

正答率のかい離が大きい(±3ポイント以上)問題

(◇:かい離がプラス ◆かい離がマイナス,[]内の記号は問題番号)

【物理的領域】

- 実験の結果を示した表から電流の値を読み取る [6 (2)]
- オームの法則を使って、抵抗の値を求める[6(2)]

【化学的領域】

- ガスバーナーの炎が赤いときの化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子
- モデルで説明する[4(3)] ・ 市販の発熱パックに入っているアルミニウムと水の温度変化の関係を調べる実験を振り返り、アルミニウムについての新たな疑問を書く[8(3)]

【生物的領域】

なし

【地学的領域】

- 地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることを選択肢から 選ぶ「7 (1)]
- ・ 地震の記録を分析して解釈し、緊急地震速報を受け取ってから、S波による揺れ(主要動が始まるまでの時間が、最も長いと考えられる観測地点を選ぶ[7 (2)]
- 無解答率のかい離が大きい(3ポイント以上)問題
 - ・ガスバーナーの空気の量を変えて,炎の色と金網につくスス(炭素)の量を調べる実験で, 変えない条件を書く[4(2)]
 - ・ガスバーナーの炎が赤いときの化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子の

 - モデルで説明する [4 (3)]
 ・オームの法則を使って、抵抗の値を求める [6 (2)]
 ・市販の発熱パックに入っているアルミニウムと水の温度変化の関係を調べる実験を振り返り、アルミニウムについての新たな疑問を書く [8 (3)]

		枠絲	組み	学習	指導要	領の分	野等	pe	題形:	式	正答單	区(%)	無解答	率(%)	正 答	無解
問題番号	問題の概要	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	第 物理的領域	分野化学的領域	第 生物的領域	分野地学的領域	選択式	短答式	記述式	①宮城県(公立)	②全国 (公立)	③宮城県(公立)	④全国(公立)	率のかい離 (①―②)	答率のかい離 (③-④)
1 (1)	光の反射を利用した「テレブロンブター」のモデル を作って科学的に探究する場面において、光の直進		0	(1) 7 (7)				0			59. 9	61.7	0.1	0.1	-1.8	0.
1 (2)	や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能 を活用することができるかどうかをみる		0	(1) 7 (7)				0			71.6	73. 7	0.2	0.2	-2.1	0.
2 (1)			0			(3) • (4)		0			84. 2	86. 2	0.2	0.1	-2.0	0.
2 (2) 低い濃度	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の	0			(2) 1 (7)			0			75. 9	76.5	1.1	1.2	-0.6	-0.
2 (2)	質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学 習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関す る知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみ	0			(2) 1 (7)			0			48.0	46. 9	1.2	1.3	1.1	-0.
2 (3)	ి చ		0			(3) ウ(1)		0			79. 2	79. 7	0.1	0.2	-0.5	-0.
2 (4)			0			(3) ウ(1)				0	60.9	61.3	11.1	9.5	-0.4	1.
3 (1)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進		0				(4) 7 (7)	0			36, 9	37, 5	0.3	0.2	-0.6	0.
3 (2)	や風向を科学的に探究する場面において、日本の 気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用す	0					(4) ウ(7)	0			65. 1	67.3	0.4	0.4	-2.2	0.
3 (3)	ることができるかどうかをみる		0				(4) ウ(7)			0	50.4	52. 3	9.8	7.9	-1.9	1.
4 (1)	図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソク D科学」を読んで、ガスパーナーを使った燃焼を科 学的に探究する場面において、実験器具の操作や化 学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用	0			(2) 7 (7)			0			71.4	73. 4	0.3	0.4	-2.0	-0.
4 (2)			0		(4) 1 (1)					0	43. 5	44. 1	18. 9	15.5	-0.6	3.
4 (3)	することができるかどうかをみる		0		(4)					0	44.6	49.4	20.1	16.2	-4.8	2

6 (3)			0	(3) ア(ウ)			0			91.5	91.4	0.5	0.6	0.1	-0.1
7 (1)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に - 緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に	0				(2) 7 (1)	0			51.5	55. 1	0.3	0.4	-3, 6	-0.1
7 (2)	探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光 探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光 と音の伝わり方に関する知識・技能を活用すること ができるかどうかをみる		0			(2) 7 (1)	0			75. 2	78. 5	0.5	0.5	-3.3	0.0
7 (3)	¬ か ぐ ぎ る か ど う か を み る		0	(1) ア (ウ)		(2) ア (f)		0		93. 7	94. 4	3. 7	3. 6	-0.7	0.1
8 (1)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探 突して実験ノートにまとめる場面において, 化学変	0			7 (1)		0			83.8	83. 5	0.4	0.6	0.3	-0.2
8 (2)	ー化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問		0		(4) 1 (9)		0			71.4	72.0	0.4	0.6	-0.6	-0.2
8 (3)	類を見いだし探究を深めようとしているかどうかを みる		0		(4) 1 (9)				0	69. 9	74.0	24.8	20.3	-4.1	4, 5

(3) 1 (1)

(3) 1 (1)

0

0

0

0

0

0

44.6

59.0

60.3

68.2

73.2

44.8

49.4

57.2

62.8

70.5

77.2

51.9

20.1

7.3

0.4

0.3

14.2

18.7

16.2

0.5

0.4

11.6

14.6

-4.8

1.8

-2.5

-2.3

4.0

-7.1

3.9

0.2

-0.1

-0.1

2.6

4.1

0.0

2.8

0

0

(3) 7 (7)

(3) F (4)

0

0

0

0

4 (3)

5 (1)

5 (2)

6 (1)

6 (2) 電流

6 (2)

抵抗

生徒質問紙

「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むの が遅れるのではないか」という予想を科学的に探究 する場面において、刺激と反応についての知識と自 然の事物・現象を実験の装置や操作に対応させたモ テル実験の知識・技能を活用することができるかど うかをみる

自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べ て明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究 する場面において、電調、電圧と抵抗及び電力と発 生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活 用することができるかどうかをみる

(4) 1 (9) 8 (3) 0 0 69.9 74.024.8 20.3 -4.1部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科 学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する 知識、問題解決の知識・技能を活用することができ るかどうかをみる (1) イ(4) 9 (1) 0 0 87.7 88.0 0.6 0.6 -0.39 (2) 0 0 17.4 24.2 21.4 -2.019.4

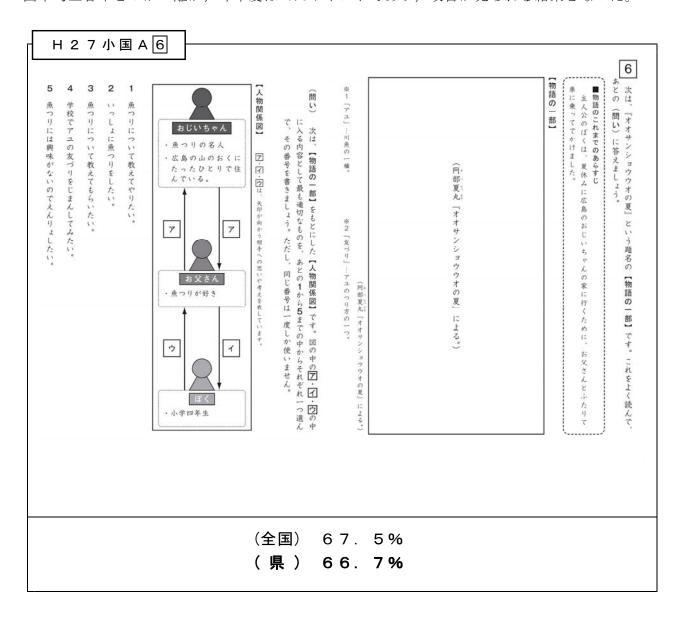
9	1 問事項	宮城県	全国	かい離
	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した	58, 8	62, 8	-4.0
今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題があり ましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった	37.1	32.9	4.2
SOLO I MENO CITTLE HE PENINGONO	3 書く問題は全く解答しなかった	3.5	3.8	-0.3
	1 時間が余った	57.4	64.3	-6.9
調査問題の解答時間は十分でしたか	2 ちょうどよかった	34.0	28.0	6.0
調査問題の所合时間は下方でしたか	3 やや足りなかった	7.2	6.3	0.9
	4 全く足りなかった	1.4	1.3	0.1

Ⅲ 類似問題の経年比較(H27小とH30中の類似問題の比較)

(1)中学校国語

A3二 ・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容が理解できるかどうかをみる。

平成27年度小学校調査では、「登場人物の相互関係を捉えること」(正答率66.7%)に課題が見られた。これを踏まえて出題された「場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する」問題では、平均正答率が82.3%であった。平成27年度には、-0.8ポイントあった全国平均正答率とのかい離が、今年度は-0.5ポイントであり、改善が見られる結果となった。



H 3 0 中国 A 3 二 3 3 4 2 1 この場面についての説明として最も適切なものを、 機械の使い方)を聞いている。 ――線部②「『さあ、今度は何を映そう?』けれども保吉は耳にもかけず、ヴェネチアの風景をながめつづけた。」とありますが (ここまでのあらすじ) 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 父は他の画を映し出すことを提案したが、 父はヴェネチアの風景の映り具合を気にしたが、保吉は自分が愛する浅草や銀座の風景の映り具合を気にしている。 父は保吉に幻灯を映すように促したが、保吉はヴェネチアの静かな風景がとても気に入ったので父の発言に答えずにいる。 (芥川龍之介「少年」による。) 父は少女が映っている画が他にもないか探そうとしたが、保吉は少女が再び現れることはないと諦めている。 七歳の保吉は父親と玩具屋を訪れ、店主から幻灯の映し方(ガラス板の画を光でスクリーンに映す 保吉は少女がもう一度幻灯の画に現れるのではないかと考えている。 次の1から4までの中から一つ選びなさい。 (全国) 82.8% (県) 5%, (除く) 82. 84. 3 %

文学的な文章を読む際には、目的に応じて場面の展開や登場人物の描写に注意して読むように指導することが引き続き大切である。例えば、文章全体から登場人物の言動が分かる描写を見付け、それらを場面の展開に即して整理し、登場人物の相互関係についてまとめるとともに、登場人物の相互関係からそれぞれの人物像や内面にある深い心情を捉えるなどの学習活動が考えられる。その際、複数の場面や描写を結び付けて文章を解釈し、他の人の解釈と比較するように指導することも有効である。また、文章の理解をより深めるために、考えの根拠となった描写を具体的に示すように指導することが重要である。

A 4 - 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことができるかどうかをみる。

平成27年度小学校調査では、「文の中における主語を捉えること」(正答率48.0%)に課題が見られた。これを踏まえて出題された「目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く」問題では、平均正答率は77.8%であった。平成27年度には、-5.1ポイントあった全国平均正答率とのかい離が、今年度は-1.6ポイントとなり、改善が見られる結果となった。

H 2 7 小国 A 2 一					
			2 ぼくの 蛛の 誕生日は、五月二日だ。ア イ ウルビュッ エ	 1 降っていた 雨が、 急に やんだ。 - 1と2の文の主語として適切なものを、アから工までの中からそれぞれ一つ選んで、 	2 次の一と二の問いに答えましょう。
	(全国) (県)	5 3. 1 % 4 8. 0 %			

H 3 0 中国 A 4 二

4 3

■投落で述べる事柄に対して、他の人の意見を直前に示す方が読み手が理解しやすいと考えたから。

根拠となる事実を直後に示す方が読み手が理解しやすいと考えたから。

1段落で述べた事柄に対して、自分の意見を直後に示す方が読み手が理解しやすいと考えたから。

4段落で述べる事柄に対して、予想される反論を直前に示す方が読み手が理解しやすいと考えたから

2

1段落で述べた事柄に対して、

1

4 田中さんは、「日本の食文化」というテーマで意見文を書いています。次は、田中さんが書いた【意見文の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(□から【4は、政務の番号を表します。)

意見文の下書き

□ 日本で昔から親しまれてきた緑茶。例えば、「日常茶飯事」という言葉があるが、この言葉は「日常のありふれたこと」という意味で使う。このように緑茶は、日本では人々にとって生活そのものと深く結び付いた存在である。その緑茶の人気が海外で高まっているという。
 ② 財務省の平成二十八年の貿易統計によると、十年前と比べ、緑茶の海外への輸出量は二倍以上、輸出額は三倍以上になっている。また農林水産省のウェブページには、「世界的な健康志向の高まりから、各国における緑茶以上になっている。また農林水産省のウェブページには、「世界的な健康志向の高まりから、各国における緑茶以上になっている。また農林水産省のウェブページには、「世界的な健康志向の高まりから、各国における緑茶以上になっている。また農林水産省のウェブページには、「世界的な健康志向の高まりから、各国における緑茶のの需要が増加」と書かれている。これらのことは、海外で緑茶の人気が高まっていることの裏付けと言える。の需要が増加」と書かれている。これらのことは、海外で緑茶の人気が高まっていることの裏付けと言える。の需要が増加」と書かれている。これらのことは、海外で緑茶の人気が高まっていることの裏付けと言える。
 ④ 昔から親しまれ、様々な食品に用いられるようになってきた緑茶が、海外でも注目されている。私は、緑茶の食品としてのよさだけでなく、私たちの生活そのものと深く結び付いていることも海外の人に理解してほしい。そのために、まざ私自身が緑茶についてもっとよく調べて理解を深めたい。緑茶の他にも、私たちの身の回りには、生活そのものと深く結び付いていることに目を向け、改めて日本の食文は、生活そのものと深く結び付いた存在では、大きないでは、まないでは、大きないは、大きないではないでは、大きないないでは、大きないでは、大きないでは、まないでは、まないでは、まないでは、大きないでは、大きない

その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。 田中さんは、 読み手が理解しやすいように【意見文の下書き】の②段落と③段落の内容を入れ替えて書き直すことにしました。 化について見つめ直してはどうだろうか。

(全国) 79.4% (県) 80.2%,(除く)77.8%

文を書く際には、文の成分の順序や主語と述語の照応などを整え、伝えたいことが相手に適切に伝わるようになっているかを常に吟味するように指導することが大切である。例えば、心の動きや、身の回りの様々な物事などについて具体的な内容を盛り込んだ文を書き、伝えたいことを適切に表現するための語順や照応について検討するなどの学習活動が考えられる。また、「書くこと」の学習との関連を図り、推敲の際の観点の一つとして取り入れることも効果的である。

IV 過去の調査との同一問題の正答率の比較

- 今年度の調査では、過去の全国学力・学習状況調査との同一問題は7問出題されている。
- このうち、県正答率が全国正答率を上回った問題が1問で、残りの6問は下回った。
 - ※ 今年度の正答率の結果は「仙台市を除く」もので、過去の調査における正答率データは「仙 市も含む」ものであり、単純に比較することはできないことに留意

【小学校国語】

なし

【小学校算数】

なし

【小学校理科】

なし

【中学校国語】

なし

【中学校数学】

問題番号	問題の概要	今年度県正答率	過去の調査の問題番号と
		(全国正答率)	県正答率 (全国正答率)
A 1 (3)	2×(-5 ²) を計算する	59.6%	平成26年度A1(2)
		(68.9%)	65. 3% (70. 7%)
A2(4)	x y	36.0%	平成21年度A2(4)
	等式 $S = \frac{1}{2}$ ah を, aについて解く	(48.2%)	38. 3% (44. 5%)
A6(1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	64.6%	平成22年度A6(1)
		(71.4%)	65.5% (69.4%)
A15(1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出	39.4%	平成25年度A15(1)
	る相対度数の変化の様子について、正し	(40.2%)	35.5% (33.1%)
	い記述を選ぶ		

【中学校理科】

問題番号	問題の概要	今年度県正答率	過去の調査の問題番号と
		(全国正答率)	県正答率 (全国正答率)
2(2)	食塩水の濃度が低いものを, A, Bから	75.9%	平成27年度 1 (1)
低い濃度	選ぶ	(76.5%)	41. 1% (45. 0%)
2 (2)	食塩水の濃度が3.0%ものを, A, Bか	48.0%	平成24年度 4 (1)
3.0%の濃度	ら選ぶ	(46.9%)	51.8% (49.8%)
6 (2)	オームの法則を使って抵抗の値を求める	44.8%	平成27年度 5 (1)
抵抗		(51.9%)	55.0% (59.6%)

V 児童生徒質問紙調査結果の概要(抜粋)

※ 全国値と±3ポイント以上のかい離がみられる質問項目

(◇: 肯定的な割合がプラス ◆: 肯定的な割合がマイナス 「] 内: 全国値とのかい離)

※ 表の見方について

				Н
No	質問事項	番号	仙台市 を除く	県-全
1	授業では、課題の解決に向けて、自分 で考え、自分で取り組んでいたと思い	小55	76. 5	-0. 2
	ますか(新規)	中52	74. 0	0. 2

- ・「番号」: 児童生徒質問紙の質問番号
- ・「仙台市を除く」:「当てはまる」「どちらか といえば当てはまる」の合計の割合(%)
- ・「県一全」県(仙台市を除く)の値と全国

1 主体的 ■対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する質問では、ほとんどの質問について、 小・中学生ともに全国値とほぼ同じである。

		番		Н	30			Há	2 9		H 2	2 8	H 2	2 7
No	質問事項	号	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宫-全	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全
1	授業では、課題の解決に向けて、自分 で考え、自分で取り組んでいたと思い	小55	76. 5	-0. 2	77. 0	0.3								
Ľ		K-C.	168		i	J . 5								
,	普段の授業で、自分の考えを発表する 機会では、自分の考えがうまく伝わる	/J\56	61.5	0.5	63. 0	2. 0	65. 7	0.8	67. 4	2. 5	66. 6	2. 4		
2	よう、資料や文章、話の組み立てなど を工夫し発表していたと思いますか	中53	55. 6	1.8	58. 0	4. 2	60. 3	2. 4	61.8	3. 9	62. 7	5. 0		
2	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げた	<i>1</i> √57	76. 1	-1.6	77. 3	-0.4	66. 5	-1.7	69. 0	0.8	69. 1	0.8	66. 0	-0. 9
Ĺ	りすることができていると思いますか	中54	76. 1	-0. 2	78. 1	1.8	65. 7	0. 9	67. 3	2.5	67.0	2. 2	65. 9	3. 0

《改善へのヒント》

- ○話し手は話題について自分の考えを形成しているのに対し、聞き手の準備が不十分であることが見 受けられる場合もある。学習の場面では、話し手と聞き手が共に自分の考えをもって話合いに望む ことができるような指導が重要である。
- ○誰と何について話し合うのか、何のために話し合うのかを理解し、今は何について話し合っている のかを捉え、それに応じて話すように指導することが重要であり、そのことが主体的に話合いに参 加する態度を育むことにもつながる。

2 規範意識•自己有用感,学習習慣,基本的生活習慣等

規範意識・自己有用感、基本的生活習慣等に関する質問では、ほとんどの質問について、小・中学 生ともに全国値とほぼ同じである。

学習習慣等に関する質問では、予習、復習をしている割合は、小・中学生ともに全国値と比較して 大きく上回っているが, 家庭学習の時間については, 長時間になると全国値を下回る傾向が見られる。

◆「自分には、よいところがあると思う」

中学生 [-3.0]

◇「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」

小学生「+ 4.3]

◇「家で、学校授業の予習、復習をしている」

小学生[+10.5]中学生[+11.4]

◇「予習、復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している」

小学生「+ 9.0] 中学生「+ 5.5]

◇「学校の授業以外に1日当たり1時間以上勉強している」

小学生[+ 9.6]中学生[+ 5.2]

◆「学校の授業以外に1日当たり2時間以上勉強している」

中学生 [- 4.5]

◆「学校の授業以外に1日当たり3時間以上勉強している」 小学生 [- 6.4] 中学生 [- 4.8]

◆「毎日, 同じくらいの時刻に寝ている」 小学生 [-3.0]

◇「家の人(兄弟姉妹は含まない)と学校での出来事」について話をする」 小学生 [+ 3.1]

			番		н	30			н	2 9		н	2 8	н	2 7
No	質問事項		号	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宫-全	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宫-全	仙台市 を含む	宫-全	仙台市 を含む	宫-全
			小1	82.9	-1.1	83.4	-0.6	76. 2	-1.7	76.7	-1.2	73.9	-2.4	72.5	-3.9
4	自分には、よいところがあると思い	ますか	中1	75.8	-3.0	78.7	-0. 1	66.3	-4. 4	70.0	-0. 7	68. 2	-1.1	66. 2	-1.9
_	先生は、あなたのよいところを認め	てくれて	1/2	84. 6	-0.7	84.9	-0.4	83. 8	-2. 2	83.5	-2.5	80.9	-1.7		
5	いると思いますか。		中2	80.0	-2.2	82.9	0.7	78.9	-1.5	79.9	-0.5	78.7	0.7		
			1/3	86.0	0.9	85. 4	0.3	87. 5	1.6	86.0	0.1	85. 6	0.3	87.5	1.0
6	将来の夢や目標を持っていますか		中3	72.0	-0.4	72.8	0.4	70.6	0.1	71.8	1.3	71.2	0.1	72.4	0.7
Γ,	Military de et al. (MRRI) de etc	ade to	//\4	89.8	0.3	89.9	0. 4	92. 5	-0.1	92.1	-0.5	91.7	0.2	90.0	-1.1
7	学校のきまり (規則) を守っていま	3 20	ф4	93.8	-1.3	94.7	-0.4	94. 5	-0.7	95.0	-0. 2	94. 1	-0.6	93.9	-0.5
۰	いじめは、どんな理由があってもい	いけないこ	小5	97. 2	0.4	97.1	0.3	96.0	-0. 1	96. 2	0.1	96.8	0. 2	95. 6	-0.6
8	とだと思いますか		ф5	95.5	0.0	95.7	0. 2	92. 3	-0.5	92.6	-0. 2	93.7	0.1	92.6	-1.1
			小6	95. 1	-0.1	94.3	-0.9	91.4	-1.1	91.1	-1.4	92.7	-1.1	91.4	-2.3
9	人の役に立つ人間になりたいと思い	ますか	中6	94.9	0.0	94. 2	-0.7	91.8	-0.1	91.3	-0.6	91.8	-1.0	92.6	-1.1
	家で、自分で計画を立てて勉強をし	ています	小10	71.9	4.3	71.1	4. 1	67.0	2. 5	68.8	4.3	67.3	5.1	68.1	5.3
10	א		中10	54.0	1.9	56.4	4. 3	53. 7	-0.8	56.3	1.8	52.2	3.8	53.7	4.9
	mar was something a constitution		小11	97.5	0.4	97.7	0. 6	97.3	0. 4	97.4	0.5	79.6	0.6	97.3	0.5
11	家で、学校の宿題をしていますか		ф11	90.4	-1.2	91.6	0.0	88.8	-0.7	89.7	0. 2	90. 2	0.1	89.9	0.6
	家で、学校の授業の予習・復習をし	ています	小12	73. 1	10.5	71.8	9. 2								
12	'n		中12	66.6	11.4	67.4	12. 2								
13	予習・復習やテスト勉強などの自学	自習にお	小13	78. 9	9.0	78.0	8. 1					75. 7	11.1		
13	いて、教科書を使いながら学習して		中13	76.8	5.5	78.3	7. 0				$\overline{}$	76.3	8. 1		
		30分 以上		24.7	0.9	25.1	1.3	91.6	2.9	90.6	1.9	90.7	2.8	91.1	3.3
		1時間以上	小	46.5	9.6	43.4	6. 5	66. 2	1.8	65.4	1.0	64. 4	1.9	64.8	2.1
		2時間以上	14	16.2	-0.6	16.4	-0. 4	19.7	-7.4	21.8	-5.3	20.5	-5.0	20.1	-5.6
١	学校の授業時間以外に、普段(月 〜金曜日)、1日当たりどれくら	3時間以上		6. 1	-6.4	7.4	-5. 1	5.8	-6. 1	7.1	-4.8	6. 1	-4.7	6.1	-5.0
14	いの時間, 勉強をしますか (学習 塾や家庭教師含む)	30分 以上		20.5	0.0	18.4	-2.1	87. 0	0. 2	86.9	0.1	85. 9	0.3	86.0	0.0
		1時間以上	ф	39. 4	5. 2	37.5	3. 3	66. 4	-3. 2	67.9	-1.7	66. 2	-1.7	67.0	-2.0
		2時間以上	14	21.4	-4.5	24.1	-1.8	27.8	-7. 6	31.0	-4.4	28. 9	-5.3	29.7	-6.0
		3時間以上		5.7	-4.8	7.5	-3.0	5. 8	-4.3	7.2	-2. 9	6.4	-3.0	6.8	-3.6
		1時間以上		20.7	-1.1	21.7	-0.1	18.8	-0.9	20.1	0. 4	17.0	0.6	20.4	0.3
		2時間以上	小 15	10.0	-1.5	10.8	-0.7	9. 1	-0.8	9.9	0.0	16.7	0.0	10.2	0.1
	学校の授業時間以外に, 普段(月 ~金曜日), 1日当たりどれくら	3時間以上		7.5	-0.3	7.8	0.0	6. 4	-0.5	7.0	0. 6	17.8	0.9	7.0	-0.5
15	いの時間、読書しますか(教科書や参考書、漫画や雑誌を含む)	1時間以上		17.8	1.7	17.7	1.6	16.4	1.2	16.3	1.1	15.8	1.2	16.9	1.3
		2時間以上	中 15	9.8	1.1	9.3	0.6	9. 6	1.3	9.1	-0.5	8.8	0.7	9.4	0.7
		3時間以上	,,,	6. 2	0.1	5.7	-0.4	6. 2	0.5	5.8	0.1	5. 6	0.1	6. 2	-0.1
			小7	94.1	-0.4	95. 1	-0.1	95. 2	-0. 2	95.8	0.4	96.3	0.8	96.3	0.7
16	朝食を毎日食べていますか		中7	92.4	-0.8	93.3	0. 1	93. 2	0.7	93.9	1.4	94.5	1.2	94.6	1.1
			1/8	77.4	0.4	80.4	0.0	80.4	0.6	83.1	3.3	83.0	2.9	82.7	3.2
17	毎日、同じくらいの時刻に寝ていま	すか	ф8	74.5	0.3	78. 1	1. 0	77. 1	3.9	79.5	6.3	79.3	4.1	79.3	4.1
-					.72.5		22.50	-	32.55		35077				
18	毎日、同じくらいの時刻に起きてい	ますか	1/9	88. 7	-0.1	89. 4	-1.1	90.5	-0. 7	91.3	0.1	91.7	0.9	91.3	0.3
_			中9	90.5	0. 2	91.4	-0.9	92. 3	0.6	93.0	1.3	92.8	0.5	92.7	0.6
19	家の人(兄弟姉妹は含まない)と学 来事について話をしますか	校での出	小18	80.5	0.0	81.4	4. 0	77.4	-0. 7	79. 1	1.0	80.5	1.3	80.0	0.5
	小中についく話としまりか		中18	76.3	0.3	78.1	2.8	75. 3	1.0	77.1	2.8	75.9	1.8	76.3	2.6

よいところを認めることは,「5つの提言」の一つである。児童生徒の気付きやつぶやきを拾い上げ,認め,他の考えと関連付けながら,みんなで考える授業を充実させることが望まれる。 授業の予習・復習等も含め,家庭学習の課題の与え方について,校内の教職員で共通理解を図り, 家庭学習の質と量を充実させるための取組が今後も望まれる。

3 地域や社会に関わる活動の状況等

地域や社会に関わる活動の状況等に関する質問では,ほとんどの質問について,小・中学生とも に全国値とほぼ同じである。

「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった」

中学生[+4.2]

「今住んでいる地域の行事に参加している」

小学生[+5.8]

「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」

中学生[-8.5]

	20 min mir va.	番		н	30			н	2 9		на	2 8	на	2 7
No	質問事項	号	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宫-全	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宫-全	仙台市 を含む	宫-全	仙台市 を含む	宫-全
20	授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域	小19	74. 6	0.2	78.7	4. 3	71.0	0.8	72.9	2.7				
20	の人と関わったりする機会があったと思いますか	中19	72.9	4. 2	73.5	4. 8	55. 2	1.5	54.6	0.9				
21	ムケ/マリスははホ仁東(-を物) マリキナム	小20	68.5	5.8	70.9	8. 2	70. 2	7. 6	72.3	9.7	76.0	8. 1	75.8	8.9
21	今住んでいる地域の行事に参加していますか	中20	45. 6	0.0	47.8	2. 2	43. 0	0.9	44. 6	2. 5	44.8	-0.4	46.4	1.6
22	地域や社会で起こっている問題や出来事に関	/\·21	61.0	-2.8	65. 6	1.8	61.9	-2. 0	67.0	3. 1	72.6	2. 0	66. 2	2.3
22	心がありますか	中21	60.0	0.7	63.8	4. 5	59.8	0. 6	62.6	3. 4	67.9	2.1	60.8	4.9
23	地域や社会をよくするために何をすべきかを	小22	48. 2	-1.7	51.6	1.7	41.3	-1.0	45. 2	2.9			45.6	0.8
23	考えることがありますか	中22	39.7	1.0	42.4	3. 7	35. 9	2. 5	36.9	3. 5			37.5	4.6
24	地域社会などでボランティア活動に参加したこと	小23	33. 2	-2.9	38.1	2. 0	29. 0	-6.4	34. 9	-0.5	35. 4	-0.8		
24	がありますか(ある)	中23	43.3	-8.5	51.5	-0.3	41.9	-7. 8	49.0	-0.7	45.8	-2.9		
25	地域の大人(学校や塾・習い事の先生は除	<i>1</i> √24	39.9	-1.7	38. 1	-3. 5	39. 2	-1.9	37. 1	-4. 0				
25	く) に勉強やスポーツを教えてもらったり. 一緒に遊んだりすることがありますか	中24	27. 6	2.1	25.0	-0.5	25. 8	2. 2	23. 6	0.0				
26	が明さなノベルナナム(知1.0回以上)	小25	17.9	-2.0	18.3	-1.6	17.5	-3. 5	18. 9	-2. 1	21.2	-2.8	20.7	-3.0
20	新聞を読んでいますか(週1~3回以上)	中25	14.0	-0.1	14.6	0. 7	14. 5	-0. 4	15. 6	0.7	19.0	0.7	19.7	0.9
27	テレビのニュース番組やインターネットの ニュースを見ますか(携帯電話やスマート	/\26	85.5	-0.7	86.0	-0. 2	83. 5	-1.1	84. 4	-0. 2	85. 4	-1.0	83.7	-0.6
21	ニュースを見ますか (携帯電話やスマート フォンを使ってのインターネットも含む)	中26	86. 9	0.3	87.3	0.7	87. 2	0.5	87.5	0.8	88. 4	1.0	85.0	1.1

《改善へのヒント》

各教科や総合的な学習の時間等の指導との関連を図りながら,家庭や地域の人々との連携,社会教育施設等の活用等を工夫することが考えられる。その際,ボランティア活動等の社会奉仕の精神を養う体験的な活動や就業体験等の勤労にかかわる体験的な活動の機会をできるだけ取り入れることが大切である。

VI 学校質問紙調査結果の概要(抜粋)

1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

◇「課題の解決に向けて,自分で考え,自分から取り組むことができている」 小学校 [+ 3.0]

		_			2.0									
番				Н (3 0			H 2	2 9		H a	2 8	H 2	2 /
号	質問事項		仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全
Γ,	調査対象学年の児童(生徒)は、課題の 解決に向けて、自分で考え、自分から取	小13	86. 6	3.0	83. 2	-0.4						/		
Ľ	り組むことができていますか	中13	83. 0	2. 2	84. 9	4. 1								
,	調査対象学年の児童(生徒)に対して. 前年度までに、習得・活用及び探究の学習	/\22	93. 8	0.8	92. 8	-0. 2	89. 1	-2. 4	89. 5	-0.5	89. 2	-0.9		
	過程を見通した指導方法の改善及び工夫 をしましたか	中21	92. 2	-0.4	92. 2	-0.4	95. 0	5. 4	92. 6	5. 3	88. 9	0.3		
3	前年度までに、各教科等で身に付けたこ	示26	91.4	1.7	92.0	2. 3	83. 0	-0.3	85. 0	-4. 2				
Ľ	とを、様々な課題の解決に生かすことが できるような機会を設けましたか	中25	82. 3	-1.3	81. 9	-1.7	72. 1	-3. 1	73. 9	-3.9				
4	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、学校生活の中で、児童 (生徒)一人一人のよい点や可能性を見	√J\30	98. 4	-0.6	98. 9	-0. 1	98. 1	0. 7	97. 9	0. 4	98. 7	0.3	97. 2	0.5
Ľ	付け評価する (褒めるなど) 取組をどの 程度行いましたか	中29	99. 3	1.4	99. 1	1. 2								
5	第6学年の児童に対して、前年度まで に、家庭学習の取組として、調べた以文	/J\65	87. 1	2.7	87. 5	3. 1	85. 4	2. 3	85. 3	0.3	85. 1	3. 0	82. 2	2. 7
۱	章を書いたりする宿題を与えましたか (国・算・数共通)	中62	70. 9	-2. 8	76. 1	2. 4	67. 8	-2. 0	68.5	-1.3	66. 0	-2.8	73. 1	7. 0

《改善へのヒント》

○児童生徒が主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか、対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか、学びの深まりをつくりだすために、児童生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか、という視点で指導方法の改善を図る。

2 カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況

カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する質問では、小学校では全国値を上回る項目 が多い。

- ◇「教育課程表について,各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成している」 小学校[+ 3.3]
- ◇「児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき,教育課程を編成し,実施し, 評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している」 小学校[+ 3.2]
- ◆「全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析 し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている」

小学校[- 5.0] 中学校[-10.2]

<u></u>				н	3 0			H 2	2 9		H 2	2 8	H 2	2 7
番号	質問事項		仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全
5	指導計画の作成に当たっては、各教科等 の教育内容を相互の関係で捉え、学校の 教育目標を踏まえた横断的な視点で、そ	小16	94. 9	0. 2	95. 2	0. 5	87. 6	0. 9	88. 4	-1.6	87. 8	2. 0		
٥	教育目標を踏まえた機関的な視点で、そ の目標の達成に必要な教育の内容を組織 的に配列していますか	中15	90. 1	-0.1	92. 2	2. 0	76.4	-1. 9	/9.3	-6. 4	/9. 6	1.6		
6	教育課程表(全体計画や年間指導計画 等)について、各教科等の教育目標や内	<i>باد</i> 17	96. 5	3. 3	96. 6	3. 4	88. 0	2. 2	87. 9	0.4	90.3	4. 7		
0	容の相互関連が分かるように作成してい ますか	中16	87. 9	-0.8	90. 7	2. 0	72. 9	-4. 6	74. 9	-4.4	80. 6	2. 9		
7	児童(生徒)の姿や地域の現状等に関す る調査や各種データ等に基づき、教育課 程を編成し、実施し、評価して改善を図	小18	98. 1	3. 2	96. 6	1. 7	94. 6	3. 1	93. 9	1. 4	91. 9	3. 4		
′	る一連のPDCAサイクルを確立していますか	中17	90.8	-2.3	91.7	-1.4	92. 9	5. 1	92. 6	0. 5	87. 4	0. 9		
8	指導計画の作成に当たっては、教育内容 と、教育活動に必要な人的・物的資源等	小19	97. 6	1.6	98. 1	2. 1	93. 4	0.8	94. 7	-2. 8	93. 7	2. 3		
0	を、地域等の外部の資源を含めて活用し ながら効果的に組み合わせていますか	中18	85. 8	1. 2	86. 8	2. 2	75.0	0. 4	72. 9	4. 6	71. 3	0.0		
q	全国学力・学習状況調査の結果を地方公 共団体における独自の学力調査の結果と	√l>33	89. 4	-5.0	91. 2	-3. 2	92. 6	-0. 9	94. 5	-3. 8	95. 5	2. 3	95. 9	4. 0
9	併せて分析し、具体的な教育指導の改善 や指導計画等への反映を行っていますか	中32	81.6	-10. 2	86.8	-5. 0	90.0	-0. 1	92.7	-5. 7	94. 1	4. 1	94. 1	6. 2
10	言語活動について、国語科だけではな く、各教科、道徳、外国語活動、総合的	/l\81	93. 7	-0. 5	93. 6	-0. 6	92. 6	0. 3	92. 6	0. 1	90. 3	-1.4	88. 0	-3. 6
10	な学習の時間及び特別活動を通じて、学 校全体として取り組んでいますか	中78	90. 8	0. 1	91.7	1.0	85. 7	-3. 1	87. 2	-3. 3	91. 7	3. 3	91. 7	5. 2
11	学校として業務改善に取り組んでいます	√l>83	97. 6	0. 2	97. 3	-0. 1								
Ľ	b a second	中80	96. 4	-0.4	97. 5	0. 7								

具体的な教育指導の改善や指導計画等へ反映させるためには,市町村教育委員会や学校独自の学力調査を実施する場合は,全国学力・学習状況調査結果も併せて分析・活用するために,どの時期に位置付けることが最も効果的なのか,学力向上に向けたPDCAサイクルの確立を図りたい。

3 教職員の資質能力の向上

教職員の資質能力の向上に関する質問では,中学校では全国値を上回る項目が多い。

「模擬授業や事例研究など,実践的な研修を行っている」

中学校[+ 5.6]

「教職員は,校内外の研修や研究会に参加し,その成果を教育活動に積極的に反映させている」 中学校[+ 5.4]

「学校全体の言語活動の実施状況や課題について,全教職員の間で話し合ったり,検討したりしている」 中学校[+ 3.3]

「学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている」

小学校[-15.2] 中学校[-19.7]

番				н;	3 0			Н:	2 9		H 2	2 8	H 2	2 7
骨号	質問事項		仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全
4.0	校長のリーダーシップのもと、研修リー ダー等を校内に設け、校内研修の実施計	ı√\72	99. 6	0.3	99. 4	0. 1	98. 5	-0. 7	98. 7	-0. 5	99. 7	0.5		
12	画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	中69	97. 9	-0. 2	97. 5	-0. 6	98. 5	0. 5	98. 0	1. 2	98. 5	0.8		
13	学校でテーマを決め、講師を招聘するな	小73	78.8	-15. 2	79.7	-14. 3	76. 1	-17. 5	79. 1	-6. 7	79. 4	-13.6	78. 4	-14.9
13	どの校内研修を行っていますか	中70	68.8	-19.7	71. 2	-17. 3	65.0	-23. 4	71.4	-14.3	67. 0	-19.0	65. 2	-20.6
14	模擬授業や事例研究など、実践的な研修	/]\74	96. 5	-0.2	96. 0	-0.7	95. 0	-0. 6	94. 4	1.1	92. 4	-0. 4	93. 6	-1.9
14	を行っていますか	中71	96. 5	5. 6	96. 1	5. 2	89. 2	-0.8	91.1	-4. 1	84. 0	-0. 2	86. 8	-0.7
15	教員が、他校や外部の研修機関などの学 校外での研修に積極的に参加できるよう	小75	99. 2	1.8	99. 2	1.8	97.3	0.0	97. 9	-1.3	98. 7	2. 5	99. 2	2. 1
15	にしていますか	中72	97. 8	2. 3	97. 6	2. 1	97. 9	2. 9	97.0	1.8	95. 7	2. 8	97. 6	4.3
16	個々の教員が自らの専門性を高めていこ うとしている教科・領域等を決めてお り、校外教科教育に関する研究会等に定	/J\76	85. 5	-1.7	88. 3	1. 1	75. 3	-10. 2	78. 9	-7.7	76. 8	-6. 2		
10	り、校外教科教育に関する研究会等に定 期的・継続的に参加していますか	中73	84. 4	1.5	86.8	3. 9	74. 3	-7. 2	75.9	-3.4	73. 7	-4. 1		
17	教職員は、校内外の研修や研究会に参加 し、その成果を教育活動に積極的に反映	小78	99. 3	2.4	97. 9	1.0	98. 5	2. 1	97. 6	1.7	97. 6	1. 7	97. 0	1. 2
'	し、その成果を教育活動に積極的に及映 させていますか	中75	99. 3	5.4	98. 5	4. 6	96. 4	3. 8	95. 0	3. 0	94. 7	2. 9	94. 1	1.8
10	学習指導と学習評価の計画の作成に当 たっては、教職員同士が協力し合ってい	小79	97. 7	0. 2	97. 6	0. 1	94. 6	-1. 2	95. 3	-1.4	95. 1	-0. 2	92. 9	-2.9
10	たっては、牧戦員同士が協力し合っていますか	中76	95. 7	0.1	96. 6	1.0	91.4	-2. 4	93. 6	-4. 8	92. 2	-1.4	91. 2	-2.6
10	学校全体の言語活動の実施状況や課題に ついて、全教職員の間で話し合ったり、	小80	91.0	-2. 1	90. 4	-2. 7	89. 9	-1.2	89. 2	1. 7	88. 2	-2. 6	81.9	-6. 7
19	検討したりしていますか	中77	89. 3	3.3	88.8	2. 8	75. 7	-6. 8	79.8	-9. 1	84. 0	2. 5	81. 4	3.8
20	学級運営の状況や課題を全教職員の間で 共有し、学校として組織的に取り組んで	/\82	98.8	0.3	98. 4	-0. 1	97. 3	-0. 7	97. 9	-1.2	98. 2	0.3	96. 9	-0.7
20	共有し、子校として相級的に取り組んで いますか	中79	98. 6	1.7	99. 1	2. 2	97. 1	0.5	97. 1	0.3	96. 6	0. 1	95. 6	-0.5

《改善へのヒント》

校内研修等で講師を招聘する場合,目的やねらいに応じて,「総合教育センター」,「各教育事務所」及び「各市町村教育委員会」で実施している「指導主事派遣事業(詳細はホームページや電話で確認)」を積極的に活用することも有効である。

4 規範意識,自己有用感等

規範意識,自己有用感等に関する質問では,小・中学校ともに全国値とほぼ同じである項目が多い。

「前年度までに,将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした」 小学校[+ 9.2] 「授業中の私語が少なく,落ち着いている」 小学校[- 4.3]

-92-				Н:	3 0			Н:	2 9		H:	2 8	H:	2 7
番号	質問事項		仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全
21	調査対象学年の児童(生徒)は、授業中	小12	85. 1	-4. 3	84. 8	-4. 6	89. 5	-1. 2	90.0	-0.9	89. 9	-0.6	87. 0	-3. 2
21	の私語が少なく、落ち着いていますか	中12	95. 0	0.4	95. 6	1.0	93.6	-1.0	94. 1	-1.1	95. 6	1.1	94. 1	0.8
22	調査対象学年の児童(生徒)に対して、	/J\23	92. 5	9. 2	92. 0	8. 7	84. 5	8. 8	84. 4	0.3	86. 2	11.6	84. 0	11.6
22	前年度までに、将来就きたい仕事や夢に ついて考えさせる指導をしましたか	中22	99. 3	0. 7	99. 5	0. 9	100.0	2. 5	99.0	2. 2	97. 1	0.0	96. 6	0. 2
00	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、学級全員で取り組んだり	/]\24	96. 1	-0.4	96.5	0.0	88. 8	-2.8	89. 7	-2.0	90. 6	0. 1	89. 1	1.6
23	挑戦したりする課題やテーマを与えまし たか	中23	93. 6	-1.4	94. 6	-0. 4	83.6	-3.4	83. 3	0.8	85. 0	-0.2	83. 3	0. 6
24	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年 度までに、学習規律(私語をしない、話をし	/J\25	96.8	-0.9	96.8	-0. 9	95. 0	-1.7	95. 2	-0.7	97. 4	0.8	96. 1	-0.1
24	ている人の方を向いて聞く、聞き手に向かっ て話をする、授業開始のチャイムを守るな ど)の維持を徹底しましたか	中24	100.0	1.7	99.0	0. 7	97. 9	-0. 1	98. 0	-0.4	97. 1	-0.8	96. 1	-1.3
0.5	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、学校生活の中で、児童	1/30	98. 4	-0.6	98. 9	-0. 1	98. 1	0. 7	97. 9	0. 4	98. 7	0.3	97. 2	0. 5
25	(生徒) 一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(変めるなど)取組をどの程度行いましたか	中29	99. 3	1.4	99. 1	1. 2								
26	学校の教員は、特別支援教育について理解 し、前年度までに、調査対象学年の児童(生	√\52	93. 4	-1.0	93. 0	-1.4	87.3	-4. 0	88. 7	-3.0	85. 6	-3.8	84. 8	-4. 4
26	徒) に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	中50	91.5	-0.7	92. 7	0. 5	86. 4	-4. 5	89. 2	-6, 1	86. 9	-2. 2	84. 8	-1.5

集中して学習に取り組ませるためには,授業に向かう姿勢をしっかりと身に付けさせる必要がある。そのためには,学習の約束事等を明確に示し,全職員共通理解のもと,一貫した指導を行うことが大切である。また,小中連携を図り,9年間のスパンで身に付けさせることも重要である。 〔指導を振り返り点検したい項目〕

- ・児童生徒の実態が見えているか。現在の実態が当たり前と思っていることはないか。
- ・自然に身に付くと思っていることはないか。

5 家庭学習

家庭学習に関する質問では,小学校では全国値を上回り,中学校では下回っている項目が多い。 理科の指導に関する質問では,小・中学校ともに全国値を下回っている。

「家庭学習の課題の与え方について教職員で共通理解を図った」

小学校[+ 3.7]

「家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた」

小学校[+ 5.9]

「理科の指導として,家庭学習の課題(宿題)を与えた」 小学校[-10.8] 中学校[-4.3]

「理科の指導として,長期休業期間中に自由研究や課題研究などの家庭学習を与えた」

小学校[-36.6] 中学校[-17.3]

「理科の指導として,児童生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)についての評価・指導を行った」 小学校[-12.5]

番	1 1000000000000000000000000000000000000			H:	3 0			Н:	2 9		H:	2 8	H 2	2 7
骨号	質問事項		仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全
27	調査対象学年の児童(生徒)の保護者に 対して、前年度までに、児童(生徒)の	小63	98. 9	1.7	98. 9	1. 7	98.0	1.0	98. 1	-0. 2	98. 4	1.1	97. 7	1.2
21	家庭学習を促すような働きかけをしましたか (国・算・数共通)	中60	89. 4	-2. 5	90. 2	-1.7	91.4	3. 8	91.6	-0. 5	88. 4	0. 9	81.8	-2. 1
28	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、家庭学習の課題の与え方	/J\64	95. 3	3. 7	95. 5	3. 9	92.3	2. 7	92.6	-0. 7	92. 2	3.4	92. 1	5. 0
20	について、校内の教職員で共通理解を図 りましたか(国・算・数共通)	中61	86. 5	-0.6	88. 3	1. 2	75. 7	-6. 5	77.8	-4. 8	76. 7	-5. 4	75. 5	-3.0
29	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、家庭での学習方法等を具	小66	99. 2	5. 9	97. 9	4. 6	94.6	2. 4	94. 2	0. 9	97. 9	6. 0	93. 9	4. 1
29	体例を挙げながら教えましたか (国・ 算・数共通)	中63	92. 2	2. 0	92. 2	2. 0	89. 3	1. 0	91.1	-4. 2	92. 7	4. 8	90. 2	4. 5
30	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、算数(数学)の指導とし	<i>با</i> د67	100.0	0.5	100.0	0. 5	100.0	0. 4	100.0	0.0	100.0	0. 4	99. 8	0. 2
30	て、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	中64	94. 3	-0. 2	95. 1	0. 6	95.0	0. 3	95. 1	-0. 2	95. 6	0.8	94. 6	1.3
21	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、算数(数学)の指導とし て、児童(生徒)に与えた家庭学習の課	√J\68	98. 8	1.2	99. 2	1. 6	99.6	1.0	99.8	-0. 2	98. 7	0.4	98. 4	0.0
31	題(長期休業期間中の課題を除く)についての評価・指導を行いましたか	中65	93.6	-0.9	95. 1	0. 6	95.0	-0. 1	95.0	-0. 2	93. 6	-1.3	95. 1	1.4
22	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、理科の指導として、家庭	/J\69	34. 9	-10.8	37. 6	-8. 1							33. 3	-6. 7
32	学習の課題(宿題)を与えましたか	中66	72. 3	-4. 3	75. 1	-1.5							64. 7	-8.5
33	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、理科の指導として、長期	را ₁ ،70	49. 4	-36. 6	53. 6	-32. 4							52. 9	-31, 4
33	休業期間中に自由研究や課題研究などの 家庭学習を与えましたか	中67	63. 8	-17. 3	70. 7	-10. 4							74. 0	-7. 2
34	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、理科の指導として、児童 (生徒)に与えた家庭学習の課題(長期	小71	61.6	-12.5	60. 5	-13. 6							57. 3	-16.3
34	体業期間中の課題を除く)についての評価・指導を行いましたか	中68	87. 2	-1.8	90. 7	1.7							89. 7	1.8

保護者の考えや家庭環境の実態を含めた家庭学習の実態を把握し,学年ごとに系統性をもった目指す姿を明らかにし,「家庭学習の手引き」等を作成し配布するなど,発達段階に応じて一貫した家庭学習の指導を行うことにより,指導の効果を高めることが期待できる。

6 小学校教育と中学校教育の連携,全国学力・学習状況調査等の活用

小学校教育と中学校教育の連携に関する質問では,全ての質問について,小・中学校ともに全国値を下回っている。全国学力・学習状況調査等の活用に関する質問では,全ての質問について,小・中学校ともに全国値を上回っている。

「平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について,保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った」 小学校[+6.1] 中学校[+3.0]

「近隣の中学校(小学校)と教育目標を共有する取組を行った」小・中学校

小学校[-18.4] 中学校[-20.2]

「平成29年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について,近隣等の中学校(小学校)と成果や課題を共有した」 小学校[-4.8] 中学校[-7.3]

「近隣等の中学校(小学校)と授業研究を行うなど,合同して研修を行った」

小学校[-19.3] 中学校[-12.0]

337.				н	3 0			Н:	2 9		Н:	2 8	Н:	2 7
番号	質問事項		仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全
35	前年度までに、近隣等の中学校(小学校) と、教科の教育課程の接続や、教科に関する 共通の目標設定など、教育課程に関する共	小21	44. 7	-18.4	47. 7	-15. 4								
33	共通の目標設定など、教育課程に関する共 通の取組を行いましたか	中20	49. 0	-20. 2	51.7	-17. 5								
26	平成29年度の全国学力·学習状況調査の 分析結果について、近隣等の中学校(小	/J\34	58. 5	-4.8	59. 2	-4. 1	38. 9	-9. 2	43.8	-9.2	37. 6	-11.9		
30	学校)と成果や課題を共有しましたか	中33	56. 7	-7.3	59. 5	-4. 5								
37	前年度までに、近隣等の中学校(小学 校)と授業研究を行うなど、合同して研	小77	50. 2	-19.3	52. 5	-17.0	42. 4	-23. 2	45. 4	-6. 3	45. 1	-17.4		
37	修を行いましたか	中74	64. 5	-12.0	64. 9	-11.6								
38	平成29年度全国学力・学習状況調査の 自校の分析結果について、調査対象学	小31	97. 7	0.1	97.6	0.0	96. 2	-0. 4	96.6	-0. 9	97. 9	0.9	96. 7	0.9
30	年・教科だけではなく、学校全体で教育 活動を改善するために活用しましたか	中30	97. 1	1.0	97.5	1.4	93. 5	-0. 9	94. 0	-1.3	97. 6	2. 7	96. 1	2.9
39	平成29年度全国学力・学習状況調査の 自校の結果について、保護者や地域の人	∕J\32	98. 4	6. 1	98. 9	6. 6	96. 9	6. 1	97.4	-1.0	98. 4	7. 5	97. 5	9. 5
39	たちに対して公表や説明を行いましたか (学校のホームページや学校だより等へ の掲載、保護者会等での説明を含む)	中31	91.5	3.0	93. 7	5. 2	90.7	3. 9	93.6	-6. 4	93. 7	6.8	93. 2	9.3

《改善へのヒント》

学力向上に向けた小中連携の例として、「学習の約束などの情報交換と共通実践」、「学習指導要領に基づく学習内容や系統性の理解」、「合同研修会の実施」、「中学校の専門性を生かした小学校での授業実践」等、小・中学校共通理解のもとに9年間を見通した指導をすることで、授業そのものの質が高まり、大きな学習効果が期待できる。

7 地域や社会に関わる学習活動等の活用,家庭や地域との連携

地域や社会に関わる学習活動等の活用に関する質問では、小・中学校ともに全国値を上回ってい る項目が多い。家庭や地域との連携に関する質問では,小学校では全国値とほぼ同じ,中学校では 下回っている項目が多い。

「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導を行った」

中学校 + 6.4]

小学校[-17.7]

「授業や課外活動で地域のことを調べたり,地域の人と関わったりする機会を設定した」

小学校[+ 4.4] 中学校[+ 8.2]

「教育課程の趣旨について,家庭や地域との共有を図る取組を行った」

小学校[+ 3.1] 中学校[+ 4.1]

「地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った」

小学校[+ 6.0] 中学校[+ 9.3]

「職場見学や職場体験活動を行った」

「博物館や科学館,図書館を利用した授業を行った」 小学校[- 9.8] 中学校[-12.4]

「保護者や地域の人が学校の美化,登下校の見守り,学習・部活動支援、放課後支援,学校行 事の運営などの活動に参加している」

「地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人と の協働による活動(学校の美化,登下校の見守り,学習・部活動支援、放課後支援,学校行事 の運営など)を行った」 中学校[- 8.9] :

番		- 1		н	3 0			H	2 9		H 2	2 8	H:	2 7
号	質問事項		仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を除く	県-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全	仙台市 を含む	宮-全
40	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、教科等の指導に当たっ て、地域や社会で起こっている問題や出	/J\27	83. 9	-1.2	84. 2	-0. 9	74.5	-4. 0	76.0	-3. 2	71.3	-6.8	78. 4	2.8
40	来事を学習の題材として取り扱いましたか	中26	79. 4	-2.3	78. 1	-3. 6								
41	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、地域や社会をよくするた	/\56	78. 1	-1.0	79. 4	0. 3	79. 2	3. 6	80.5	-2.8				
	めに何をすべきかを考えさせるような指導をどの程度行いましたか	中54	78. 0	6.4	78. 1	6. 5	71.4	3. 4	73. 4	-4. 4				
42	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域の	/J\5/	90. 6	4. 4	89. 3	3. 1	90.0	4. 1	91.0	-2.3				
,	ことを調べたり、地域の人と関わったり する機会の設定をどの程度行いましたか	中55	88. 0	8. 2	85. 8	6. 0	87. 1	8. 7	85. 2	4. 3				
43	あなたの学校では、職場見学や職場体験	/J\59	29. 8	-17.7	40. 5	-7. 0	28. 6	-16. 8	39. 3	-23. 2	38. 9	-6. 2	29. 5	-12.5
45	活動を行っていますか													
44	教育課程の趣旨について、家庭や地域と	/\20	93.7	3. 1	94. 1	3. 5								
	の共有を図る取組を行っていますか	中19	89. 3	4. 1	91.3	6. 1								
45	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師と	/\53	89. 4	6.0	89. 0	5. 6	87. 3	3. 1	88. 4	-2.4	88. 0	5. 6	81.0	4. 7
	して招聘した授業をどの程度行いましたか	中51	79. 4	9.3	74. 1	4. 0	74.3	5. 4	68.0	14.0	62. 1	-3. 1	59.8	1.0
46	調査対象学年の児童 (生徒) に対して、 前年度までに、ボランティア等による授	/J\54	48. 6	-0.6	53. 1	3. 9	49.8	-0.1	54. 3	-9.9	50. 9	2. 8	43. 0	2.4
	業サポート (補助) をどの程度行いましたか	中52	30. 5	-2.5	29. 8	-3. 2	35.0	3. 6	31.5	7.7	24. 8	-5. 1	22. 0	-2. 2
47	調査対象学年の児童(生徒)に対して、 前年度までに、博物館や科学館、図書館	小55	39. 2	-9.8	42. 4	-6. 6	37. 1	-11, 1	42. 7	-12.3	39. 9	-6. 3	34. 1	-2.3
	を利用した授業をどの程度行いましたか	中53	13. 5	-12.4	31. 2	5. 3	12. 1	-11.0	32.5	-45. 3	28. 7	8. 3	23. 0	7.5
48	あなたの学校では、保護者や地域の人が 学校の美化、登下校の見守り、学習・部	/J\60	96. 1	-1.6	96. 8	-0. 9	98.0	-0. 6	97. 9	0. 4	98. 2	0, 5	97. 0	-0. 1
-10	活動支援, 放課後支援, 学校行事の運営 などの活動に参加していますか	中57	85. 8	-4.6	87. 8	-2. 6	97.9	0.4	98. 5	-1.5	96. 6	1.0	93. 1	-2.0
49	地域学校協働本部やコミュニテイ・ス クールなどの仕組みを生かして、小学校 (60) 中学校(57) の質問にあるような保護	小61	70. 9	-1.9	75. 2	2. 4								
43	者や地域の人との協働による活動を行い ましたか	中58	51.8	-8.9	56. 1	-4. 6	68.5	-8. 9	75. 8	-16. 2	71.3	-2.8	55. 9	-13.8
50	小学校(60)中学校(57)の質問にあるよう な保護者や地域の人との協働による取組	/J\62	95. 6	0. 2	96. 3	0. 9	98. 1	0.8	98. 4	-0.8	97. 9	1.1	96. 4	0.8
30	は、学校の教育水準の向上に効果があり ましたか	中59	89. 4	0.8	90. 7	2. 1	95.0	1. 3	95. 6	-1.3	91. 7	0.7	92. 6	2.6

《改善へのヒント》

地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との関連を図ったり し、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させるこ とが大切である。

™「学力向上に向けた5つの提言」に関わる児童生徒質問紙調査結果と正答率のクロス集計の結果

「学力向上に向けた5つの提言」は、宮城県の喫緊の課題である学力向上を図るために、精神科医、大学教授、市町村教育委員会教育長、PTA代表、小・中学校教員等を委員とした緊急会議を開催し、平成25年10月16日に提言として、全ての教員が実践化に努めていく内容をまとめたものです。

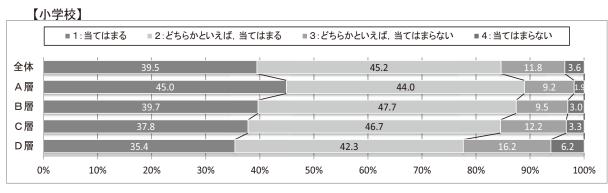
- 提言1 どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子供の声に耳を傾けること。
- 提言2 子供をほめること、認めること。
- 提言3 授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適用問題や小テスト、授業感想を書く時間を位置付けること。
- 提言4 自分の考えをノートにしっかり書かせること。
- 提言5 家庭学習の時間を確保すること。

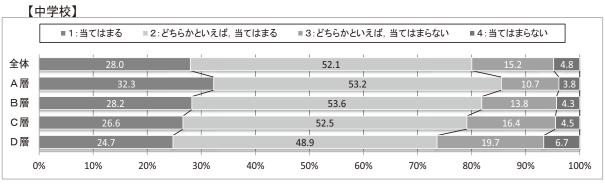
宮城県の児童・生徒の全国学力・学習状況調査における国語A・B, 算数(数学)A・B, 理科の5つの正答率の合計を高い順に並べ, 上位から人数を25%刻みで4つの層に分け, 上から順にA層, B層, C層, D層とした。

それぞれの層ごとに、「学力向上に向けた5つの提言」に関わる設問の回答状況(1:当てはまる 2:どちらかといえば、当てはまる 3:どちらかといえば、当てはまらない 4:当てはまらない)の割合を表した。

提言1,2 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」

- 小学生では、正答率が高い児童の方が、「当てはまる」と回答している割合が高い傾向が見られる。
- 中学生では、正答率が高い生徒の方が、「当てはまる」と回答している割合が高い傾向が見られる。

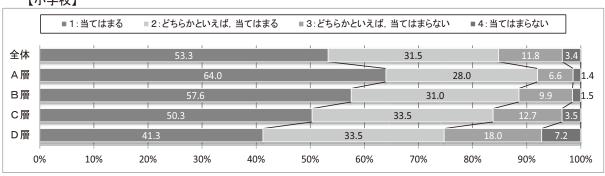




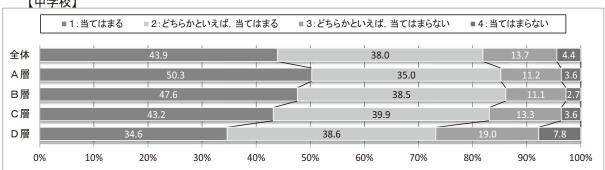
提言4 「算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートを書いていますか」

- 小学生では, 正答率が高い児童の方が, 「当てはまる」と回答している割合が高い傾向が見られる。
- 中学生では、正答率が高い生徒の方が、 「当てはまる」と回答している割合がやや高い傾向が見られる。

【小学校】



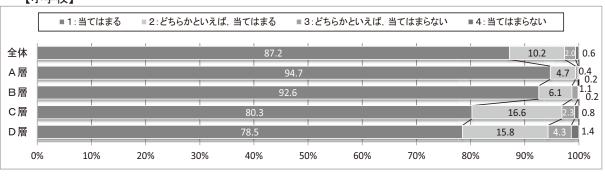
【中学校】



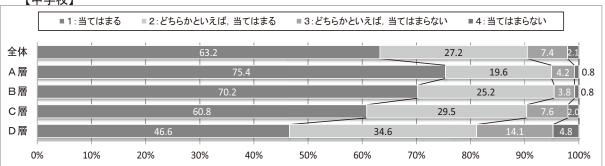
提言5 「家で、学校の宿題をしていますか」

- 小学生では、すべての層で「当てはまる」と回答している児童の割合が高い。また、正答率が高い児童の方 が、「当てはまる」と回答している割合が高い傾向が見られる。
- 中学生では、正答率が高い生徒の方が、「当てはまる」と回答している割合が高い傾向が見られる。

【小学校】

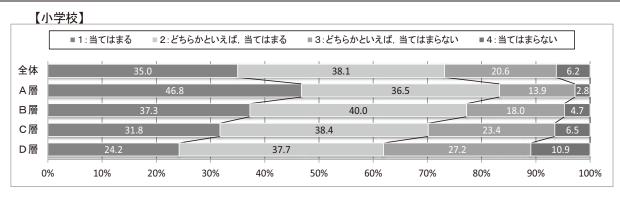


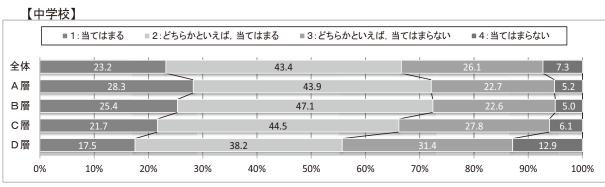
【中学校】



提言5 「家で、学校の授業の予習・復習をしていますか」

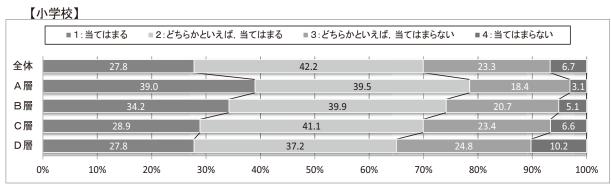
- 小学生では, 正答率が高い児童の方が, 「当てはまる」と回答している割合が高い傾向が見られる。
- 中学生では, 正答率が高い生徒の方が, 「当てはまる」と回答している割合が高い傾向が見られる。 \bigcirc

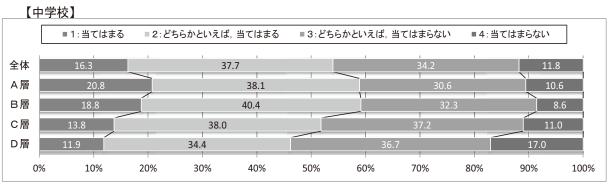




提言5 「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」

小学生では,正答率が高い児童の方が, 「当てはまる」と回答している割合が高い傾向が見られる。 「当てはまる」と回答している割合がやや高い傾向が見られる。 中学生では,正答率が高い生徒の方が,





Ⅲ 児童生徒質問紙調査,学校質問紙調査 集計結果

全国学力·学習状況調查 (H30) 児童生徒質問紙調査 集計結果

・以下の集計値は、児童生徒質問紙の調査結果を集計した値である。

	児童質問紙調査(小学校)	宮城県 (仙台市を除く)		宮城県 (仙台		生徒質問紙調査(中学校)		宮城県 (仙台市を除く)		
質問 番号	平成30年度 質問事項	県	県-全	市を含 む)	質問 番号	平成30年度 質問事項	県	県一全	(仙台市 を含む)	
(1)	自分には、よいところがあると思いますか	82. 9	-1. 1	83. 4	(1)	自分には、よいところがあると思いますか	75. 8	-3. 0	78. 7	
(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	84. 6	-0. 7	84. 9	(2)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	80. 0	-2. 2	82. 9	
(3)	将来の夢や目標を持っていますか	86. 0	0. 9	85. 4	(3)	将来の夢や目標を持っていますか	72. 0	-0. 4	72. 8	
(4)	学校のきまりを守っていますか	89. 8	0. 3	89. 9	(4)	学校の規則を守っていますか	93. 8	-1. 3	94. 7	
(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97. 2	0. 4	97. 1	(5)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95. 5	0. 0	95. 7	
(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95. 1	-0. 1	94. 3	(6)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94. 9	0. 0	94. 2	
(7)	朝食を毎日食べていますか	94. 1	-0. 4	95. 1	(7)	朝食を毎日食べていますか	92. 4	0. 5	93. 3	
(8)	毎日,同じくらいの時刻に寝ていますか	77. 4	0. 4	80. 4	(8)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	74. 5	0. 3	78. 1	
(9)	毎日,同じくらいの時刻に起きていますか	88. 7	-0. 1	89. 4	(9)	毎日,同じくらいの時刻に起きていますか	90. 5	0. 2	91. 4	
(10)	家で、自分で計画を立てて勉強していますか	71. 9	4. 3	71.7	(10)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	54. 0	1. 9	56. 4	
(11)	家で、学校の宿題をしていますか	97. 5	0. 4	97. 7	(11)	家で、学校の宿題をしていますか	90. 4	-1. 2	91. 6	
(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	73. 1	10. 5	71.8	(12)	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	66. 6	11. 4	67. 4	
(13)	予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いな がら学習していますか(H28再掲)	78. 9	9. 0	78. 0	(13)	予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか(H28再)	76. 8	5. 5	78. 3	
(14)	学校の授業時間以外に、普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらい の時間,勉強をしますか(学習塾や家庭教師を含む、30分以上)	93. 5	3. 5	92. 3	(14)	学校の授業時間以外に、普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む、30分以上)	87. 0	-0. 2	87. 5	
(15)	学校の授業時間以外に、普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く、30分以上)	38. 2	-2. 9	40. 3	(15)	学校の授業時間以外に、普段(月~金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く、30分以上)	33. 8	2. 9	32. 7	
(16)	放課後に何をして過ごすことが多いですか	(9つから選択)			(16)	放課後に何をして過ごすことが多いですか	(9	(9つから選択)		
(17)	週末に何をして過ごすことが多いですか	(9つから選択)			(17)	週末に何をして過ごすことが多いですか	(9つから選択)			
(18)	家の人(兄弟姉妹は含まない)と学校での出来事について話をしま すか	80. 5	0. 0	81.4	(18)	家の人と学校での出来事について話をしていますか	76. 3	0. 3	78. 1	
(19)	授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	74. 6	0. 2	78. 7	(19)	授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	72. 9	4. 2	73. 5	
(20)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	68. 5	5. 8	70. 9	(20)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	45. 6	0. 0	47. 8	
(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	61.0	-2. 8	65. 6	(21)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	60. 0	0. 7	63. 8	
(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあります か	48. 2	-1. 7	51.6	(22)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあります か	39. 7	1. 0	42. 4	
(23)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか(ある)	33. 2	-2. 9	38. 1	(23)	地域社会などでボランティア活動に参加したことはありますか(ある)	43. 3	-8. 5	51. 5	
(24)	地域の大人(学校や塾・習い事の先生は除く)に勉強やスポーツを 教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	39. 9	-1.7	38. 1	(24)	地域の大人(学校や塾・習い事の先生は除きます)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	27. 6	2. 1	25. 0	
(25)	新聞を読んでいますか(週1~3回以上)	17. 9	-2. 0	18. 3	(25)	新聞を読んでいますか(週1~3回以上)	14. 0	-0. 1	14. 6	
(26)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってのインターネットも含む)	85. 5	-0. 7	86. 0	(26)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってのインターネットも含む)	86. 9	0. 3	87. 3	
(27)	算数の勉強は好きですか	64. 5	0. 5	64. 3	(27)	数学の勉強は好きですか	52. 9	-1. 0	53. 5	
(28)	算数の勉強は大切だと思いますか	91.8	-0. 3	91.5	(28)	数学の勉強は大切だと思いますか	82. 7	-0. 9	84. 0	
(29)	算数の授業の内容はよく分かりますか	83. 8	0. 4	83. 0	(29)	数学の授業の内容はよく分かりますか	69. 6	-1. 4	69. 9	
(30)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思 いますか	74. 2	-0. 1	74. 7						
					(30)	数学ができるようになりたいと思いますか	92. 5	0. 0	92. 7	

	児童質問紙調査(小学校)	宮城県 (仙台市を除く)		宮城県 (仙台	生徒質問紙調査(中学校)		宮城県 (仙台市を除く)		宮城県
質問 番号	平成30年度 質問事項	県	県-全	市を含 む)	質問 番号	平成30年度 質問事項	果	県-全	を含む)
(31)	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方 法を考えますか	78. 5	0. 1	78. 3	(31)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方 法を考えますか	68. 2	-2. 1	70. 6
(32)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考 えますか	63. 2	-1. 2	64. 6	(32)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考 えますか	38. 1	-0. 6	41. 1
(33)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと 思いますか	89. 8	-0. 5	89. 2	(33)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと 思いますか	71. 9	-1. 0	72. 8
(34)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	78. 0	-0. 5	79. 2	(34)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考え ますか	68. 5	-0. 7	71. 6
(35)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するように していますか	79. 2	-1. 2	80. 7	(35)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するように していますか	70. 7	0. 3	72. 6
(36)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	84. 7	-1. 1	86. 0	(36)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	81.8	1. 2	81. 9
(37)	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め 方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか(書こう と努力した)	67. 0	-3. 6	67. 5	(37)	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか(書こうと努力した)	49. 3	-6. 2	53. 3
(38)	理科の勉強は好きですか	84. 4	0. 9	84. 2	(38)	理科の勉強は好きですか	64. 1	1. 2	65. 1
(39)	理科の勉強は大切だと思いますか	84. 7	-0. 7	84. 8	(39)	理科の勉強は大切だと思いますか	70. 5	-0. 1	72. 1
(40)	理科の授業の内容はよく分かりますか	90. 1	0. 7	89. 8	(40)	理科の授業の内容はよく分かりますか	70. 0	0. 0	70. 9
(41)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか(H27再掲)	88. 0	1. 0	88. 6	(41)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	80. 4	2. 8	80. 9
(42)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	63. 9	-0. 8	65. 8	(42)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考 えますか	46. 4	1. 0	49. 5
(43)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと 思いますか	71. 9	-1.0	72. 5	(43)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと 思いますか	55. 3	-0. 4	56. 7
(44)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	24. 5	-1.6	25. 5	(44)	将来, 理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	22. 0	-0. 2	23. 0
(45)	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	52. 6	-1. 9	53. 7	(45)	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表 したりしていますか	41. 9	0. 5	44. 5
(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか (月1回以上)	85. 9	-3. 2	88. 4	(46)	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか (月1回以上)	94. 2	7. 1	94. 7
(47)	観察や実験を行うことは好きですか	89. 6	-0. 2	90. 2	(47)	観察や実験を行うことは好きですか	84. 7	2. 6	85. 0
(48)	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	73. 2	-2. 0	74. 8	(48)	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	61.8	3. 3	65. 0
(49)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かった のか考えていますか	79. 6	-2. 2	80. 7	(49)	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	74. 4	2. 1	77. 8
(50)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方がまちがっていない かを振り返って考えていますか	68. 2	0. 1	69. 7	(50)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていない かを振り返って考えていますか	61. 4	2. 4	64. 7
(51)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらについて、どのように解答しましたか(書こうと努力した)	73. 7	-3. 6	74. 9	(51)	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか(書こうと努力した)	58. 8	-4. 0	62. 5
(52)	5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いましたか	88. 9	1. 4	87. 9					
(53)	5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことがでてきましたか	74. 6	-0. 5	75. 5					
(54)	今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思いますか	81.0	-1.0	81.8					
(55)	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組ん でいたと思いますか	76. 5	-0. 2	77. 0	(52)	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組ん でいたと思いますか	74. 0	0. 2	75. 3
(56)	普段の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫し発表していたと思いますか	61.5	0. 5	63. 0	(53)	普段の授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	55. 6	1. 8	58. 0
(57)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めた り、広げたりすることができていると思いますか	76. 1	-1. 6	77.3	(54)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げた りすることができていると思いますか	76. 1	-0. 2	78. 1
(58)	解答時間は十分でしたか(国語A)	78. 3	-1. 7	79. 6	(55)	解答時間は十分でしたか(国語A)	90. 4	-1. 7	90. 5
(59)	解答時間は十分でしたか(国語B)	72. 3	-2. 4	74. 1	(56)	解答時間は十分でしたか(国語B)	77. 9	-4. 3	77. 3
(60)	解答時間は十分でしたか(算数A)	79. 2	-1. 1	79. 1	(57)	解答時間は十分でしたか(数学A)	88. 2	-3. 3	89. 1
(61)	解答時間は十分でしたか(算数B)	62. 2	-3. 8	63. 6	(58)	解答時間は十分でしたか(数学B)	68. 1	-5. 4	68. 3
(62)	解答時間は十分でしたか(理科)	88. 0	-2. 1	89. 2	(59)	解答時間は十分でしたか(理科)	91. 4	-0. 9	91. 9

全国学力·学習状況調査 (H30) 学校質問紙調査 集計結果

・以下の集計値は、学校質問紙の調査結果を集計した値である。

	小 学 校	宫 (仙台市	成果 を除く)	宮城県		中 学 校		成果 を除く)	宫城県	
質問 番号	平成30年度 質問事項	県	県-全	(仙台市 を含む)	質問 番号	平成30年度 質問事項	県	県-全	(仙台市 を含む)	
(12)	第6学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	85. 1	-4. 3	84. 8	(12)	第3学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	95. 0	0. 4	95. 6	
(13)	第6学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていますか	86. 6	3. 0	83. 2	(13)	第3学年の生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む ことができていますか	83. 0	2. 2	84. 9	
(14)	第6学年の児童のうち、就学援助を受けている児童の割合	(9つから選択)		(14)	第3学年の生徒のうち、就学援助を受けている生徒の割合	(9つから		選択)		
(15)	第6学年に進級する際にクラス替えをしましたか	36. 5	-4. 7	49. 3						
(16)	指導計画の作成に当たっては、各教科の教育内容を相互の関係で捉え、 学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、目標の達成に必要な教育 内容を組織的に配列していますか	94. 9	0. 2	95. 2	(15)	指導計画の作成に当たっては、各教科の教育内容を相互の関係で捉え、 学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、目標の達成に必要な教育 内容を組織的に配列していますか	90. 1	-0.1	92. 2	
(17)	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	96. 5	3. 3	96. 6	(16)	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	87. 9	-0.8	90. 7	
(18)	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	98. 1	3. 2	96. 6	(17)	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立して いますか	90.8	-2. 3	91. 7	
(19)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物 的資源等を地域等の外部資源を含めて活用しながら効果的に組み合わ せていますか	97. 6	1.6	98. 1	(18)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物 的資源等を地域等の外部資源を含めて活用しながら効果的に組み合わ せていますか	85. 8	1. 2	86. 8	
(20)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	93. 7	3. 1	94. 1	(19)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていま すか	89. 3	4. 1	91.3	
(21)	前年度までに_近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	44. 7	-18. 4	47. 7	(20)	前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	49. 0	-20. 2	51. 7	
(22)	第6学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程 を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	93.8	0.8	92. 8	(21)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程 を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	92. 2	-0.4	92. 2	
(23)	第6学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢につい て考えさせる指導をしましたか	92. 5	9. 2	92. 0	(22)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	99. 3	0. 7	99. 5	
(24)	第6学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	96. 1	-0. 4	96. 5	(23)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた指導をしましたか	93. 6	-1.4	94. 6	
(25)	第6学年の児童に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする。授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	96. 8	-0.9	96. 8	(24)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか	100. 0	1.7	99. 0	
(26)	第6学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、 様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	91. 4	1.7	92. 0	(25)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、 様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	82. 3	-1.3	81. 9	
(27)	第6学年の児童に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域 や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	83. 9	-1.2	84. 2	(26)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	79. 4	-2.3	78. 1	
(28)	第6学年の児童に対して、前年度までに、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	(5	つから選	建択)	(27)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板等)等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	(5	選択)		
(29)	第6学年の児童に対して、前年度までに、児童がコンピュータ等のICTを活用する学習活動を1クラス当たりどの程度行いましたか	(5つから選択)		(28)	第3学年の生徒に対する指導において、前年度に、生徒がコンピュータ等 のICTを活用する学習活動を1クラス当たりどの程度行いましたか	(5つから選択		選択)		
(30)	第6学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	98. 4	-0.6	98. 9	(29)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	99. 3	1.4	99. 1	
(31)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について_調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	97. 7	0. 1	97. 6	(30)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査 対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活 用しましたか	97. 1	1.0	97. 5	
(32)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や 地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか。(学校のホームページ や学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	98. 4	6. 1	98. 9	(31)	平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や 地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか。(学校のホームページ や学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	91.5	3. 0	93. 7	
(33)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への 反映を行っていますか	89. 4	-5. 0	91. 2	(32)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	81. 6	-10. 2	86. 8	
(34)	平成29年度の全国学力。学習状況調査の分析結果について、近隣等の 中学校と成果や課題を共有しましたか	58. 5	-4. 8	59. 2	(33)	平成29年度の全国学力。学習状況調査の分析結果について, 近隣等の 小学校と成果や課題を共有しましたか	56. 7	-7. 3	59. 5	
(35)	第6学年の児童に対する算数の指導方法として、前年度に、習熟の遅い グループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした指導を どの程度行いましたか	(5	つから選	【択)	(34)	第3学年の生徒に対する数学の指導方法として、前年度に、習熟の遅い グループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした指導を どの程度行いましたか	(5つから選択		選択)	
(36)	第6学年の児童に対する算数の指導方法として、前年度に、習熟の早い グループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った指導 をどの程度行いましたか	(5	つから選	₹択)	(35)	第3学年の生徒に対する数学の指導方法として、前年度に、習熟の早い グループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った指導 をどの程度行いましたか	(5	つから選	選択)	
(37)	第6学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、補充的な 学習の指導をどの程度行いましたか	94. 5	0. 2	93. 0	(36)	第3学年の生徒に対する数学の授業において, 前年度までに, 補充的な 学習の指導をどの程度行いましたか。	92. 9	1.5	93. 7	
(38)	第6学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、発展的な 学習の指導をどの程度行いましたか	60. 4	-4. 1	58. 7	(37)	第3学年の生徒に対する数学の授業において, 前年度までに, 発展的な 学習の指導をどの程度行いましたか。	59. 6	-6. 9	63. 4	
(39)	第6学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、実生活に おける事象との関連を図った授業をどの程度行いましたか	81.6	3. 6	81.3	(38)	第3学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をどの程度行いましたか	72. 4	0.3	72. 7	
(40)	第6学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業をどの程度行いましたか	94. 9	-1.8	96. 3	(39)	第3学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、計算問題 などの反復練習をする授業をどの程度行いましたか	96. 5	0. 3	96. 1	
(41)	第6学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を 実施していましたか	9. 4	0. 1	13. 1						
(42)	第6学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、児童の好奇心 や意欲が喚起されるよう、工夫していましたか	96. 9	0.8	96. 5	(40)	第3学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に、生徒の好奇心 や意欲が喚起されるよう、工夫していましたか	100.0	2. 3	99. 5	
(43)	第6学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、補充的な 学習の指導をどの程度行いましたか	68. 3	1.8	69. 4	(41)	第3学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、補充的な学習の指導をどの程度行いましたか	93. 6	8. 4	92. 7	
(44)	第6学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、発展的な 学習の指導をどの程度行いましたか	51.0	-5. 5	52. 0	(42)	第3学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、発展的な 学習の指導をどの程度行いましたか	63. 8	-5. 2	66.8	
(45)	第6学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をどの程度行いましたか	86. 7	1.0	85. 9	(43)	第3学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、実生活に おける事象との関連を図った授業をどの程度行いましたか	93. 6	2. 9	91.8	
(46)	第6学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、児童が科学的な体験や自然体験をする授業をどの程度行いましたか	86. 2	-1.9	86. 4	(44)	第3学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、生徒が科学的な体験や自然体験をする授業をどの程度行いましたか	84. 4	2. 4	83. 4	
(47)	手のは体験で自然体験でする理科の授業において、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導をどの程度行いましたが	87. 9	1.4	86. 9	(45)	字のは体験で日が仲級でする理科の授業において、前年度までに、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導をどの程度行いましたか	69. 5	-3. 5	71. 2	
(48)	ゲ 第6学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、観察や実 験の結果を整理し考察する指導をどの程度行いましたか	97. 7	1.7	97. 6	(46)	第3学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、観察や実験の結果を分析し解釈する指導をどの程度行いましたか	95. 8	1.5	95. 1	
(49)	級の加水を逆埋しち戻りる指令をこの程度11いましたが 第6学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、観察や実 験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導をどの程度 行いましたか	94. 9	0. 5	95. 2	(47)	家の粉末を方がし時がする指導をとい程度引いましたが 第3学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、観察や実 験のレポートの作成方法に関する指導をどの程度行いましたか	78. 8	-2. 4	79. 5	
	114.401711.		l		1	L	<u> </u>		L	

小 学 校				宮城県		中 学 校		宮城県 (仙台市を除く)	
質問 番号	平成30年度 質問事項	県	県-全	(仙台市 を含む)	質問 番号	平成30年度 質問事項	県	県-全	(仙台市 を含む)
(50)	第6学年の児童に対する理科の授業やその準備において、前年度に、観察実験補助員が配置されていましたか	5. 9	-8. 8	25. 1	(48)	第3学年の生徒に対する理科の授業やその他の準備において, 前年度 に, 観察実験補助員が配置されていましたか	1.4	-3.0	1.0
(51)	第6学年の児童に対する理科の授業において、前年度に、理科室で児童が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	(4	つから選	(択)	(49)	第3学年の生徒に対する理科の授業において、前年度に、理科室で生徒 が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	(41	択)	
(52)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、第6学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	93. 4	-1.0	93. 0	(50)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、第3学年 の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や 説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	91.5	-0.7	92. 7
(53)	第6学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業をどの程度行いましたか	89. 4	6. 0	89. 0	(51)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業をどの程度行いましたか	79. 4	9. 3	74. 1
(54)	第6学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)をどの程度行いましたか	48. 6	-0.6	53. 1	(52)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート(補助)をどの程度行いましたか	30. 5	-2. 5	29. 8
(55)	第6学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業をどの程度行いましたか	39. 2	-9.8	42. 4	(53)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業をどの程度行いましたか	13. 5	-12. 4	31. 2
(56)	第6学年の児童に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導をどの程度行いましたか	78. 1	-1.0	79. 4	(54)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えさせるような指導をどの程度を行いましたか	78. 0	6. 4	78. 1
(57)	第6学年の児童に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを 調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定をどの程度行いましたか	90. 6	4. 4	89. 3	(55)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、授業や課外活動で地域のことを 調べたり、地域の人と関わったりする機会の設定をどの程度を行いました か。	88. 0	8. 2	85. 8
(58)	第6学年の児童に対して、小学校在籍期間中に、教育課程に位置づけられた自然の中での集団宿泊活動を行ったことがありますか、または今後行う予定がありますか	(5	つから選	【択)					
(59)	あなたの学校では、職場見学や職場体験活動を行っていますか	29.8	-17. 7	40. 5	(56)	あなたの学校では、職場見学や職場体験活動を行っていますか	99. 3	0. 4	99. 5
(60)	あなたの学校では、保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、 学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加して いますか	96. 1	-1.6	96. 8	(57)	あなたの学校では、保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、 学習・部活動支援・放課後支援・学校行事の運営などの活動に参加して いますか	85. 8	-4. 6	87. 8
(61)	地域学校協働本部やコミュニテイ・スクールなどの仕組みを生かして、 (60)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	70. 9	-1.9	75. 2	(58)	地域学校協働本部やコミュニテイ・スクールなどの仕組みを生かして、 (57)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による活動を行いま したか	51.8	-8. 9	56. 1
(62)	(60)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	95. 6	0. 2	96. 3	(59)	(57)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	89. 4	0.8	90. 7
(63)	第6学年の児童の保護者に対して、前年度までに、児童の家庭学習を促すような働きかけをしましたか(国・算共通)	98. 9	1. 7	98. 9	(60)	第3学年の生徒の保護者に対して、前年度までに、生徒の家庭学習を促すような働きかけをしましたか(国・数共通)	89. 4	-2. 5	90. 2
(64)	第6学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国・算共通)	95. 3	3. 7	95. 5	(61)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国・教共通)	86. 5	-0.6	88. 3
(65)	第6学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国・算共通)	87. 1	2. 7	87. 5	(62)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国・数共通)	70. 9	-2. 8	76. 1
(66)	第6学年の児童に対して、前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか(国・算共通)	99. 2	5. 9	97. 9	(63)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか(国・算共通)	92. 2	2. 0	92. 2
(67)	第6学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか	100.0	0.5	100. 0	(64)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の 課題(宿題)を与えましたか	94. 3	-0. 2	95. 1
(68)	第6学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)についての評価・指導を行いましたか	98. 8	1. 2	99. 2	(65)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)についての評価・指導を行いましたか	93. 6	-0.9	95. 1
(69)	第6学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の 課題(宿題)を与えましたか	34. 9	-10.8	37. 6	(66)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の 課題(宿題)を与えましたか	72. 3	-4. 3	75. 1
(70)	第6学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究など。の家庭学習を与えましたか	49. 4	-36. 6	53. 6	(67)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、長期休業期間中に自由研究や課題研究など。の家庭学習を与えましたか	63. 8	-17. 3	70. 7
(71)	第6学年の児童に対して、前年度までに、理科の指導として、児童に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)についての評価・指導を行いましたか	61.6	-12. 5	60. 5	(68)	第3学年の生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)についての評価・指導を行いましたか	87. 2	-1.8	90. 7
(72)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の 実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	99. 6	0. 3	99. 4	(69)	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の 実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	97. 9	-0. 2	97. 5
(73)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	78. 8	-15. 2	79. 7	(70)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	68. 8	-19. 7	71. 2
(74)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	96. 5	-0. 2	96. 0	(71)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	96. 5	5. 6	96. 1
(75)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加 できるようにしていますか	99. 2	1.8	99. 2	(72)	教員が、他校や外部の研修期間などの学校外での研修に積極的に参加 できるようにしていますか	97. 8	2. 3	97. 6
(76)	個々の教員が自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決め ており、校外教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加してい ますか	85. 5	-1. 7	88. 3	(73)	教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加して いますか	84. 4	1.5	86. 8
(77)	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を 行いましたか	50. 2	-19. 3	52. 5	(74)	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を 行いましたか	64. 5	-12. 0	64. 9
(78)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極 的に反映させていますか	99. 3	2. 4	97. 9	(75)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極 的に反映させていますか	99. 3	5. 4	98. 5
(79)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し 合っていますか	97. 7	0. 2	97. 6	(76)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し 合っていますか	95. 7	0. 1	96. 6
(80)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し 合ったり、検討したりしていますか	91.0	-2. 1	90. 4	(77)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し 合ったり、検討したりしていますか	89. 3	3. 3	88. 8
(81)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	93. 7	-0.5	93. 6	(78)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の 時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	90. 8	0.1	91. 7
(82)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	98. 8	0.3	98. 4	(79)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	98. 6	1.7	99. 1
(83)	学校として業務改善に取り組んでいますか	97. 6	0. 2	97. 3	(80)	学校として業務改善に取り組んでいますか	96. 4	-0.4	97. 5
(84)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	(4	つから選	!択)	(81)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	(41	つから選	択)

『学力向上に関する緊急会議』からの提言

宮城県教育委員会

本県の学力の状況については、これまで改善傾向にあったものの、今回の学力調査では一転して ほとんどの教科で全国値を下回る結果となりました。

そのため、県教育委員会では、学力向上を図るための緊急会議を平成25年10月2日に開催しました。

この緊急会議においては、本県児童生徒の状況や学力等について、精神科医、大学教授、地教委教育長、PTA代表、小中学校教員等で話し合い、今の子供たちに対しては、心のケアを行いつつ、分かる授業を行うことが重要であることを確認しました。

子供たちが安心して学校生活を送り、学習意欲や自信を持たせるためには、教師と子供、子供同士の好ましい人間関係を築くとともに、分かる・できる授業づくりを積み上げていくことが必要です。人間関係づくりや授業改善は一朝一夕にはできませんが、その足がかりとして、すぐに着手できることはあります。

各学校のすべての先生方に、明日からすぐに取り組んでいただきたい事項を「学力向上に向けた 5つの提言」としてまとめましたので、実践化に努めるようお願いいたします。

学力向上に向けた5つの提言 =

- 1 <u>どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子供の声に耳を傾けること</u>。 どの子供にも一日一回は声を掛け、子供の話をじっくり聞くことが、心のケアや人間関
 - その子供にも一日一回は声を掛け、子供の話をしつくり聞くことか、心のケアや人間 係づくりにつながります。
- 2 子供をほめること、認めること。

子供は、ほめられると集中力が高まります。授業中にほめたり認めたりすることは、学 習評価のひとつです。

3 授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適用問題や小テスト、授 業感想を書く時間を位置付けること。

本時のねらいをより具体的に設定し、1単位時間で育てる力を明確にします。授業の終末には、子供の学びを的確に把握し後の指導に生かすようにしましょう。

4 自分の考えをノートにしっかり書かせること。

黒板を書き写すだけでなく、自分の考えをノートに書くように指導します。書くことは、 思考力、表現力を育てます。ワークシートではなく、ノートづくりを徹底しましょう。

5 家庭学習の時間を確保すること。

学校で学んだことを家庭で復習することは、知識や技能の定着につながります。予習は、授業での理解を早めます。各学校で作成している「家庭学習の手引き」の中に、家庭学習のメニューを具体的に記載するとともに、適度な量の宿題を課しながら家庭学習を習慣づけましょう。また、保護者には、子供に声を掛けたり子供を認めたりすることが、家庭学習への意欲づけになることを伝えましょう。

5 学力向上に向けた つの提言

理解 継続 自校化

宮城県教育委員会 平成30年 「学力向上に向けた5つの提言」は、宮城県の喫緊の課題である学力向上を図るために、精神科医、大学教授、市町村教育委員会教育長、PTA代表、小・中学校教員等を委員とした緊急会議を開催し、平成25年10月16日に提言として、全ての教員が実践化に努めていく内容をまとめたものです。

これまでの取組、そして今後の取組について、一人一人立ち止まって考えてみましょう。

「学力向上に向けた5つの提言」を 子供たちはどのように受け止めているのでしょう?



宮城県児童生徒学習意識等調査の結果を活用して、皆さんの学校の 様子と自分自身の取組を振り返ってみましょう。そこから子供たちの 「5つの提言」の受け止め方を確認してみましょう。

平成30年度の児童生徒学習意識等調査の「A:当てはまる、B:どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の合計の割合(%)と、同調査の学校質問紙調査の「A:当てはまる、B:どちらかといえば当てはまる」と回答した学校の合計の割合(%)を確認してみましょう。

また、自分の取組についても振り返り、「A:当てはまる、B:どちらかといえば当てはまる、C:どちらかと言えば当てはまらない、D:当てはまらない」の範囲で評価してみましょう。

○提言 1 声を掛けてもらえている? 話を聞いてもらえている?

児童	童生徒質問紙	宮城県	あなたの学校	あなたの学級
1	先生から声を掛けられたり、励まされたりしますか。			
2	先生はあなたの話を聞いてくれますか。			

学校質問紙	宮城県	あなたの学校	あなた自身
1 児童生徒一人一人に積極的に声を掛け、励ましましたか。			
2 児童生徒一人一人の声に耳を傾け、話をよく聴きましたか。			

○提言2 ほめてもらえている? 認めてもらえている?

児童生徒質問紙	宮城県	あなたの学校	あなたの学級
1 先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか。			

学校質問紙	宮城県	あなたの学校	あなた自身
1 学校生活の中で、児童生徒一人一人の良い点や可能性 を見付け、伝えるなど積極的に評価しましたか。			

○提言3 授業のねらいが明確だと感じている? 授業のまとめができていると感じている?

児童生徒質問紙	宮城県	あなたの学校	あなたの学級
1 授業のはじめに先生から目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。			
2 授業のおわりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていると思いますか。			

学校質問紙	宮城県	あなたの学校	あなた自身
1 児童生徒に対して、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか。			
2 児童生徒に対して、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか。			

○提言4 /一トに考えを書いている?

児童生徒質問紙	宮城県	あなたの学校	あなたの学級
1 授業で、自分の考えをノートに書くようにしています か。			

学校質問紙	宮城県	あなたの学校	あなた自身
1 児童生徒に対して、ノートのとり方(ワークシートやプリント類を除く)を指導しましたか。			
2 児童生徒に対して、自分の調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか。			

○提言5 家庭学習をしている?

児	童生徒質問紙	宮城県	あなたの学校	あなたの学級
1	家で、学校の宿題をしていますか。			
2	家で、学校の授業の復習をしていますか。			
3	家で,学校の授業の予習をしていますか。			

学校質問紙	宮城県	あなたの学校	あなた自身
1 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。			
2 児童生徒に対して、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか。			
3 児童生徒の保護者に対して、児童生徒の家庭学習を促す働き掛けをしましたか。			

5 つの提言 宮城



「5つの提言」の内容の確認 と 様式のダウンロードはこちら!

子供たちと先生方の意識はそろっているでしょうか?

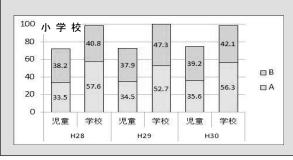


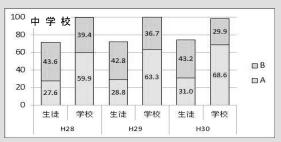
平成28年度から平成30年度まで実施した児童生徒学習意識等調 査の3年間の結果から、「5つの提言」それぞれについて、子供たち と先生方の意識のかい離について考えてみましょう。

○先生から声を掛けられたり、励まされたりしますか ○児童生徒一人一人に積極的に声を掛け、励ましましたか 上段:児童生徒質問紙 下段:学校質問紙 Ж

ı		H 2 8			H 2 9			H 3 0		
	小学校	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離
				-26. 7						
	中学校	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離
				-28. 1						

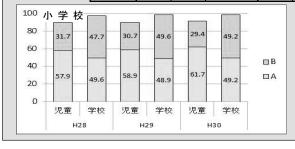
□: A当てはまる □ : Bどちらかと言えば当てはまる

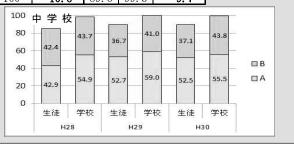




○先生はあなたの話を聞いてくれますか ○児童生徒一人一人の声に耳を傾け、話をよく聴きましたか

٠.										
		H 2 8			H 2 9			H 3 0		
	小学校	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離
	A + B	89.6	97.3	-7. 7	89.6	98. 5	-8.9	91. 1	98.4	-7. 3
	中学校	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離
	A + B	85. 3	98.6	-13. 3	89.4	100	-10.6	89.6	99.3	-9. 7

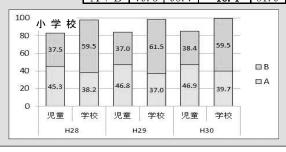


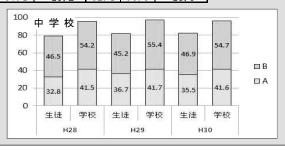


提 言 2

○先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか ○学校生活の中で、児童生徒一人一人の良い点や可能性を見付け、伝えるなど積極的に評価しましたか

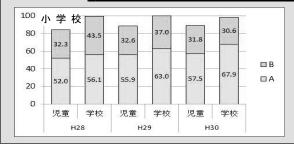
	H 2 8			H 2 9			H 3 0		
小学校	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離
A + B	82.8	97. 7	-14. 9	83.8	98. 5	-14. 7	85. 3	99. 2	-13.9
中学校	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離
A + B	79 3	95 7	-16 4	81 9	97 1	-15 2	82 4	96.3	-13 Q

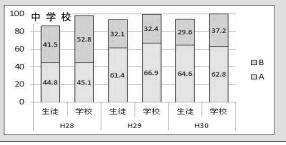




○授業のはじめに先生から目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか ○授業の冒頭で(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか 提 言 3

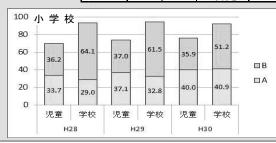
		H 2 8		H 2 9			H 3 0		
小学校	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離
A + B	84. 3	99.6		88. 5	100	-11.5	89.3	98. 5	-9. 2
中学校	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離
A + B	86.3	97 9		93 5	99 3	-5.8	94 2	100	-5.8

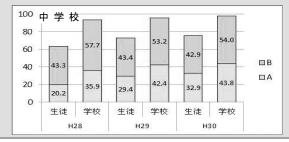




○授業のおわりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていると思いますか ○授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか 提 言 3

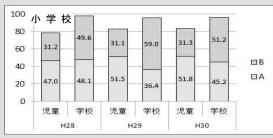
	H 2 8			H 2 9			H 3 0		
小学校	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離
A + B	69. 9	93. 1	-23. 2	74. 1	94. 3	-20. 2	75. 9	92. 1	-16. 2
中学校	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離
A + B	63. 5	93.6		72.8	95.6		75.8	97.8	

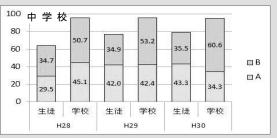




〇授業で、自分の考えをノートに書くようにしていますか 〇ノートの取り方(ワークシートやプリント類を除く)を指導しましたか 提言 4

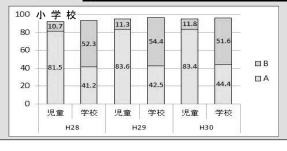
		H 2 8		H 2 9		H 3 0			
小学校	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離
			-19. 5						-13. 3
中学校	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離
A + B						-18.7	78.8	94. 9	

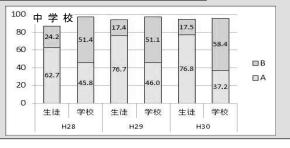




○家で、学校の宿題をしていますか ○家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか 提言 5

	H 2 8			H 2 9			H 3 0		
小学校	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離	児童	学校	かい離
A + B	92. 2	93. 5	-1.3	94. 9	96. 9	-2.0	95. 2	96.0	-0.8
中学校	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離	生徒	学校	かい離
A + B	86. 9	97. 2	-10.3	94. 1	97.1	-3.0	94. 3	95.6	-1.3





理解

継続

自校化

理 解

なぜ、「5つの提言」が設定されたのか。その一つ一つの意味をもう一度確認し、先生方で共 通理解をした上で、実践することが大切です。

提言の意味を理解した取組は、先生方の考えや思いを児童生徒にしっかり伝えることになり、 一層充実した実践へとつながります。

それぞれの提言の 意味を確認しましょう

- ■提言1 子供たちの心のケアや人間関係づくりのために
- ■提言2 子供たちの自己肯定感と自己有用感を育み、学習への集中力を高めるために
- ■提言3 1単位時間で育てる力を明確にするために。子供の学びを的確に把握し、後の 指導に生かすために
- ■提言4 思考力、判断力、表現力等を育てるために
- ■提言 5 知識や技能の定着や授業での理解を早めるために。保護者が子供に声を掛けたり、子供の努力を認めたりすることができるようにするために

次のような 意味も含んでいます

- ◆提言 1, 2 先生と子供たち、子供たち同士の信頼関係が学力向上及び生徒指導の基盤 であること
- ◆提言3, 4 授業の基礎・基本の一つであり、どの授業でも必ず行われているべきものであること
- ◆提言 5 家庭学習の充実は、授業において提言 3 、 4 が実践されていることが前提 であること



取組事例

《小・中学校の取組》

- 年度初めの校内研究全体会で、提言の一つ一つについて確認する場を設け、具体的な実践内容とその意味について、共通理解を図っています。
- 子供たちが1年間の振り返りを記入する「自己評価表」に、「5つの提言」に 関する項目を設定し、記入させています。その結果を踏まえて、次年度の指導に 生かしています。
- 「5つの提言」を学校だよりに掲載したり、学年懇談会で説明したりして、保 護者にも内容を理解してもらい、協力して取り組んでいけるように努めています。

継続

授業づくり、学級づくりの基盤とも言える「5つの提言」は、当たり前のことだからこ そ、地道に、そして着実に継続することが大切です。

学校生活のあらゆる場面で継続しましょう

子供と関わる全ての先生方の目と、耳と、言葉と、全身で「子供に声を掛ける」、「子供の声に耳を傾ける」、「子供をほめる、認める」を学校生活のあらゆる場面を使って継続して実践することが大切です。その際、次の点に留意することが必要です。

- 発達の段階を踏まえ、その子供に適した声の掛け方、ほめ方をしましょう。
- 先生方で情報交換しながら、その子供のよさを見逃さずにほめ、認めましょう。
- 自分の気持ちや考えを声や行動に表すのが苦手な子供がいることを理解しましょう。 全ての子供たちに声を掛け、言葉に耳を傾けましょう。



取組事例

- 「九九暗唱チャレンジ」, 「週末算数 オリンピック」, 「マラソンカード」, 「縄跳び検定」など, 様々な場面で児童 の努力や挑戦しようとする意欲を認め, 主体的に取り組む態度を育てています。
- 休み時間にも全ての教職員が意識して 生徒に声を掛けることに取り組んだこと で、生徒にとっても気軽に話せる環境に なり、授業でも主体的に取り組む姿が見 られるようになってきました。

終結まで確実に終える授業を継続しましょう

1単位時間を計画どおりに終わらせることは、授業の基本です。

- 「ねらい」の提示と「振り返り」を毎時間継続して行うことで、子供たちが1単位時間の「ねらい」と「まとめ」を一体として理解できるようにしましょう。
- 指導内容のまとまりによって、2単位時間でねらいを達成する授業もあります。指導 計画をきちんと立て、1時間目、2時間目それぞれのねらいとまとめを明確にし、子供 たちが2時間で最終的なねらいを達成できたと実感できるようにしましょう。
- 子供たちが自分で考えたり、まとめたりすることができるように、時間と手間を掛けてノートの使い方を指導する必要があります。全教科で繰り返し指導しましょう。
- 「1時間目の授業が延びてしまったため2時間扱いになってしまった・・」とならないように教科部会で指導計画を検討し、作成しましょう。



取 組 事 例 〈小・中学校の取組〉

- 単元計画を工夫し、授業の「振り返り」 には毎時間必ず適用問題を入れることで定 着率がアップしてきました。
- ノートの使い方を統一して指導したことで、「振り返り」に役立つ見やすいノートを作る児童が増えてきました。

〈中学校の取組〉

《小学校の取組》

- 教科部会で授業の流れ,自己評価の方法 などを検討し、学期ごとにその見直しを行 うことで、教科の先生方全員の力が高まっ てきました。
- 校内研究会で全国学力調査の問題を全 員で解き、学習指導要領の内容と照らし 合わせることで、重点を置いて指導する 内容が明確になりました。
- 学習指導要領の内容を教科部会で確認 したことで、授業のねらい、留意点、指 導内容の系統性を明確にすることができ た。

9年間の継続 を図りましょう

小学校6年間、中学校3年間の9年間において継続し実践することが大切です。

- 小学校1年生から6年生まで、中学校は1年生から3年生まで同じ約束事で実践する ことと、発達の段階に応じ学年によって変えていくことを学校として明確にしておきま しょう。
- 発達の段階に応じた「5つの提言」の実践により、子供たちにとって切れ目のないも のになるようにしましょう。
- 小・中の連携を図り、9年間の継続した実践となるようにしましょう。



取組事例

《小・中学校の取組》

- 小・中学校9年間を見通して、中学校区で共通に実践する学習ルールを決め、各教 室に掲示するなどした結果、小学校から中学校への学習の移行がスムーズになってき ました。
- 小・中学校の授業を互いに見合う機会を設けた結果,指導内容や指導方法など,系 統性を意識した指導を大事にするようになってきました。
- 小・中学校9年間の系統を分析し、身に付けさせたい力を示した「単元構想表」を 各教科で作成し、実践したことで、既習事項の確認や、活用を図る授業を展開しやす くなりました。

児童生徒の実態、学校の実情は、それぞれの学校で異なります。全ての学校で同じように取 り組めることもありますが、自分たちの学校ならではの取組を検討し、自校化を図ることが大 切です。

自枝のよさと課題を踏まえた自校化を図りましょう。

自分たちの学校のよさと課題を先生方で話し合い、共通理解を図り、共通に実践することが 大切です。

- 「信頼関係がまだ十分とはいえない」、「児童生徒が授業に集中できていない」、 「家庭学習の習慣が身に付いていない」等のそれぞれの学校の課題に対して、特に重点 を置く提言を決めることも大切です。
- 「信頼関係がまだ十分とはいえない・・」と同じ課題を抱えた学校でも、学校の持ち 味や強み等の状況により、提言1に重点を置く学校、提言3に重点を置く学校等、違い が出ることもあります。
- 重点を置く提言について、保護者に説明し、理解と協力を得ることも大切です。特に 提言5「家庭学習の時間を確保すること」の実践には必要となります。
- 各学校の課題を踏まえて実践したことに対する評価が大事です。PDCAサイクルを 確立していくことが提言の充実につながります。



〈小学校の取組〉

シート」を掲げ、全教員で実践に努める ことで, ノートの活用が一層図られてき ました。

《小・中学校の取組》

○ 今年度の努力事項として、「脱ワーク | ○ 家庭学習や宿題について校内で共通理解 を図り,保護者と連携して授業と家庭学習 のサイクルの確立に努めたことで, 自主的 な学習態度が育ってきました。

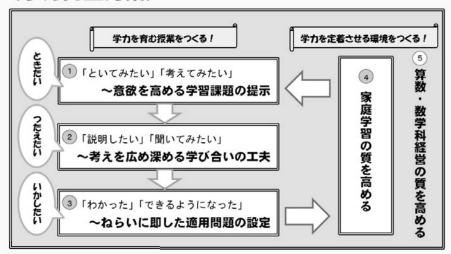




算数・数学の確かな学力を定着させるためには、児童生徒の実態を踏まえ、教員間で共有した具体的な手立てを、全ての教室で着実に実践することが大切です。宮城県学力向上対策協議会では、「学力向上に向けた5つの提言」の趣旨を踏まえ、特に算数・数学に焦点化した学力向上対策「算数・数学ステップ・アップ5」を策定し、実践化・自校化を働き掛けています。この資料は、各学校の実践の参考となるよう、先導的に取り組んでいる学校の事例を取りまとめたものです。

ぜひ、校種や教科にかかわらず、全ての先生方の授業改善に御活用願います。

<学力向上対策>



+ web 7.72 a

この事例集は「**授業改善の入口」**です。 ホームページには他の実践例や関連資料 もありますので参考にしてください。



平成28年7月 宮 城 県 教 育 委 員 会

教員の授業力向上、児童生徒の学力向上に結び付く参考文献等へのアクセス方法

【宮城県総合教育センターウェブページへのアクセス方法】

宮城県総合教育センターの学力向上や専門研究・長期研修等に係るウェブページにアクセスするに は、宮城県総合教育センタートップページのメニューバーより、「学校支援」や「専門研究・長期研修」 を選択してください。

学校支援

先生方の授業づくりや学級づくり、生徒指導をサポートします!

カリキュラム開発支援室

指導主事が授業づく りをお手伝いします。 提供します。

特別支援教育

教師のためのサポー トブックや、研究事例報を提供しています。 また、各種教育情報を など、特別支援教育に 関する情報を提供して います。

情報教育

情報教育に関する情

理科教育

理科の授業づくりを 提案しています。また, 当センターで実施して いる科学巡回指導訪問 の様子もお知らせして います。

ラム

各種様式や記入例,報す。 告書をダウンロードす ることができます。

学力向上サポートプログ 検 証 改 善 委 員 会 | 指 導 の 手 引 き |

宮城県検証改善委員 ◆漢字指導の手引き 学力向上サポートプ 会の報告書をダウンロ ◆計算指導の手引き ログラム事業に関する ードすることができま |◆「記述する力」を高 | がダウンロードできま

- める授業支援プラン

(算数・数学)

す。

単元問題ライブラリー

国語,算数・数学の 単元問題ライブラリー

市町村教育委員会との連携による学校サポート事業

事業の要項や事業例、サポート例と実際のサポートの様子を掲載しています。

専門研究·長期研修

専門研究や長期研修の成果を提供しています。

| 専門研究 | 本県の今日的課題について、所員と共同で研究しています。

研究ダイジェスト版、研究報告書、補助資料等を掲載しています。

|長期研修 | 授業づくりにかかわる課題を解決したり教材開発を行ったりしています。

長期研修員A(6か月間の研修)と長期研修員B(年20回の来所研修)の各教科等の 研修での報告書、補助資料を掲載しています。

※宮城県総合教育センターのアドレスは「http://www.edu-c.pref.miyagi.jp/」です。

宮城県検証改善委員会について

宮城県検証改善委員会では、全国学力・学習状況調査の結果等を分析し、教育委員会・学校における課題や効果的な取組を明らかにしながら、授業改善につなげるための協議を重ねてきました。その結果、学力向上のための学校改善に活用できる資料として作成したものが本報告書です。今年度は、「学力向上に向けた小中連携を図ろう!」をテーマに、提言と小学校国語・算数・理科、中学校国語・数学・理科の指導改善のポイントを作成しました。

各学校においては、学力向上に向けた小中連携の実践を進める際の資料として、本報告書を積極的に活用されることを願っています。

学校における活用例~こんな活用はどうでしょうか~

※必要なページをコピーして活用できます。 (宮城県総合教育センターHPからもダウンロードができます。)

【主に、校長先生、教頭先生へ】

- ○職員会議や打合せ等での活用
 - ・自身の豊富な教育経験を例に挙げ、本報告書の内容について教職員へ具体的なアドバイスをするなど
- ○学校だより等への引用, PTA研修会等での活用
 - ・本報告書の内容を引用しながら、学校の特色ある取組を保護者や地域へ発信するなど

【主に、教務主任の先生、研修を担当する先生へ】

- ○各種会議等での参考資料として活用
 - ・研修会、授業研究会、指導計画作成会議等において、本報告書の内容を参考に協議の観点を設定するなど
- ○研修だより等への活用
 - ・本報告書の内容にかかわって校内外の優れた実践例などを掲載し、校内の教職員で共有するなど

【学級担任の先生,教科担任の先生,指導にかかわる全ての方へ】

- ○授業づくり, 学級づくりなどへの活用
 - ・学級経営案や教科指導方針の作成や、授業づくりのポイントをつかむ参考資料として活用するなど

《 平成30年度宮城県検証改善委員会 》

口	月 日	主 な 活 動 内 容
1	7月 3日	・本委員会の方針,計画等 の決定
2	8月 10日	・平成30年度全国学力・ 学習状況調査結果の分析, 課題等の整理
3	9月 6日	・報告書の構成内容の協議 ・課題を踏まえた指導改善 のポイントの吟味,提言 内容等の協議
4	9月21日	・課題を踏まえた指導改善 のポイントの吟味,提言 内容等の協議
5	10月26日	・報告書内容,表現の吟味, 校正

《 平成30年度宮城県検証改善委員 》

吉 村 敏 之 (宮城教育大学教職大学院 教授) 平 真木夫 (宮城教育大学教職大学院 教授) 林 恵美子 (加美町立旭小学校 校長) 軽部 敦子 (柴田町立槻木中学校 教頭) 小 山 晴美 (石巻市立万石浦中学校 教諭) 五嶋 理 (七ヶ宿町立七ヶ宿中学校 教諭) 千葉 純也 (大河原教育事務所 主幹) 岩淵 謙 (仙台教育事務所 主幹) 野家智昭 (北部教育事務所 主幹) 齋 藤 光 (東部教育事務所 主幹) 黒澤 かな子 (気仙沼教育事務所 主幹) 菅 原 研 (大崎市教育委員会 指導主事) 佐藤 康一 (塩竈市教育委員会 指導主事) 稲辺 正浩 (義務教育課 課長補佐) 牛渡 正哉 (総合教育センター 副所長) (総合教育センター 副参事) 川田 尚 小野 久行 (総合教育センター 次長) 一條美奈 (総合教育センター 次長) 中 畑 裕美子 (総合教育センター 次長) 本間睦美 (総合教育センター 主幹) 木 村 徹 之 (総合教育センター 主幹) 齋藤 和宏 (総合教育センター 主幹)



宮城県検証改善委員会報告書

学力向上に向けた小中連携を図ろう!

発行年月 平成31年1月

編集発行 宮城県総合教育センター

住 所 名取市美田園2丁目1番4号

電 話 022-784-3541

